HP LASERJET ENTERPRISE 600 M601/M602/M603 シリーズ プリンタ

ユーザーズ ガイド

HP LaserJet Enterprise 600 M601/M602/M603 シリーズ プリンタ

ユーザーズ ガイド

このガイドで使用されているマーク

ヒント： ヒントは、役に立つヒントやショートカットを示します。

注記： 注記は、概念の説明やタスクの完了に必要な、重要な情報を示します。

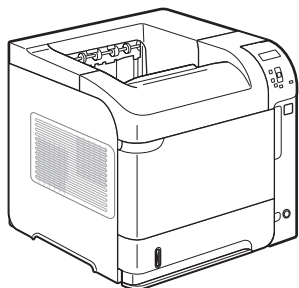
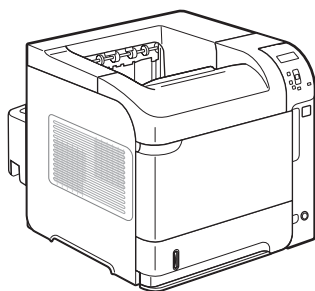
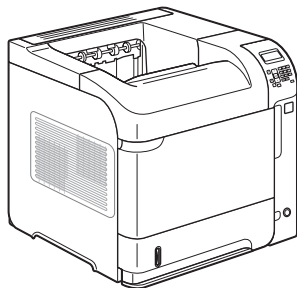
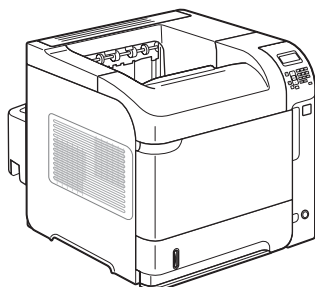
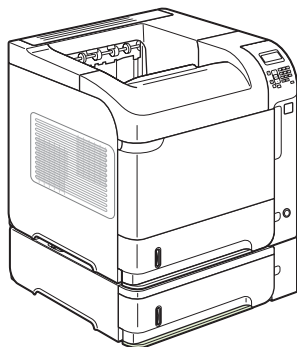
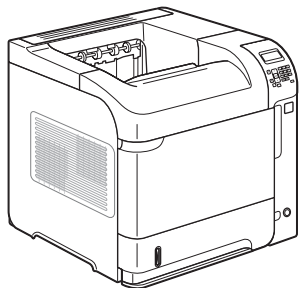
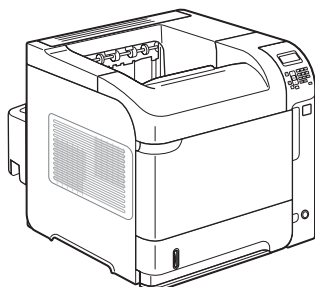
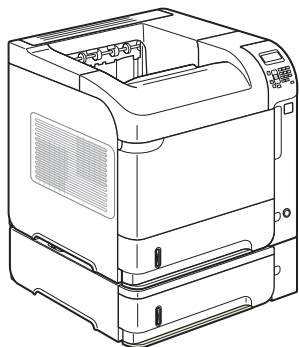
注意： 注意は、データの損失やプリンタの損傷を避けるために従う必要がある手順を示していま-す。

警告！ 警告は、負傷、壊滅的なデータ損失、またはプリンタへの甚大な損害を回避するために従う必要がある特定の手順に注意を喚起します。

目次

1 製品の基本

製品の比較

HP LaserJet Enterprise 600 M601 モデル

M601n プリンタ CE989A 	• 印刷速度は、レター サイズで最大 45 ページ/分 (ppm)、A4 サイズで最大 43 ページ/分 (ppm) • HP Jetdirect ネットワーク機能を内蔵 • 512MB のランダム アクセス メモリ (RAM) を内蔵。1GB まで拡張可能。 • 4GB のソリッドステート モジュール メモリ • トレイ 1 - 最大 100 枚 • トレイ 2 - 最大 500 枚 • 500 枚収納の下向き排紙ビン • 100 枚収納の上向き排紙ビン • 4 行表示のカラー グラフィック コントロール パネル ディスプレイ • 高速 USB 2.0 ポート • ホスト USB 印刷ポート • スリープ復帰時 USB 印刷ポート • デュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) 空きスロット x 1
M601dn プリンタ CE990A 	HP LaserJet Enterprise 600 M601n プリンタと同じ機能に加え、次の特徴を備えています。 • 両面自動印刷用アクセサリ • ワイヤレス ネットワーク印刷

HP LaserJet Enterprise 600 M602 モデル

M602n プリンタ CE991A 	• 印刷速度は、レター サイズで最大 52 ページ/分 (ppm)、A4 サイズで最大 50 ページ/分 (ppm) • HP Jetdirect ネットワーク機能を内蔵 • 512MB のランダム アクセス メモリ (RAM) を内蔵。1GB まで拡張可能。 • 4GB のソリッドステート モジュール メモリ • トレイ 1 - 最大 100 枚 • トレイ 2 - 最大 500 枚 • 500 枚収納の下向き排紙ビン • 100 枚収納の上向き排紙ビン	• 4 行表示のカラー グラフィック コントロール パネル ディスプレイ • テンキー • 高速 USB 2.0 ポート • ホスト USB 印刷ポート • スリープ復帰時 USB 印刷ポート • デュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) 空きスロット x 1 • スリープ復帰時 USB 印刷ポート • ハードウェア インタフェース ポケット
M602dn プリンタ CE992A 	HP LaserJet Enterprise 600 M602n プリンタと同じ機能に加え、次の特徴を備えています。 • 両面自動印刷用アクセサリ • ワイヤレス ネットワーク印刷	
M602x プリンタ CE993A 	HP LaserJet Enterprise 600 M602n プリンタと同じ機能に加え、次の特徴を備えています。 • 両面自動印刷用アクセサリ • 500 枚給紙トレイ (トレイ 3) • ワイヤレス ネットワーク印刷	

HP LaserJet Enterprise 600 M603 モデル

M603n プリンタ CE994A 	● 印刷速度は、レター サイズで最大 62 ページ/分 (ppm)、A4 サイズで最大 60 ページ/分 (ppm) ● HP Jetdirect ネットワーク機能を内蔵 ● 512MB のランダム アクセス メモリ (RAM) を内蔵。1GB まで拡張可能。 ● 4GB のソリッドステート モジュール メモリ ● トレイ 1 - 最大 100 枚 ● トレイ 2 - 最大 500 枚 ● 500 枚収納の下向き排紙ビン ● 100 枚収納の上向き排紙ビン	● 4 行表示のカラー グラフィック コントロール パネル ディスプレイ ● テンキー ● 高速 USB 2.0 ポート ● ホスト USB 印刷ポート ● スリープ復帰時 USB 印刷ポート ● デュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) 空きスロット x 1 ● スリープ復帰時 USB 印刷ポート ● ハードウェア インタフェース ポケット
M603dn プリンタ CE995A 	HP LaserJet Enterprise 600 M603n プリンタと同じ機能に加え、次の特徴を備えています。 ● 両面自動印刷用アクセサリ ● ワイヤレス ネットワーク印刷	
M603xh プリンタ CE996A 	HP LaserJet Enterprise 600 M603n プリンタと同じ機能に加え、次の特徴を備えています。 ● 両面自動印刷用アクセサリ ● ワイヤレス ネットワーク印刷 ● 500 枚給紙トレイ (トレイ 3) ● 250GB HP 暗号化ハイ パフォーマンス ハード ディスク (n モデルおよび dn モデルに内蔵されている 4GB のソリッドステート モジュール メモリと交換)	

環境への配慮

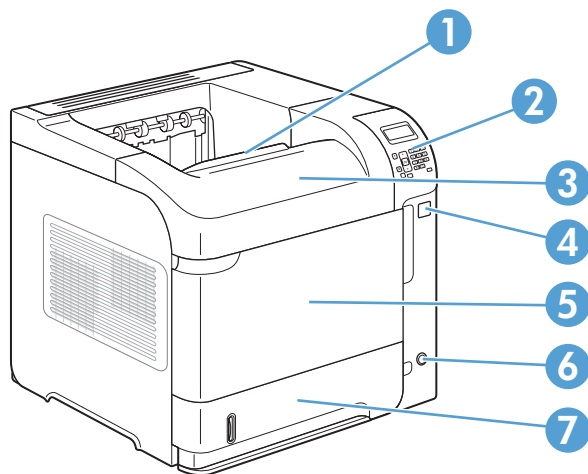
両面印刷	印刷のデフォルト設定を両面印刷にすると、用紙が節約できます。
1 枚の用紙に複数ページを印刷する	1 枚の用紙に同じ文書の複数のページを並べて印刷すると、用紙が節約できます。この機能は、プリンタ ドライバから使用できます。
リサイクル	再生紙を使って廃棄物を削減します。 HP 回収プロセスを利用して、プリント カートリッジをリサイクルします。
省電力	プリンタをスリープ モードに設定すると、電力が節約できます。
HP Smart Web 印刷	複数の Web ページからテキストやグラフィックスを選択、保存、整理したり、画面に表示されているものを印刷するには、HP Smart Web 印刷を使用します。必要な情報を簡単に印刷でき、廃棄物を最小限に抑えます。 HP Smart Web 印刷は、Web サイト (www.hp.com/go/smartweb) からダウンロードしてください。
ジョブ保存	印刷ジョブを管理するには、ジョブ保存機能を使用しします。ジョブ保存を使用すると、共有プリンタで印刷を実行しても印刷ジョブが失われることはなく、再印刷の必要がありません。

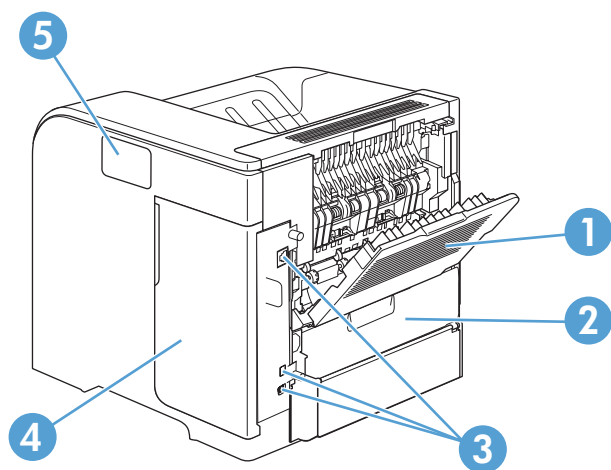
ユーザー補助機能

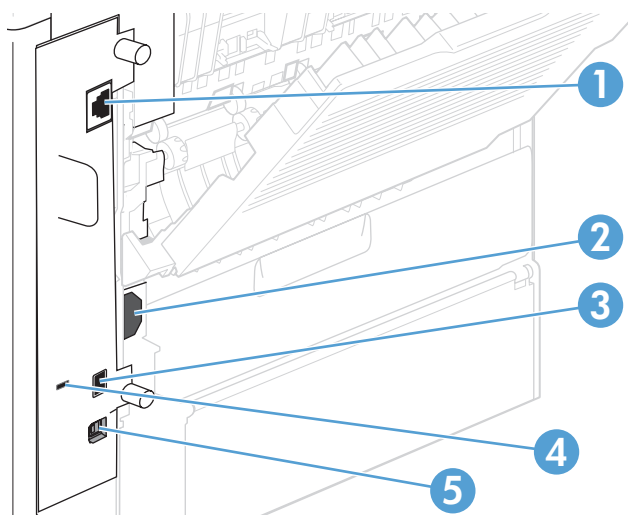
このプリンタには、利用しやすさに関する問題を支援する機能がいくつか用意されています。

- 文字読み上げソフトに対応する、オンライン ユーザー ガイド。
- プリント カートリッジは片手で取り付けおよび取り外し可能。
- ドアおよびカバーはすべて片手で開閉可能。
- トレイ 1 に用紙を片手でセット可能。

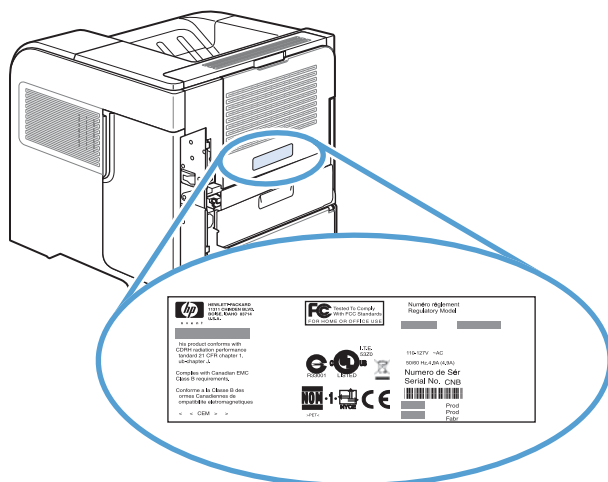
製品の外観

前面図

1	上部排紙ビン
2	コントロール パネル (M602 モデルおよび M603 モデルにはテンキーを搭載)
3	上部カバー (プリント カートリッジにアクセス可能)
4	スリープ復帰時 USB 印刷ポート
5	トレイ 1 (引いて開く)
6	オン/オフ ボタン
7	トレイ 2

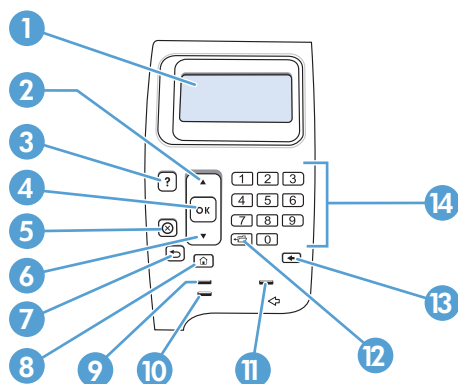
背面図

1	後部排紙トレイ (手前に引いて開く)
2	両面印刷アクセサリ カバー (このカバーを取り外して両面印刷アクセサリを取り付ける)
3	インタフェース ポート
4	右カバー (DIMM スロットにアクセス可能)
5	Hardware Integration Pocket (M602 モデルおよび M603 モデルのみ)

インタフェース ポート

1	RJ-45 ネットワーク接続
2	電源接続
3	フォントやサードパーティ ソリューションを追加するためのホスト USB 接続 (カバーが付いている場合があります)
4	ケーブル式セキュリティ ロック用スロット
5	高速 USB 2.0 接続 (コンピュータとの直接接続用)

シリアル番号とモデル番号の位置

モデルとシリアル番号が記載されたラベルはプリンタ背面にあります。

2　コントロール パネルのメニュー

コントロール パネルのレイアウト

コントロール パネルを使用して、プリンタやジョブのステータスを確認したり、プリンタを設定したりできます。

番号	ボタンまたはランプ	機能
1	コントロール パネル ディスプレイ	ステータス、メニュー、ヘルプ、エラーメッセージが表示されます。
2	▲ 上向き矢印	1 つ前の項目に移動します。数値の場合は、値が増加します。
3	? ヘルプ ボタン	コントロール パネル ディスプレイのメッセージに関する情報を表示します。
4	OK ボタン	• 選択した値を保存します。 • コントロール パネル ディスプレイで強調表示されている項目が実行されます。 • エラー状態が解除されます (解除可能な場合)。
5	⊗ 停止ボタン	現在の印刷ジョブをキャンセルし、プリンタをクリアします。
6	▼ 下向き矢印	次の項目に移動します。数値の場合は、値が減少します。
7	⮌ 戻る矢印	メニュー ツリーの 1 つ上のレベルに戻ります。数値の場合は、直前に入力した値に戻ります。
8	ホーム ボタン	メニューの開閉を切り替えます。
9	印字可ランプ	• **オン**：プリンタがオンライン状態になっていて、印刷データを受け取る準備ができています。 • **オフ**：プリンタがオフライン (休止) 状態になっているか、エラーが発生しているために、プリンタがデータを受け取ることができません。 • **点滅**：プリンタがオフライン状態に移行中です。現在のジョブの処理が停止し、印刷中のページがすべて用紙経路から排出されます。
10	データ ランプ	• **オン**：印刷対象データの一部を受信済みですが、残りのデータを待機中です。 • **オフ**：印刷対象データがありません。 • **点滅**：データを処理中または印刷中です。

番号	ボタンまたはランプ	機能
11	注意ランプ	• **オン**：問題が発生しました。コントロール パネル ディスプレイを参照してください。 • **オフ**：正常に動作しています。 • **点滅**：ユーザーの操作が必要です。コントロール パネル ディスプレイを参照してください。
12	フォルダ ボタン (STAR: Secure Transaction Access Retrieval) 注記： このボタンは、M601 モデルにはありません。	**ジョブの取得** メニューにすばやくアクセスできます。
13	後退ボタン 注記： このボタンは、M601 モデルにはありません。	値をデフォルトに戻します。ヘルプが表示されている場合は、ヘルプを終了します。
14	テンキー 注記： このボタンは、M601 モデルにはありません。	数値を入力します。

USB からジョブを取得 メニュー

注記： この機能を使用するには、コントロール パネルのメニューまたは HP Embedded Web Server を使用して、この機能を有効にする必要があります。

コントロール パネルのメニューを使用してこの機能を有効にするには、[**管理**] メニュー、[**USB から取得設定**] サブメニューの順に開いて、[**有効**] オプションを選択します。HP 内蔵 Web サーバーを使用してこの機能を有効にするには、[**印刷**] タブをクリックします。

表示方法：プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [**USB からジョブを取得**] メニューを選択します。

第 1 レベル	第 2 レベル	値
ファイルまたはフォルダの選択	<ジョブ名>	部数

デバイス メモリからジョブを取得 メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [**デバイス メモリからジョブを取得**] メニューを選択します。

第 1 レベル	第 2 レベル	値
全ジョブ (PIN 有り)	印刷	部数
	印刷して削除	部数
	削除	
全ジョブ (PIN なし)	印刷	部数
	印刷して削除	部数
	削除	はい いいえ
<ジョブ名 (PIN 有り)>	印刷	部数
	印刷して削除	部数
	削除	
<ジョブ名 (PIN なし)>	印刷	部数
	印刷して削除	部数
	削除	はい いいえ

サプライ品 メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [**サプライ品**] メニューを選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-1 サプライ品 メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
サプライ品を管理	サプライ品ステータスの印刷			
	サプライ品設定	黒カートリッジ	残量ごくわずか設定	停止 続行を要求 継続*
			下限値設定	1 ～ 100% CE390A カートリッジのデフォルト値： • M601 = 8% • M602 = 11% • M603 = 20% CE390X カートリッジのデフォルト値： • M602 = 5% • M603 = 9%
		メンテナンス キット	残量ごくわずか設定	停止 続行を要求 継続*
			下限値設定	1 ～ 100% デフォルト = 10%
	サプライ品メッセージ	残量少時のメッセージ		オン* オフ
		残量表示		オン* オフ
	サプライ品のリセット	新しい保守キット		いいえ はい

表 2-1 サプライ品 メニュー（続き）

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
黒カートリッジ				ステータスが表示されます。
メンテナンス キット				ステータスが表示されます。

トレイ メニュー

表示方法: プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [**トレイ**] メニューを選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-2 トレイ メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	値
トレイの管理	要求されたトレイを使用	優先*
		最初
	手差しプロンプト	常時*
		セットしてから使用
	サイズ/タイプ プロンプト	表示*
		非表示
	別のトレイを使用	有効*
		無効
	代替レターヘッド モード	無効*
		有効
	空白ページを両面印刷	自動*
		はい
	トレイ 2 モデル	標準トレイ*
		カスタム トレイ
	イメージの回転	標準*
		代替
	A4/レター置き換え	はい*
		いいえ
封筒フィーダのサイズ		リストからサイズを選択します。
封筒フィーダのタイプ		リストからタイプを選択します。
トレイ <X> サイズ		リストからサイズを選択します。
トレイ <X> タイプ		リストからタイプを選択します。

[管理] メニュー

レポート メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [管理] メニュー、[レポート] メニューの順に選択します。

表 2-3 [レポート] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル
設定/ステータス ページ	[管理] メニュー マップ
	プリンタ設定ページ
	サプライ品ステータス ページ
	使用状況ページ
	ファイル ディレクトリ ページ
	現在の設定ページ
その他のページ	PCL フォント リスト
	PS フォント リスト

全般的な設定 メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [管理] メニュー、[全般的な設定] メニューの順に選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-4 ゼンパンテキナセッテイメニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
日付/時刻の設定	日付/時刻 - 形式	日付形式		DD/MMM/YYYY MMM/DD/YYYY YYYY/MMM/DD
		時刻形式		12 時間 (AM/PM) 24 時間
	日付/時刻	日付	月 日 年	リストから値を選択します。

表 2-4 ゼンパンテキナセッテイメニュー（続き）

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
		時刻	**時間** **分** **AM/PM**	リストから値を選択します。
		タイム ゾーン		リストからタイム ゾーンを選択します。
		夏時間の調整		**オン*** **オフ**
エネルギー設定	**スリープ タイマ設定**	**スリープ/自動オフ タイマ**		**有効*** **無効**
		スリープ/自動オフまでの時間		スリープ/自動オフ タイマを有効にした場合、0 ~ 120 分の間の値を入力します。 デフォルト値：30 分
		復帰/自動オン イベント		**すべてのイベント*** **ネットワーク ポート** **電源ボタンのみ**
印刷品質	**イメージ レジストレーション**	**トレイ <X> の調節**	**テスト ページの印刷**	
			X1 シフト **Y1 シフト** **X2 シフト** **Y2 シフト**	-5.00mm ～ 5.00mm
	用紙の種類の調節	プリンタでサポートされている用紙の種類の一覧から選択します。使用可能なオプションはそれぞれの用紙の種類で同じです。	**プリント モード**	プリント モードのリストから選択します。
			抵抗モード	**標準** **増** **減**
			湿度モード	**標準** **高**
		モードの復元		

表 2-4 ゼンパンテキナセッテイメニュー（続き）

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
	最適化	細部を重視		標準*
				代替 1
				代替 2
				代替 3
				オフ
		最適化モードの復元		
	解像度			300 x 300 dpi
				600 x 600 dpi
				FastRes 1200*
				ProRes 1200
	REt			オフ
				オン*
	エコノモード			オフ*
				オン
	トナー濃度			範囲：1 ～ 5
				デフォルト = 3
消音モード				オフ*
				オン
紙詰まり解除				自動*
				オフ
				オン
保存ジョブの管理	クイック コピー ジョブ保存制限			1 ～ 100
				デフォルト = 32
	クイック コピー ジョブ保留タイムアウト			オフ*
				1 時間
				4 時間
				1 日
				1 週間
	デフォルトのフォルダ名			

表 2-4 ゼンパンテキナセッテイメニュー（続き）

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
	保存されたジョブの並べ替え条件			ジョブ名* 日付
出荷時の設定に戻す				

USB から取得設定 メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [管理] メニュー、[**USB から取得設定**] メニューの順に選択します。

表 2-5 USB から取得設定 メニュー

第 1 レベル	値
[USB から取得] の有効化	有効 無効*

全般的な印刷設定 メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [管理] メニュー、[**全般的な印刷設定**] メニューの順に選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-6 インサツセッテイメニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	値
手差し		有効 無効*
Courier フォント		標準* 濃い
ワイド A4		有効 無効*
PS エラーの印刷		有効 無効*
PDF エラーの印刷		有効 無効*

表 2-6 インサツセッテイメニュー（続き）

第 1 レベル	第 2 レベル	値
パーソナリティ		自動*
		.PCL
		.PS
		.PDF
.PCL	用紙の行数	範囲：5 ～ 128
		デフォルト = 60
	印刷の向き	縦*
		横
	フォント ソース	内蔵*
		USB
	フォント番号	範囲：0 ～ 110
		デフォルト = 0
	フォント ピッチ	範囲：0.44 ～ 99.99
		デフォルト = 10.00
	フォント ポイント サイズ	範囲：4.00 ～ 999.75
		デフォルト = 12.00
	シンボル セット	シンボル セットのリストから選択します。
	LF に CR を追加	いいえ*
		はい
	空白ページを省略	いいえ*
		はい
	メディア ソース マッピング	標準*
		クラシック

デフォルト印刷オプション メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [**管理**] メニュー、[**デフォルト印刷オプション**] メニューの順に選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

第 1 レベル	第 2 レベル	値
部数		
デフォルト用紙サイズ		プリンタでサポートされているサイズのリストから選択します。
デフォルト カスタム用紙サイズ	計測単位	インチ
		mm
	X の寸法	
	Y の寸法	
排紙ビン		使用可能な排紙ビンのリストから選択します。
面		片面*
		両面
両面フォーマット		製本スタイル*
		綴込みスタイル
最小マージン		有効
		無効*

表示設定 メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [**管理**] メニュー、[**表示設定**] メニューの順に選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-7 [表示設定] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	値
輝度を表示		範囲：10 ～ 10
言語		プリンタでサポートされている言語のリストから選択します。
IP アドレスを表示		表示
		非表示

表 2-7 [表示設定] メニュー（続き）

第 1 レベル	第 2 レベル	値
アイドル状態のタイムアウト		範囲：10 ～ 300 秒 デフォルト = 60 秒
解除可能な警告		オン ジョブ*
継続可能なイベント		自動継続 (10 秒)* [OK] を押して続行

サプライ品を管理 メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [管理] メニュー、[サプライ品を管理] メニューの順に選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-8 [サプライ品の管理] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	値
サプライ品ステータスの印刷			
サプライ品設定	黒カートリッジ	残量ごくわずか設定	停止 続行を要求 継続*
		下限値設定	1 ～ 100% CE390A カートリッジのデフォルト値： • M601 = 8% • M602 = 11% • M603 = 20% CE390X カートリッジのデフォルト値： • M602 = 5% • M603 = 9%
	メンテナンス キット	残量ごくわずか設定	停止 続行を要求 継続*

表 2-8 [サプライ品の管理] メニュー（続き）

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	値
		下限値設定	1 ～ 100% デフォルト = 10%
サプライ品メッセージ	残量少時のメッセージ		オン* オフ
	残量表示		オン* オフ
サプライ品のリセット	新しい保守キット		いいえ はい

トレイの管理 メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [**管理**] メニュー、[**トレイの管理**] メニューの順に選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-9 トレイノカンリメニュー

第 1 レベル	値
要求されたトレイを使用	優先* 最初
手差しプロンプト	常時* セットしてから使用
サイズ/タイプ プロンプト	表示* 非表示
別のトレイを使用	有効* 無効
代替レターヘッド モード	無効* 有効
空白ページを両面印刷	自動* はい
トレイ 2 モデル	標準トレイ カスタム トレイ

表 2-9 トレイノカンリメニュー（続き）

第 1 レベル	値
イメージの回転	標準
	代替
A4/レター置き換え	はい*
	いいえ

ステイプラ/スタッカ設定 メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [**管理**] メニュー、[**ステイプラ/スタッカ設定**] メニューの順に選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-10 ステイプラ/スタッカ設定 メニュー

第 1 レベル	値
綴じ方	なし*
	左上または右上
	左上
	右上
ステイプルがほぼ空	継続*
	停止

マルチビン メールボックス設定 メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [**管理**] メニュー、[**マルチビン メールボックス設定**] メニューの順に選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-11 マルチビン メールボックス設定 メニュー

第 1 レベル	値
動作モード	メールボックス*
	スタッカ
	ジョブ仕分け
	丁合い

ネットワーク設定 メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に **[管理]** メニュー、**[ネットワーク設定]** メニューの順に選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-12 ネットワーク設定 メニュー

第 1 レベル	値
I/O タイムアウト	範囲：5 ～ 300 秒 デフォルト = 15
Jetdirect メニュー	詳細については、次の表を参照してください。

表 2-13 Jetdirect メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
情報	**セキュリティ ページ印刷**			**はい** **いいえ***
TCP/IP	**有効**			**オン*** **オフ**
	ホスト名			
	IPV4 設定	**設定方法**		**Bootp** **DHCP*** **自動 IP** **手動**
		手動設定 注記： このメニューが表示されるのは、**[設定方法]** メニューで **[手動]** オプションを選択した場合だけです。	**IP アドレス**	アドレスを入力します。
			サブネット マスク	アドレスを入力します。
			デフォルト ゲートウェイ	アドレスを入力します。
		デフォルトの IP		**自動 IP*** **旧**
		DHCP の解放		**いいえ*** **はい**

表 2-13 Jetdirect メニュー（続き）

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
		DHCP の更新		いいえ* はい
		プライマリ DNS		
		セカンダリ DNS		
	IPV6 設定	有効		オフ オン*
		アドレス	手動設定	有効 アドレス
		DHCPV6 ポリシー		ルーターが指定されました ルーターが使用できません* 常時
		プライマリ DNS		
		セカンダリ DNS		
	プロキシ サーバー			
	プロキシ サーバーのポート			
	アイドル タイムアウト			
セキュリティ	安全な WEB			**HTTPS が必要*** **HTTPS オプション**
	IPSEC			維持 無効*
	802.1X			リセット 維持*
	セキュリティのリセット			はい いいえ*
診断	内部テスト	**LAN HW テスト**		はい いいえ*
		HTTP テスト		はい いいえ*

表 2-13 Jetdirect メニュー（続き）

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
		SNMP テスト		はい いいえ*
		データ経路テスト		はい いいえ*
		すべてのテストを選択		はい いいえ*
		実行時間 [時]		範囲：1 ～ 60 時間 デフォルト = 1 時間
		実行		いいえ* はい
	Ping テスト	排紙先タイプ		**IPV4** **IPV6**
		排紙先 **IPv4**		
		排紙先 **IPv6**		
		パケット サイズ		
		タイムアウト		
		ページ カウント		
		結果の印刷	はい いいえ	
		実行	はい いいえ	
	Ping の結果	送信したパケット		
		受信したパケット		
		消失率		
		RTT 最小		
		RTT 最大		
		RTT 平均		
		Ping の実行中	はい いいえ	

表 2-13 Jetdirect メニュー（続き）

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	第 4 レベル	値
		更新	はい	
			いいえ	
リンク速度				自動*
				10T ハーフ
				10T フル
				100TX ハーフ
				100TX フル
				1000T フル

トラブルシューティング メニュー

表示方法：プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [管理] メニュー、[トラブルシューティング] メニューの順に選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-14 [トラブルシューティング] メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	値
イベント ログの印刷			
イベント ログを表示			
用紙経路ページの印刷			
印刷品質ページ	フューザ テスト ページの印刷		
診断テスト	用紙経路センサー	プリンタのセンサーのリストから選択します。	
	用紙経路テスト	テスト ページの印刷	
		ソース	使用可能なトレイのリストから選択します。
		排紙先	使用可能ビンのリストで選択します。
		両面印刷	オフ* オン
		部数	1* 10 50 100 500
		スタッキング	オフ オン
	手動センサー テスト		
	トレイ/ビン手動センサー テスト		
	コンポーネント テスト		
	印刷/停止テスト		範囲：0 ～ 60,000

[プリンタのメンテナンス] メニュー

バックアップ/復元 メニュー

表示方法 : プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [**プリンタのメンテナンス**] メニュー、[**バックアップ/復元**] メニューの順に選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-15 バックアップ/復元 メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	第 3 レベル	値
バックアップ データ	スケジュールされたバックアップ	スケジュールを有効にする	日時を入力します。
		間隔 (日数)	日数を入力します。
	今すぐバックアップ		
	前回のバックアップをエクスポート		
データを復元			バックアップ ファイルが格納されている USB ドライブを挿入します。

校正/クリーニング メニュー

表示方法 : プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [**プリンタのメンテナンス**] メニュー、[**校正/クリーニング**] メニューの順に選択します。

次の表で、アスタリスク (*) は工場出荷時の設定を示しています。

表 2-16 校正/クリーニング メニュー

第 1 レベル	第 2 レベル	値
クリーニング設定	自動クリーニング	オフ* オン
	クリーニング間隔	リストから、自動的にプリンタをクリーニングする間隔のページ数を選択します。
	クリーニング サイズ	レター A4
クリーニング ページの印刷		

USB ファームウェア アップグレード メニュー

表示方法: プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [**プリンタのメンテナンス**] メニュー、[**USB ファームウェア アップグレード**] メニューの順に選択します。

ファームウェア アップグレード バンドルが格納されている USB ストレージ デバイスを USB ポートに挿入し、画面の指示に従います。

サービス メニュー

表示方法: プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押し、次に [**プリンタのメンテナンス**] メニュー、[**サービス**] メニューの順に選択します。

サービス メニューはロックされており、アクセスするには PIN を入力する必要があります。このメニューは、正規サービス担当者が使用することを前提にしています。

3 Windows 用ソフトウェア

対応オペレーティング システムとプリンタ ドライバ (Windows)

本製品は、次の Windows オペレーティング システムに対応します。

- Windows XP (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows Server 2008 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows Vista (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット)

本製品に付属のソフトウェア CD に収録されているインストール プログラムは、次の Windows オペレーティング システムに対応します。

- Windows XP Service Pack 2 以上 (32 ビット)
- Windows Server 2008 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows Server 2008 R2 (64 ビット)
- Windows Vista (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows 7 (Starter Edition を含む、32 ビットおよび 64 ビット)

注記： Windows のプリンタの追加機能を使用すると、製品ソフトウェアを Windows XP (64 ビット) および Windows Server 2003 (64 ビット) オペレーティング システムにもインストールできます。

本製品は、次の Windows 用プリンタ ドライバに対応します。

- HP PCL 6 (デフォルトのプリンタ ドライバ)
- HP PostScript エミュレーション Universal Print Driver (HP UPD PS)
- HP PCL 5 ユニバーサル プリンタ ドライバ (HP UPD PCL 5)
- HP PCL 6 ユニバーサル プリンタ ドライバ (HP UPD PCL 6)

プリンタ ドライバには、一般的な印刷タスクの操作手順と、プリンタ ドライバ内のボタン、チェックボックス、およびドロップダウン リストに関するオンライン ヘルプが含まれています。

注記： UPD についての詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。

適切なプリンタ ドライバの選択 (Windows)

プリンタ ドライバから製品の機能にアクセスできます。また、ドライバによってコンピュータと製品間の通信が可能になります (プリンタ言語を使用)。次のプリンタ ドライバは、www.hp.com/go/lj600Series_software で入手できます。

HP PCL 6 ドライバ	• デフォルトのドライバです。他のドライバを選択しない限り、このドライバが自動的にインストールされます。 • すべての Windows 環境用として推奨 • ほとんどのユーザーにとって、最適なスピード、印刷品質、プリント機能を実現 • Windows 環境に最適のスピードを実現する Windows Graphic Device Interface (GDI) 対応設計 • サードパーティのソフトウェア プログラムや、PCL 5 用にカスタマイズされたソフトウェア プログラムと相性が合わない可能性あり
HP UPD PS ドライバ	• Adobe® ソフトウェア プログラムやその他のグラフィック集約型ソフトウェア プログラムでの印刷用として推奨 • Postscript エミュレーションや Postscript Flash フォント サポートの印刷に対応
HP UPD PCL 5	• 一般的なオフィス印刷用 (Windows 環境) として推奨 • これまでの PCL バージョンや HP LaserJet プリンタの旧バージョンに対応 • サードパーティやカスタマイズされたソフトウェア プログラムでの印刷に最適 • PCL 5 を使用している混合環境での使用に最適 (UNIX、Linux、メインフレーム) • 会社での Windows 環境向け使用を目的とした設計となっており、単一のドライバで複数のプリンタ モデルに対応 • Windows 搭載のモバイル コンピュータから複数のプリンタ モデルに印刷する際の使用にお勧め
HP UPD PCL 6	• すべての Windows 環境における推奨ドライバです。 • ほとんどのユーザーにとって、速度、印刷品質、および利用可能なプリンタ機能の面で最高レベルです。 • Windows Graphic Device Interface (GDI) を使用して作成されているので、Windows 環境での動作が高速です。 • サードパーティのソフトウェア プログラムや、PCL 5 用にカスタマイズされたソフトウェア プログラムと相性が合わない可能性あり

HP ユニバーサル プリンタ ドライバ (UPD)

Windows 用 HP ユニバーサル プリンタ ドライバ (UPD) は、任意の場所から事実上すべての HP LaserJet 製品にすぐにアクセスできる単一のドライバです。製品ごとに別個のドライバをダウンロードする必要はありません。実証された HP プリンタ ドライバ テクノロジを基礎とし、徹底的にテストされ、多くのソフトウェア プログラムで使用されています。長期にわたり、一貫して動作する強力なソリューションです。

HP UPD は、各 HP 製品と直接通信し、設定情報を収集してから、その製品に固有の機能を表示するようにユーザー インタフェースをカスタマイズします。両面印刷やステイプル留めなど、その製品に使用可能な機能が自動的に有効になるので、手動で有効にする必要がありません。

詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。

UPD インストール モード

従来モード	• CD から 1 台のコンピュータにドライバをインストールする場合は、このモードを使用します。 • プリンタに同梱の CD からインストールした場合、UPD は従来のプリンタ ドライバのように動作します。特定のプリンタで動作します。 • このモードを使用する場合、コンピュータごとおよびプリンタごとに UPD を別個にインストールする必要があります。
動的モード	• このモードを使用するには、インターネットから UPD をダウンロードします。詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。 • 動的モードでは、インストールした 1 つのドライバを使用して、任意の場所にある HP 製品を検出してその製品で印刷できます。 • ワークグループ用に UPD をインストールする場合は、このモードを使用します。

印刷ジョブ設定の変更 (Windows)

印刷設定の優先度

印刷設定の変更は、変更が行われた場所によって優先度が決まります。

注記： コマンドおよびダイアログ ボックスの名前は、ソフトウェア プログラムによって異なる場合があります。

- **[ページ設定] ダイアログ ボックス**：ご使用のプログラムの［ファイル］メニューで［**ページ設定**］またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスで変更された設定は、他のどの場所で変更された設定よりも優先されます。
- **[印刷] ダイアログ ボックス**：ご使用のプログラムの［ファイル］メニューで、[**印刷**]、[**印刷設定**]、またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。［印刷］ダイアログ ボックスで変更された設定は優先順位が低く、通常、[**ページ設定**］ダイアログボックスで行われた変更より優先されません。
- **[プリンタのプロパティ] ダイアログ ボックス (プリンタ ドライバ)**:［印刷］ダイアログ ボックスで［**プロパティ**］をクリックして、プリンタ ドライバを開きます。[**プリンタのプロパティ**］ダイアログ ボックスで変更された設定は、通常、印刷ソフトウェアの他のどの場所の設定より優先されません。ここからほとんどの印刷設定を変更できます。
- **プリンタ ドライバのデフォルト設定**：プリンタ ドライバのデフォルト設定は、[**ページ設定**]、[**印刷**]、または［**プリンタのプロパティ**］ダイアログ ボックスで設定が*変更されない限り*、すべての印刷ジョブで使用されます。
- **プリンタのコントロール パネルの設定**：プリンタのコントロール パネルで変更した設定は、他の場所で行った変更よりも優先度が低くなります。

すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)

1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、[**印刷**］をクリックします。
2. ドライバを選択し、[**プロパティ**］または［**基本設定**］をクリックします。

手順は変わることがあり、共通ではありません。

すべての印刷ジョブのデフォルト設定を変更する

1. **Windows XP、Windows Server 2003、**および **Windows Server 2008 (標準の [スタート] メニューの場合)**: [スタート]、[プリンタと **FAX**] の順にクリックします。

   Windows XP、Windows Server 2003、および **Windows Server 2008 (クラシック [スタート] メニューの場合)**: [スタート]、[設定]、[プリンタ] の順にクリックします。

   Windows Vista: [スタート]、[コントロール パネル] の順にクリックし、[ハードウェアとサウンド] カテゴリで [プリンタ] をクリックします。

   Windows 7 の場合 : [スタート]、[デバイスとプリンター] の順にクリックします。

2. ドライバ アイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

製品の設定を変更する

1. **Windows XP、Windows Server 2003、**および **Windows Server 2008 (標準の [スタート] メニューの場合)**: [スタート]、[プリンタと **FAX**] の順にクリックします。

   Windows XP、Windows Server 2003、および **Windows Server 2008 (クラシック [スタート] メニューの場合)**: [スタート]、[設定]、[プリンタ] の順にクリックします。

   Windows Vista: [スタート]、[コントロール パネル] の順にクリックし、[ハードウェアとサウンド] カテゴリで [プリンタ] をクリックします。

   Windows 7 の場合 : [スタート]、[デバイスとプリンター] の順にクリックします。

2. ドライバ アイコンを右クリックし、[プロパティ] または [プリンタのプロパティ] を選択します。

3. [デバイスの設定] タブをクリックします。

Windows からプリンタ ドライバを削除する

Windows XP

1. **[スタート]**、**[コントロールパネル]** の順にクリックして、次に **[プログラムの追加と削除]** をクリックします。
2. リストで製品を探して選択します。
3. ソフトウェアを削除するには、**[変更と削除]** ボタンをクリックします。

Windows Vista

1. **[スタート]**、**[コントロールパネル]** の順にクリックして、次に **[プログラムと機能]** をクリックします。
2. リストで製品を探して選択します。
3. **[アンインストールと変更]** オプションを選択します。

Windows 7

1. **[スタート]**、**[コントロール パネル]** の順にクリックし、**[プログラム]** 見出しの下にある **[プログラムのアンインストール]** をクリックします。
2. リストで製品を探して選択します。
3. **[アンインストール]** オプションを選択します。

サポートされているユーティリティ (Windows)

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin は、シンプルな印刷およびイメージの周辺機器管理ソフトウェア ツールです。リモート設定、事前監視、セキュリティ トラブルの解決、および印刷とイメージング製品のレポートを有効にすることにより、プリンタの利用最適化、カラー コストの制御、プリンタの保護、サプライ品の管理の簡素化を行います。

最新版の HP Web Jetadmin をダウンロードしたり、対応ホストシステムの最新のリストを参照したりするには、www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスしてください。

ホスト サーバにインストールされると、Windows クライアントは、サポートされている Web ブラウザ (Microsoft® Internet Explorer など) を使用して HP Web Jetadmin ホストに移動し、HP Web Jetadmin にアクセスできます。

HP 内蔵 Web サーバ

プリンタには、プリンタおよびネットワークのアクティビティに関する情報にアクセスできる HP 内蔵 Web サーバが装備されています。この情報は、Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator、Apple Safari、Mozilla Firefox などの Web ブラウザで表示されます。

HP 内蔵 Web サーバはプリンタに組み込まれています。ネットワーク サーバにはロードされません。

HP 内蔵 Web サーバでは、プリンタへのインタフェースが提供されているので、ネットワークに接続されているコンピュータと標準の Web ブラウザを持つユーザーは誰でも使用できます。特別なソフトウェアがインストールまたは設定されることはありませんが、サポートされている Web ブラウザがコンピュータにインストールされている必要があります。HP 内蔵 Web サーバにアクセスするには、ブラウザのアドレス行にプリンタの IP アドレスを入力します (IP アドレスを確認するには、設定ページを印刷します。設定ページの印刷方法については、150 ページの「情報ページの印刷」を参照してください)。

HP 内蔵 Web サーバの機能の詳しい説明については、151 ページの「HP 内蔵 Web サーバの使用」を参照してください。

HP ePrint

HP ePrint では、場所と時間を問わず携帯電話、ラップトップ、またはその他のモバイル デバイスから印刷できます。HP ePrint は、電子メールに対応したデバイスで使用できます。電子メールを送信できれば、HP ePrint に対応したプリンタで印刷できます。詳細については、www.hpeprintcenter.com を参照してください。

注記： HP ePrint を使用するには、プリンタがネットワークに接続され、インターネットにアクセスできる必要があります。

プリンタのデフォルトの設定では、HP ePrint は無効になっています。有効にするには、以下の手順に従います。

1. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレス行に入力し、HP 内蔵 Web サーバーを開きます。
2. [**Web サービス**] タブをクリックします。
3. Web サービスを有効にするオプションを選択します。

その他のオペレーティング システムに対応したソフトウェア

OS	ソフトウェア
UNIX	HP-UX および Solaris ネットワークの場合は、UNIX 用の HP Jetdirect プリンタ インストーラを www.hp.com/go/jetdirectunix_software からダウンロードします。 最新機種のスクリプトについては、www.hp.com/go/unixmodelscripts を参照してください。
Linux	詳細については、www.hplip.net を参照してください。
SAP デバイス	ドライバについては、www.hp.com/go/sap/drivers を参照してください。 詳細については、www.hp.com/go/sap/print を参照してください。

4 Mac でのプリンタの使用

Mac 用ソフトウェア

対応オペレーティング システムとプリンタ ドライバ (Mac)

この製品は、次の Mac オペレーティング システムに対応します。

- Mac OS 10.5 および 10.6 の場合

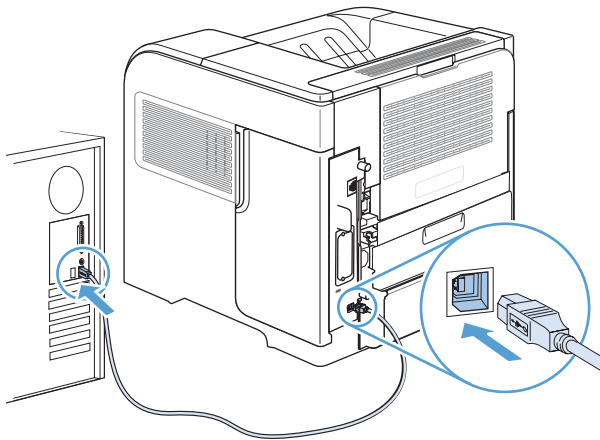
注記： Mac OS X 10.5 以降では、PPC および Intel® Core™ プロセッサ Mac がサポートされています。Mac OS X 10.6 では、Intel Core プロセッサ Mac がサポートされています。

HP LaserJet ソフトウェア インストーラには、Mac OS X コンピュータ用の PostScript® Printer Description (PPD) ファイル、Printer Dialog Extensions (PDE)、および HP ユーティリティが含まれています。HP プリンタ PPD および PDE ファイルは、ビルトイン Apple PostScript プリンタ ドライバとの結合により、フル印刷機能や HP プリンタ独自の機能へのアクセスを提供します。

Mac オペレーティング システム対応ソフトウェアのインストール

プリンタに直接接続された Mac コンピュータ対応ソフトウェアのインストール

このプリンタでは USB 2.0 接続がサポートされています。A-to-B 型 USB ケーブルを使用してください。HP では、2 m 以下のケーブルの使用を推奨しています。

1. USB ケーブルを製品とコンピュータに接続します。

2. CD からソフトウェアをインストールします。製品のアイコンをクリックし、画面の指示に従います。

   CD のインストール プロセス中にプリンタを追加しなかった場合は、次の手順に進みます。

3. コンピュータでアップルメニュー を開き、[**システム環境設定**] メニューをクリックして、[**プリントとファクス**] アイコンをクリックします。

4. **[プリンタ名]** 列の左下隅にあるプラス記号 (+) をクリックし、**[プリンタの追加]** ウィンドウでプリンタを選択してから、プリンタ ドライバが **[使用するドライバ]** 領域に一覧表示されていることを確認します。

5. **[追加]** をクリックしてプリンタ キューを作成します。

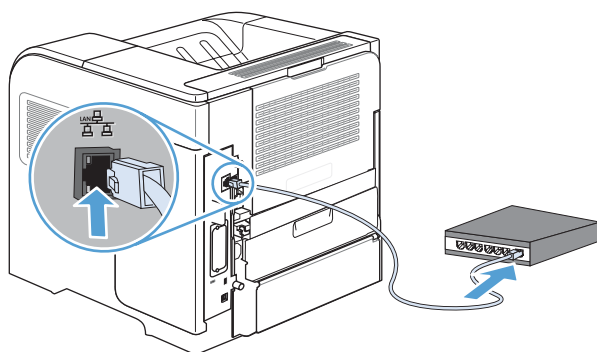
注記： Mac OS X 10.5 および 10.6 の場合は、インストールの過程で自動的にオプションが設定されます。

6. 任意のプログラムからページを印刷して、ソフトウェアが正常にインストールされたことを確認します。

注記： インストールに失敗した場合は、再インストールします。

有線ネットワークでの Mac コンピュータ対応ソフトウェアのインストール

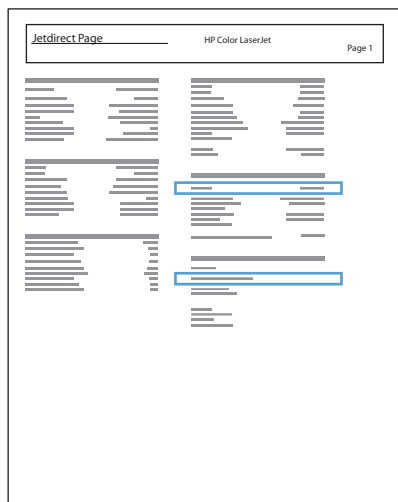
IP アドレスの設定

1. ネットワーク ケーブルで製品とネットワークを接続します。

2. 次の操作まで 60 秒待機します。その間に、ネットワークがプリンタを認識して、IP アドレスまたはホスト名を割り当てます。

3. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。

4. 以下のメニューを開きます。

   - **管理**
   - **レポート**
   - **設定/ステータス ページ**
   - **プリンタ設定ページ**

5. [内蔵 Jetdirect] ページで、IP アドレスを確認します。

6. **IPv4 の場合**：IP アドレスが 0.0.0.0、192.0.0.192 または 169.254.x.x の場合は、手動で IP アドレスを設定する必要があります。そうでない場合は、ネットワーク設定は正常です。

   IPv6 の場合：IP アドレスの最初に「fe80:」がついていれば、プリンタで印刷可能になっているはずです。そうでない場合は、IP アドレスを手動で設定する必要があります。

ソフトウェアのインストール

1. CD からソフトウェアをインストールします。製品のアイコンをクリックし、画面の指示に従います。

   CD のインストール プロセス中にプリンタを追加しなかった場合は、次の手順に進みます。

2. コンピュータでアップルメニュー を開き、[**システム環境設定**] メニューをクリックして、[**プリントとファクス**] アイコンをクリックします。

3. [**プリンタ名**] 列の左下隅にあるプラス記号 (+) をクリックします。

   デフォルトでは、Mac OS X では Bonjour を使用してドライバを検出し、プリンタのポップアップ メニューにプリンタを追加します。ほとんどの状況では、Bonjour が最適な手段です。Mac OS X で HP プリンタ ドライバを検出できないと、エラー メッセージが表示されます。ソフトウェアを再インストールします。

   大規模なネットワークにプリンタを接続している場合は、Bonjour でなく IP プリントを使用して接続する必要があります。次の手順に従います。

   a. [**プリンタの追加**] ウィンドウで、[**IP プリンタ**] ボタンをクリックします。

   b. [**プロトコル**] ドロップ ダウン リストで、[**HP Jetdirect-ソケット**] オプションを選択します。プリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力します。モデルがまだ選択されていない場合は、[**使用するドライバ**] ドロップダウン リストから選択します。

4. 任意のプログラムからページを印刷して、ソフトウェアが正常にインストールされたことを確認します。

Mac オペレーティング システムからプリンタ ドライバを削除する

ソフトウェアを削除するには、管理者権限が必要です。

1. **[システム環境設定]** を開きます。
2. **[プリントとファクス]** を選択します。
3. プリンタを選択します。
4. マイナス記号 (-) をクリックします。
5. 必要に応じてプリント キューを削除します。

印刷設定の優先度 (Mac の場合)

印刷設定の変更は、変更が行われた場所によって優先度が決まります。

注記： コマンドおよびダイアログ ボックスの名前は、ソフトウェア プログラムによって異なる場合があります。

- **[ページ設定] ダイアログ ボックス**：ご使用のプログラムの［ファイル］メニューで［**ページ設定**］またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。ここで変更した設定内容が、他の場所で変更した設定内容に優先します。
- **[印刷] ダイアログ ボックス**：ご使用のプログラムの［ファイル］メニューで［**印刷**］、［**ページ設定**］、またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。［印刷］ダイアログ ボックスで変更された設定は優先度が低いため、［**ページ設定**］ダイアログ ボックスで変更した設定より*優先されることはありません*。
- **プリンタ ドライバのデフォルト設定**：プリンタ ドライバのデフォルト設定は、［**ページ設定**］、［**印刷**］、または［**プリンタのプロパティ**］ダイアログ ボックスで設定が*変更されない限り*、すべての印刷ジョブで使用されます。
- **プリンタのコントロール パネルの設定**：プリンタのコントロール パネルで変更した設定は、他の場所で行った変更よりも優先度が低くなります。

プリンタ ドライバ設定の変更 (Mac の場合)

すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)

1. ［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］ボタンをクリックします。
2. さまざまなメニューで設定を変更します。

すべての印刷ジョブのデフォルト設定を変更する

1. ［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］ボタンをクリックします。
2. さまざまなメニューで設定を変更します。
3. ［**Presets**］メニューで、［**名前を付けて保存**］オプションをクリックしてプリセットの名前を入力します。

これらの設定が［**Presets**］メニューに追加されます。新しい設定を使用するには、プログラムを起動して印刷するたびに、保存したプリセット オプションを選択する必要があります。

製品の設定を変更する

1. アップルメニュー から、［**システム環境設定**］メニューをクリックし、［**プリントとファクス**］アイコンをクリックします。
2. ウィンドウの左側でプリンタを選択します。
3. ［**オプションとサプライ品**］ボタンをクリックします。

4. ［ドライバ］タブをクリックします。

5. インストールされているオプションを設定します。

Mac コンピュータ用ソフトウェア

HP ユーティリティ (Mac の場合)

HP ユーティリティを使用して、プリンタ ドライバでは使用できない製品機能を設定します。

HP ユーティリティは、製品でユニバーサル シリアル バス (USB) ケーブルを使用している場合、または製品が TCP/IP ベースのネットワークに接続されている場合に使用できます。

HP Printer ユーティリティを開く

▲ Dock で、[**HP ユーティリティ**] をクリックします。

または

[**アプリケーション**] で、[**Hewlett Packard**]、[**HP ユーティリティ**] の順にクリックします。

HP ユーティリティの機能

HP ユーティリティは複数のページで構成されています。各ページを開くには、[**Configuration Settings**] リストの項目をクリックします。次の表に、これらのページで実行できるタスクを示します。各ページの上端にある [**HP Support**] リンクをクリックすると、技術支援、サプライ品のオンライン注文、オンライン登録、リサイクル、および返却に関する情報が表示されます。

メニュー	項目	説明
[**Information And Support**]	[**サプライ品のステータス**]	プリンタのサプライ品のステータスを示し、オンラインでサプライ品を注文できるリンクが表示されます。
	[**デバイス情報**]	現在選択されているプリンタに関する情報を表示します。
	[**ファイルのアップロード**]	コンピュータからプリンタにファイルを転送します。
	[**フォントのアップロード**]	コンピュータからプリンタにフォント ファイルを転送します。
	[**ファームウェアを更新**]	ファームウェア更新ファイルをプリンタに転送します。
	[**コマンド**]	印刷ジョブ終了後、特殊文字または印刷コマンドをプリンタに送信します。
[**プリンタ設定**]	[**トレイの設定**]	デフォルトのトレイ設定を変更します。
	[**Economode とトナー密度**]	より低コストでトナーを使用するようトナー濃度を変更します。
	[**解像度**]	プリンタのデフォルト印刷解像度を設定します。
	[**排紙デバイス**]	オプションの排紙アクセサリの設定を管理します。
	[**両面印刷モード**]	自動両面印刷モードをオンにします。
	[**保存ジョブ**]	プリンタのハード ディスクに保存されている印刷ジョブを管理します。

メニュー	項目	説明
	[電子メール警告]	特定のイベントについて電子メール通知を送信するようにプリンタを設定します。
	[ネットワーク設定]	IPv4 および IPv6 などのネットワーク設定を行います。
	[Supplies Management]	サプライ品の推定寿命が近づいた場合の動作方法を設定します。
	[Protect Direct Ports]	USB ポートまたはパラレル ポートからの印刷を無効にします。
	[詳細設定]	HP 内蔵 Web サーバーにアクセスできるようにします。

サポートされているユーティリティ (Mac の場合)

HP 内蔵 Web サーバ

このプリンタには、HP 内蔵 Web サーバーが組み込まれています。これにより、プリンタおよびネットワークの稼動状況に関する情報を取得できます。HP 内蔵 Web サーバーにアクセスするには、HP ユーティリティを使用します。具体的には、[**プリンタ設定**] メニューを開き、[**詳細設定**] を選択します。

また、Safari Web ブラウザでも以下の手順で HP 内蔵 Web サーバーにアクセスできます。

1. Safari ツールバーの左側にあるページ アイコンを選択します。
2. Bonjour のロゴをクリックします。
3. プリンタのリストで、このプリンタをダブルクリックします。HP 内蔵 Web サーバーが開きます。

HP ePrint

HP ePrint では、場所と時間を問わず携帯電話、ラップトップ、またはその他のモバイル デバイスから印刷できます。HP ePrint は、電子メールに対応したデバイスで使用できます。電子メールを送信できれば、HP ePrint に対応したプリンタで印刷できます。詳細については、www.hpeprintcenter.com を参照してください。

注記： HP ePrint を使用するには、プリンタがネットワークに接続され、インターネットにアクセスできる必要があります。

プリンタのデフォルトの設定では、HP ePrint は無効になっています。有効にするには、以下の手順に従います。

1. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレス行に入力し、HP 内蔵 Web サーバーを開きます。
2. [**Web サービス**] タブをクリックします。
3. Web サービスを有効にするオプションを選択します。

AirPrint

Apple の AirPrint を使用した直接印刷は、iOS 4.2 以降でサポートされています。次のアプリケーションで、iPad (iOS 4.2)、iPhone (3GS 以降)、または iPod touch (第 3 世代以降) からプリンタに直接印刷するには、AirPrint を使用します。

- メール
- 写真
- Safari
- 選択したサードパーティのアプリケーション

AirPrint を使用するには、プリンタがネットワークに接続されている必要があります。AirPrint の使用方法と AirPrint に対応する HP 製品の詳細については、www.hp.com/go/airprint を参照してください。

注記： AirPrint を使用するにはプリンタのファームウェアをアップグレードする必要があることがあります。www.hp.com/go/lj600Series_firmware を参照してください。

Mac での基本的な印刷タスク

Mac で印刷ジョブをキャンセルする

1. 印刷ジョブが現在進行中の場合は、次の手順に従ってジョブをキャンセルします。
   a. コントロール パネルの [停止⊗] ボタンを押します。
   b. 削除の確認メッセージが表示されます。OK ボタンを押します。
2. ソフトウェア プログラムまたは印刷キューから印刷ジョブをキャンセルすることもできます。
   - **ソフトウェア プログラム**: 通常は、しばらくの間コンピュータの画面に表示されるダイアログ ボックスで印刷ジョブをキャンセルできます。
   - **Mac プリント キュー**: Dock 内のプリンタ アイコンをダブルクリックしてプリント キューを開きます。印刷ジョブを選択し、[**削除**] をクリックします。

Mac で使用する用紙のサイズとタイプの変更

1. ソフトウェア プログラムの [**ファイル**] メニューで、[**印刷**] オプションをクリックします。
2. [**部数とページ数**] メニューで、[**ページ設定**] ボタンをクリックします。
3. [**用紙サイズ**] ドロップダウン リストからサイズを選択して、[**OK**] ボタンをクリックします。
4. [**レイアウト**] メニューを開きます。
5. [**用紙の種類**] ドロップダウン リストからタイプを選択します。
6. [**印刷**] ボタンをクリックします。

文書のサイズ変更またはカスタム用紙サイズへの印刷 (Mac の場合)

Mac OS 10.5 および 10.6 の場合 次のどちらかの方法に従います。	1. [**ファイル**] メニューで、[**印刷**] オプションをクリックします。 2. [**ページ設定**] ボタンをクリックします。 3. プリンタを選択し、[**用紙サイズ**] および [**印刷の向き**] オプションで適切な設定を選択します。
	1. [**ファイル**] メニューで、[**印刷**] オプションをクリックします。 2. [**用紙処理**] メニューを開きます。 3. [**Destination Paper Size**] 領域で、[**Scale to fit paper size**] ボックスをクリックしてドロップダウン リストからサイズを選択します。

印刷機能のプリセットの作成および使用 (Mac の場合)

印刷機能のプリセットを使用して現在のプリンタ ドライバの設定を保存すると、同じ設定を再利用できます。

印刷機能のプリセットの作成

1. ［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］オプションをクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. 再利用できるように保存する印刷設定を選択します。
4. ［**Presets**］メニューで、［**名前を付けて保存**］オプションをクリックしてプリセットの名前を入力します。
5. ［**OK**］ボタンをクリックします。

印刷機能のプリセットの使用

1. ［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］オプションをクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. ［**Presets**］メニューで、印刷機能のプリセットを選択します。

注記： プリンタ ドライバのデフォルト設定を使用するには、［**標準**］オプションを選択します。

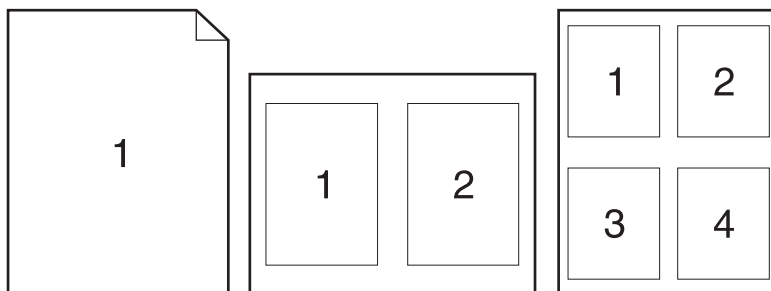
表紙の印刷 (Mac の場合)

1. ［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］オプションをクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. ［**表紙**］メニューを開いて、表紙を印刷する位置を選択します。［**書類の前**］ボタンまたは［**書類の後**］ボタンをクリックします。
4. ［**表紙の種類**］メニューで、表紙に印刷するメッセージを選択します。

   注記： 空白の表紙を印刷するには、［**表紙の種類**］メニューで［**標準**］オプションを選択します。

透かしの使用 (Mac の場合)

1. ［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］オプションをクリックします。
2. ［**透かし**］メニューを開きます。
3. ［**モード**］メニューで、使用する透かしの種類を選択します。半透明のメッセージを印刷するには、［**透かし**］オプションを選択します。透明でないメッセージを印刷するには、［**オーバーレイ**］オプションを選択します。
4. ［**ページ**］メニューで、全ページに透かしを印刷するか、最初のページだけに透かしを印刷するのかを選択します。
5. ［**テキスト**］メニューで、いずれかの標準メッセージを選択するか、［**カスタム**］オプションを選択して、ボックスに新しいメッセージを入力します。
6. 残りの設定のオプションを選択します。

1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Mac の場合)

1. [**ファイル**] メニューで、[**印刷**] オプションをクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. [**レイアウト**] メニューを開きます。
4. [**用紙あたりのページ数**] メニューで、1 枚の用紙に印刷するページ数 (1、2、4、6、9、または 16) を選択します。
5. [**レイアウト方向**] 領域で、用紙に印刷するページの順序と位置を選択します。
6. [**ページ境界線**] メニューで、用紙の各ページの周囲に印刷する境界線の種類を選択します。

両面印刷 (Mac の場合)

1. 印刷ジョブを実行するために十分な量の用紙をトレイの 1 つにセットします。
2. [**ファイル**] メニューで、[**印刷**] オプションをクリックします。
3. [**レイアウト**] メニューを開きます。
4. [**Two-Sided**] メニューで、[綴じ込み] オプションを選択します。

ジョブの保存 (Mac の場合)

製品にジョブを保存すると、いつでも印刷できます。保存したジョブは、他のユーザと共有するか、プライベートに設定できます。

1. [**ファイル**] メニューで、[**印刷**] オプションをクリックします。
2. [**ジョブ保存**] メニューを開きます。

3. ［**ジョブ保存モード**］ドロップダウン リストで、保存するジョブの種類を選択します。

   - ［**試し刷り後に保留**］: この機能では、ジョブを 1 部すばやく印刷して確認し、その後追加の部数を印刷できます。
   - ［**個人ジョブ**］: ジョブをプリンタへ送信したとき、コントロール パネルで実行するまでジョブが印刷されません。個人識別番号 (PIN) をジョブに割り当てる場合は、コントロール パネルで必要な PIN を入力する必要があります。
   - ［**クイック コピー**］: プリンタにオプションのハード ディスクを取り付けている場合、指定した部数だけ印刷してから、オプションのハード ディスクにジョブを保存できます。ジョブを保存することで、後でジョブの追加コピーを印刷できます。
   - ［**保存ジョブ**］: プリンタにオプションのハード ディスクを取り付けている場合、社内の共通フォームや勤務表、カレンダーなどをプリンタに保存しておき、誰でも必要なときに印刷することができます。保存したジョブを PIN で保護することもできます。

4. カスタム ユーザー名またはジョブ名を使用するには、［**カスタム**］ボタンをクリックして、ユーザー名またはジョブ名を入力します。

   別の保存ジョブが同じ名前の場合に使用するオプションを選択します。

［**ジョブ名と 1 ～ 99 までの数値を使用する**］	固有の番号をジョブ名の末尾に追加します。
［**既存のファイルを置換**］	既存の保存ジョブを新しいジョブで上書きします。

5. 手順 3 で［**保存ジョブ**］または［**個人ジョブ**］オプションを選択した場合、PIN でジョブを保護できます。［**印刷に PIN を使用する**］フィールドに 4 桁の数字を入力します。他のユーザーがこのジョブを印刷しようとすると、この PIN 番号の入力を求められます。

Mac での問題の解決

212 ページの「Mac において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する」を参照してください。

5　プリンタの接続 (Windows の場合)

プリンタ共有の免責条項

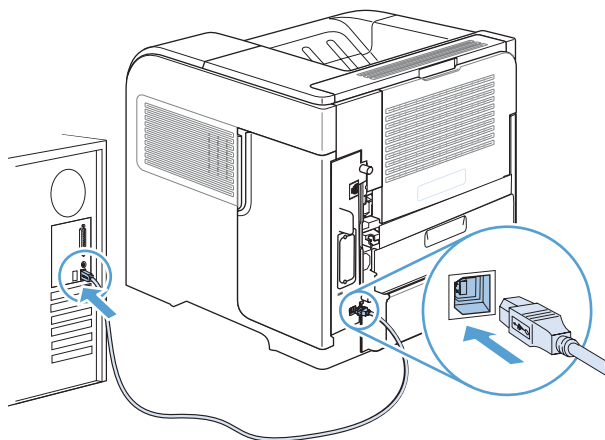
HP はピアツーピア ネットワークをサポートしていません。これは、Microsoft オペレーティング システムの機能であり、HP プリンタ ドライバの機能ではありません。Microsoft のウェブサイト www.microsoft.com にアクセスしてください。

USB で接続する

このプリンタでは USB 2.0 接続がサポートされています。A-to-B 型 USB ケーブルを使用してください。HP では、2 m 以下のケーブルの使用を推奨しています。

注意： インストール ソフトウェアの指示があるまで、USB ケーブルを接続しないでください。

CD からのインストール

1. コンピュータ上の開いているすべてのプログラムを終了します。
2. CD からソフトウェアをインストールし、画面の指示に従います。
3. メッセージが表示されたら、[**USB ケーブルを使用してこのコンピュータに直接接続する**] オプションを選択し、[**次へ**] ボタンをクリックします。
4. メッセージが表示されたら、プリンタとコンピュータに USB ケーブルを接続します。

5. インストールの最後に、[**完了**] ボタンをクリックするか、または [**その他のオプション**] ボタンをクリックして追加のソフトウェアをインストールします。
6. [**その他のオプション**] 画面で、他のソフトウェアをインストールするか、[**終了**] ボタンをクリックします。
7. 任意のプログラムからページを印刷して、ソフトウェアが正常にインストールされたことを確認します。

注記： インストールに失敗した場合は、再インストールします。

ネットワークへの接続 (Windows の場合)

ネットワーク パラメータはコントロール パネルや HP 内蔵 Web サーバから設定します。または、ほとんどのネットワークでは HP Web Jetadmin ソフトウェアから設定できます。

注記： HP Web Jetadmin ソフトウェアは、Mac OS X オペレーティング システムではサポートされていません。

対応するネットワークおよびソフトウェアによるネットワーク パラメータ設定手順の完全なリストは、『*HP Jetdirect 内蔵プリント サーバ管理者用ガイド*』を参照してください。このガイドは HP Jetdirect 内蔵プリント サーバがインストールされているプリンタに付属しています。

サポートされているネットワーク プロトコル

表 5-1 対応ネットワーク プロトコル

ネットワーク タイプ	サポートされているプロトコル
TCP/IP IPv4 と IPv6 が混在使用されているネットワーク	• Bonjour • Simple Network Management Protocol (SNMP) v1、v2、および v3 • Hyper Text Transfer Protocol (HTTP) • Secure HTTP (HTTPS) • File Transfer Protocol (FTP) • Port 9100 • Line printer daemon (LPD) • Intenet Printing Protocol (IPP) • 保護された IPP • Web Services Dynamic Discovery (WS Discovery) • IPsec/Firewall
TCP/IP IPv4 だけが使用されているネットワーク	• 自動 IP • Service Location Protocol (SLP) • Trivial File Transfer Protocol (TFTP) • Telnet • Internet Group Management Protocol (IGMP) v2 • Bootstrap Protocol (BOOTP)/DHCP • Windows Internet Name Service (WINS) • IP Direct Mode • WS Print

表 5-1　対応ネットワーク プロトコル（続き）

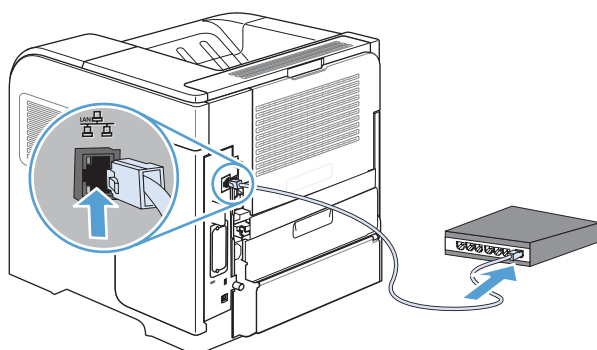
ネットワーク タイプ	サポートされているプロトコル
TCP/IP IPv6 だけが使用されているネットワーク	• Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) v6 • Multicast Listener Discovery Protocol (MLD) v1 • Internet Control Message Protocol (ICMP) v6
サポートされているその他のネットワーク プロトコル	• Internetwork Packet Exchange/Sequenced Packet Exchange (IPX/SPX) • AppleTalk • NetWare Directory Services (NDS) • Bindery • Novell Distributed Print Services (NDPS) • iPrint

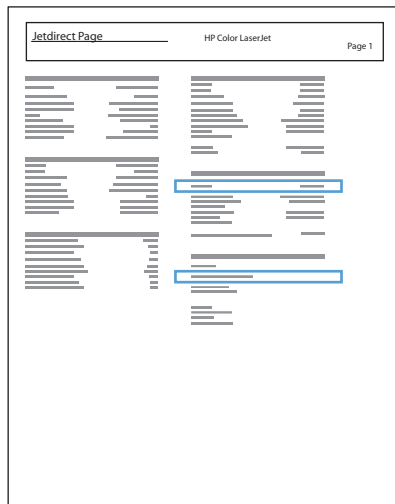
表 5-2　ネットワーク管理用の高度なセキュリティ機能

サービス名	説明
IPsec/ファイアウォール	IPv4 と IPv6 ネットワークにネットワーク レイヤ セキュリティを提供します。ファイアウォール機能では、IP トラフィックの単純な制御が可能です。IPsec では、認証や暗号化プロトコルを使った、より高度な保護機能を利用できます。
Kerberos	チケットと呼ぶ固有キーをネットワークにログオンする各ユーザーに割り当てることで、オープン ネットワーク全体で個人情報を交換できます。チケットは、メッセージに埋め込まれ発信者の識別に使用されます。
SNMP v3	暗号化により、ユーザー認証とデータのプライバシーを提供する SNMP v3 にユーザーベースのセキュリティ モデルを採用します。
SSL/TLS	インターネット経由でプライベート ドキュメントを転送し、クライアントとサーバ アプリケーション間のプライバシーとデータの整合性を保証できます。
IPsec バッチ設定	プリンタへのまたはプリンタからの IP トラフィックの単純な制御によりネットワーク レイヤ セキュリティを提供します。このプロトコルでは、暗号化と認証の利点が得られ、複数の設定が可能です。

有線ネットワークへのプリンタのインストール (Windows の場合)

IP アドレスの設定

1. ネットワーク ケーブルで製品とネットワークを接続します。

2. 次の操作まで 60 秒待機します。その間に、ネットワークがプリンタを認識して、IP アドレスまたはホスト名を割り当てます。
3. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。
4. 以下のメニューを開きます。
   - **管理**
   - **レポート**
   - **設定/ステータス ページ**
   - **プリンタ設定ページ**

5. [内蔵 Jetdirect] ページで、IP アドレスを確認します。

6. **IPv4 の場合**：IP アドレスが 0.0.0.0、192.0.0.192 または 169.254.x.x の場合は、手動で IP アドレスを設定する必要があります。そうでない場合は、ネットワーク設定は正常です。

   IPv6 の場合：IP アドレスの最初に「fe80:」がついていれば、プリンタで印刷可能になっているはずです。そうでない場合は、IP アドレスを手動で設定する必要があります。

ソフトウェアのインストール

1. コンピュータ上のすべてのプログラムを終了します。
2. CD からソフトウェアをインストールします。
3. 画面に表示される手順に従います。
4. メッセージが表示されたら、[**有線ネットワークで接続**] オプションを選択します。
5. 使用可能なプリンタの一覧から、正しい アドレスのプリンタを選択します。
6. インストールの最後に、[**完了**] ボタンをクリックするか、または [**その他のオプション**] ボタンをクリックして追加のソフトウェアをインストールします。
7. 任意のプログラムからページを印刷して、ソフトウェアが正常にインストールされたことを確認します。

ネットワーク構成の設定 (Windows の場合)

ネットワーク設定の表示または変更

内蔵 Web サーバを使用して、IP 設定を表示・変更します。

1. 設定ページを印刷し、IP アドレスを探します。

   - IPv4 を使用している場合、IP アドレスには数字のみが含まれます。形式は次のとおりです。

     `xxx.xxx.xxx.xxx`

   - IPv6 を使用している場合、IP アドレスは 16 進数の文字と桁の組み合わせです。次のような形式になります。

     `xxxx::xxxx:xxxx:xxxx:xxxx`

2. Web ブラウザのアドレス欄に IP アドレスを入力し、内蔵 Web サーバーを開きます。

3. **[ネットワーキング]** タブをクリックし、ネットワーク情報を取得します。必要に応じて設定を変更できます。

ネットワーク パスワードの設定または変更

内蔵 Web サーバを使用して、ネットワーク パスワードを設定または変更できます。

1. 内蔵 Web サーバを開き、**[ネットワーキング]** タブをクリックして、**[セキュリティ]** リンクをクリックします。

   注記： パスワードがすでに設定されている場合は、パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力して、**[適用]** ボタンをクリックします。

2. **[新しいパスワード]** ボックスおよび **[パスワードの確認]** ボックスに新しいパスワードを入力します。

3. ウィンドウの下部の **[適用]** ボタンをクリックしてパスワードを保存します。

コントロール パネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定する

コントロール パネルの [**管理**] メニューを使用して、IPv4 アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイを手動で設定します。

1. コントロール パネルで ホーム⌂ ボタンを押します。
2. 次の各メニューを開きます。
   a. **管理**
   b. **ネットワーク設定**
   c. **Jetdirect メニュー**
   d. **TCP/IP**
   e. **IPV4 設定**
   f. **設定方法**
   g. **手動**
   h. **手動設定**
   i. **IP アドレス**、**サブネット マスク**、または **デフォルト ゲートウェイ**
3. テンキーを使用するか、上向き矢印 ▲ または下向き矢印 ▼ を使用して IP アドレス、サブネット マスク、またはデフォルト ゲートウェイの最初のバイトの数字を変更します。
4. [OK] ボタンを押して次の数値セットに移動します。前の数値セットに戻るには、左矢印ボタン ⮌ を押します。
5. 手順 3 と 4 を繰り返して IP アドレス、サブネット マスク、またはデフォルト ゲートウェイを入力し終わったら、OK ボタンを押して設定を保存します。

コントロール パネルから IPv6 TCP/IP パラメータを手動で設定する

コントロール パネルの [**管理**] メニューを使用して、IPv6 アドレスを手動で設定します。

1. コントロール パネルで ホーム ボタンを押します。
2. 手動設定を有効にするため、次の各メニューを開きます。
   a. **管理**
   b. **ネットワーク設定**
   c. **Jetdirect メニュー**
   d. **TCP/IP**
   e. **IPV6 設定**
   f. **アドレス**
   g. **手動設定**
   h. **有効**

   [**オン**] オプションを選択し、OK ボタンを押します。
3. アドレスを設定するため、次の各メニューを開きます。
   - **管理**
   - **ネットワーク設定**
   - **Jetdirect メニュー**
   - **TCP/IP**
   - **IPV6 設定**
   - **アドレス**

   テンキーを使用するか、上向き矢印 ▲ または下向き矢印 ▼ を使用してアドレスを入力します。OK ボタンを押します。

注記: 矢印ボタンを使用する場合、各桁の入力後に [OK] ボタンをタッチする必要があります。

リンク速度と二重通信設定

プリント サーバーのリンク速度と通信モードはネットワークに合わせる必要があります。特別な場合を除き、**自動**モードから変更しないでください。リンク速度と二重通信設定を誤って変更すると、プリンタとほかのネットワーク デバイス間の通信ができなくなります。変更する必要がある場合は、プリンタのコントロール パネルを使用します。

注記： 設定を変更すると、プリンタがいったんオフになってから再びオンになります。変更を加える場合は、プリンタがアイドル状態のときに操作してください。

1. コントロール パネルで ホーム ボタンを押します。

2. 次の各メニューを開きます。

   a. **管理**

   b. **ネットワーク設定**

   c. **Jetdirect メニュー**

   d. **リンク速度**

3. 次のいずれかのオプションを選択します。

設定	説明
自動	使用しているネットワークで可能な最高のリンク速度と通信モードに自動的に設定されます。
10T ハーフ	10Mbps、半二重
10T フル	10Mbps、全二重
100TX ハーフ	100Mbps、半二重
100TX フル	100Mbps、全二重
100TX 自動	自動ネゴシエーションの最高リンク速度を 100Mbps に制限します。
1000T フル	1000Mbps、全二重

4. OK ボタンを押します。プリンタの電源を入れ直します。

6 用紙および印刷メディア

用紙の使い方

本プリンタは、このユーザー ガイドに従い、多様な用紙およびその他の印刷メディアに対応しています。これらのガイドラインに適合しない用紙および印刷メディアを使用すると、印刷品質の低下、紙詰まりの増加、および製品の消耗が早まる原因になる場合があります。

最高の結果を得るには、レーザー プリンタ用および多目的用の HP ブランド純正用紙のみを使用してください。インクジェット プリンタ用の用紙または印刷メディアは使用しないでください。弊社では、品質を管理することができないため、他社の用紙を使用することはお勧めしません。

元のパッケージのまま用紙を保管して、用紙が湿気にさらされたり損傷したりしないようにしてください。用紙を使用する準備が整うまでは、パッケージを開かないでください。

用紙が本ユーザ ガイドの全ガイドラインに適合していたとしても、十分な印刷結果が得られない場合があります。これは、不適切な操作、耐用温度または湿度レベル外での使用など、HP が管理できない環境下で使用したことが原因であると考えられます。

⚠ 注意： HP の規格に適合しない用紙または印刷メディアを使用した場合、本製品に問題が発生し、修理が必要になる場合があります。このような条件下で発生した修理は、HP の保証またはサービス契約の適用外となります。

特殊用紙に関するガイドライン

本製品は特殊メディアの印刷にも対応します。満足の行く品質を得るために、次のガイドラインに従ってください。特殊用紙または印刷メディアを使用する場合、最高の品質を得るために、必ずプリンタ ドライバでタイプとサイズを設定してください。

⚠ 注意： HP LaserJet 製品は、フューザを使用して、正確なドットでドライ トナーの粒子を用紙に定着させます。HP レーザー用紙は、このような高温状態に耐えられるように製造されています。インクジェット用紙を使用すると、製品を破損する可能性があります。

メディア タイプ	推奨	禁止
封筒	• 封筒を平らな状態で保管してください。 • 開口部が端まである封筒を使用してください。 • レーザー プリンタでの使用が許可されている接着シールを使用してください。	• しわ、きざみ、接着部分、または損傷がある封筒は使用しないでください。 • 留め金、スナップ、窓、またはコーティング加工済みの内張りがある封筒は使用しないでください。 • 離型紙剥離タイプの接着剤などの合成素材は使用しないでください。
ラベル紙	• ラベル紙の間から台紙が見えないラベル シートのみを使用してください。 • 平らなラベルを使用してください。 • 全体が接着したラベル紙のみを使用してください。	• しわ、浮き、または損傷のあるラベル紙は使用しないでください。 • 一部がはがれているラベル紙は印刷しないでください。

メディア タイプ	推奨	禁止
OHP フィルム	• レーザー プリンタでの使用が許可されている OHP フィルムのみを使用してください。 • プリンタから取り出した OHP フィルムは、平らな場所に置いてください。	• レーザー プリンタでの使用が許可されていない透明紙印刷メディアは使用しないでください。
レターヘッドまたは印刷済みフォーム	• レーザー プリンタでの使用が認可されているレターヘッドまたはフォームのみ使用してください。	• エンボス加工されたレターヘッドやメタリックなレターヘッドは使用しないでください。
厚手の用紙	• レーザー プリンタでの使用が許可され、このプリンタの重量規格に適合する厚手の用紙のみを使用してください。	• このプリンタでの使用が許可されている HP 用紙を除き、このプリンタの推奨メディア規格より重い用紙は使用しないでください。
光沢紙またはコート紙	• レーザー プリンタでの使用が許可されている光沢紙またはコート紙のみを使用してください。 • コート紙はこのプリンタに適した温度と湿度の範囲内で使用してください。	• インクジェット プリンタで使用するように設計された光沢紙またはコート紙は使用しないでください。 • 湿度が高すぎるまたは低すぎる環境でコート紙を使用しないでください。
すべての用紙タイプ	• 元のパッケージのまま用紙を保管してください。 • ほこりが付かない場所で用紙を保管してください。	• 曲がった用紙は使用しないでください。 • 湿度が高い環境で保管していた用紙は使用しないでください。

Windows でプリンタ ドライバを変更して用紙タイプとサイズを合わせる

1. ソフトウェア プログラムの [**ファイル**] メニューで、[**印刷**] をクリックします。
2. プリンタを選択し、[**プロパティ**] または [**ユーザー設定**] をクリックします。
3. [**用紙/品質**] タブをクリックします。
4. [**用紙サイズ**] ドロップダウン リストからサイズを選択します。
5. [**用紙タイプ**] ドロップダウン リストから用紙タイプを選択します。
6. [**OK**] ボタンをクリックします。

使用可能な用紙サイズ

この製品は多くの用紙サイズをサポートし、さまざまなメディアに対応しています。

注記： 最適な結果を得るために、適切な用紙サイズとタイプをプリンタ ドライバで選択します。

表 6-1 サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ

サイズと寸法	トレイ 1	トレイ 2 およびオプションの 500 枚収納用紙トレイ	オプションの 1,500 枚収納用紙トレイ	オプションの封筒フィーダ	オプションの両面印刷ユニット	オプションのスタッカおよびステイプラ/スタッカ	オプションの 5 ビン メールボックス
レター 216 x 279mm	✓	✓	✓		✓	✓	✓
A4 210 x 297mm	✓	✓	✓		✓	✓	✓
リーガル 216 x 356mm	✓	✓	✓		✓	✓	✓
エグゼクティブ 184 x 267mm	✓	✓	✓		✓	✓ (スタッカのみ)	✓
A5 148 x 210mm	✓	✓	✓		✓	✓ (スタッカのみ)	✓
8.5 x 13 216 x 330mm	✓	✓	✓			✓ (スタッカのみ)	✓
B5 (JIS) 182 x 257mm	✓	✓	✓		✓	✓ (スタッカのみ)	✓
往復はがき (JIS) 148 x 200mm	✓						
16K 197 x 273mm	✓	✓			✓	✓ (スタッカのみ)	✓
カスタム サイズ 76 x 127mm ～ 216 x 356mm (3.0 x 5.0 インチ～ 8.5 x 14 インチ)	✓						

表 6-1 サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ（続き）

サイズと寸法	トレイ 1	トレイ 2 およびオプションの 500 枚収納用紙トレイ	オプションの 1,500 枚収納用紙トレイ	オプションの封筒フィーダ	オプションの両面印刷ユニット	オプションのスタッカおよびステイプラ/スタッカ	オプションの 5 ビン メールボックス
カスタム サイズ 148 x 210mm ～ 216 x 356mm (5.83 x 8.27 インチ～ 8.5 x 14 インチ)	✓	✓			✓	✓ (スタッカのみ)	✓
封筒 Commercial #10 105 x 241mm	✓			✓			
封筒 DL ISO 110 x 220mm	✓			✓			
封筒 C5 ISO 162 x 229mm	✓			✓			
封筒 B5 ISO 176 x 250mm	✓			✓			
封筒 Monarch #7-3/4 98 x 191mm	✓			✓			

[1] カスタム サイズの用紙はステイプル留めできませんが、排紙ビンに積み重ねることができます。

サポート対象の用紙タイプ

HP ブランドの特殊用紙については、www.hp.com/support/lj600Series を参照してください。

入力可能な用紙タイプ

用紙タイプ	トレイ 1	トレイ 2	オプションの 500 枚収納用紙トレイ	オプションの 1,500 枚収納用紙トレイ	オプションの封筒フィーダ
任意のタイプ	✓	✓	✓	✓	✓
普通紙	✓	✓	✓	✓	
軽い用紙 60-74g	✓	✓	✓	✓	
厚紙 176-220g	✓	✓	✓		
OHP フィルム	✓	✓	✓		
ラベル紙	✓	✓	✓		
レターヘッド	✓	✓	✓	✓	
印刷済み用紙	✓	✓	✓	✓	
穴あき用紙	✓	✓	✓	✓	
色紙	✓	✓	✓	✓	
粗め用紙	✓	✓	✓	✓	
ボンド紙	✓	✓	✓	✓	
リサイクル紙	✓	✓	✓	✓	
HP EcoSMART 軽量紙	✓	✓	✓	✓	
封筒	✓				✓

出力可能な用紙タイプ

用紙タイプ	標準の最上部ビン (下向き)	後部ビン (上向き)	オプションの両面印刷ユニット	オプションのスタッカまたはステイプラ/スタッカ	オプションの 5 ビン メールボックス
任意のタイプ	✓	✓	✓	✓	✓
普通紙	✓	✓	✓	✓	✓
軽い用紙 60-74g	✓	✓	✓	✓	✓
厚紙 176-220g	✓	✓			
OHP フィルム	✓	✓			
ラベル紙	✓	✓			
レターヘッド	✓	✓	✓	✓	✓
印刷済み用紙	✓	✓	✓	✓	✓
穴あき用紙	✓	✓	✓	✓	✓
色紙	✓	✓	✓	✓	✓
粗め用紙	✓	✓	✓	✓	✓
ボンド紙	✓	✓	✓	✓	✓
リサイクル紙	✓	✓	✓	✓	✓
HP EcoSMART 軽量紙	✓	✓	✓	✓	✓
封筒	✓	✓			

トレイとビンの容量

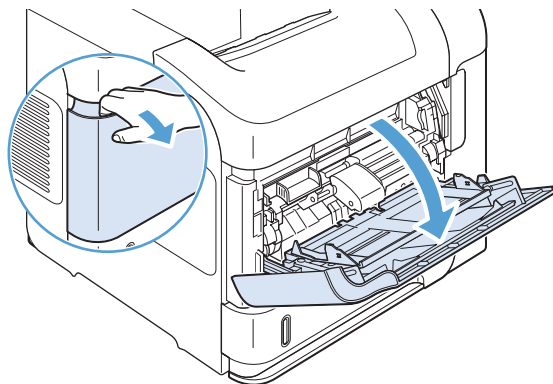
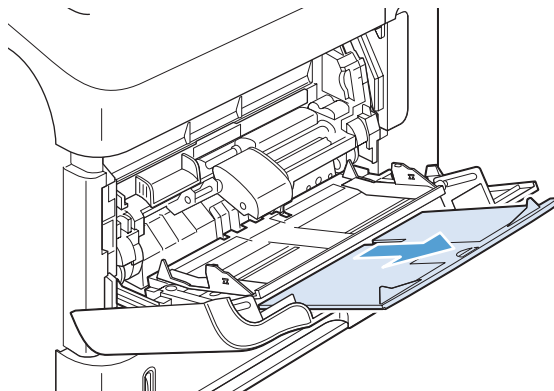
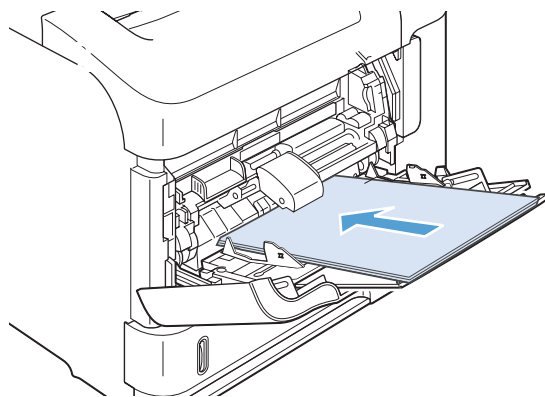
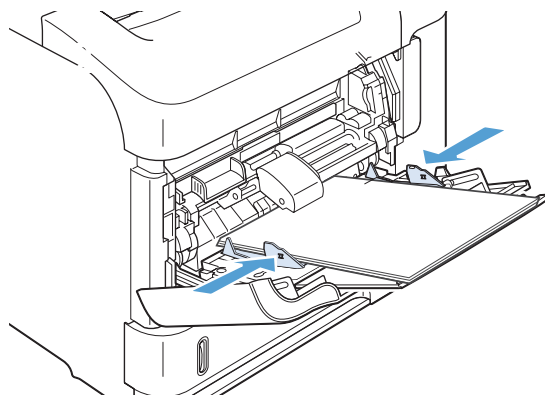
トレイまたはビン	用紙タイプ	仕様	枚数
トレイ 1	通常の用紙と厚紙	範囲： 60 g/m² ボンド～ 200 g/m² ボンド	最大積み重ね高さ：10mm 75 g/m² ボンド紙 100 枚に相当
	封筒	60 g/m² ボンド～ 90 g/m² ボンド未満	封筒 10 枚
	ラベル紙	厚さ 0.23mm 以下	最大積み重ね高さ：10mm
	OHP フィルム	厚さ 0.13mm 以下	最大積み重ね高さ：10mm
トレイ 2 およびオプションの 500 枚収納用紙トレイ	通常の用紙と厚紙	範囲: 60 g/m² ボンド～ 135 g/m² ボンド	75 g/m² ボンド紙 500 枚に相当
	ラベル紙	厚さ 0.13mm 以下	積み重ね可能な高さ：54mm
	OHP フィルム	厚さ 0.13mm 以下	積み重ね可能な高さ：54mm
オプションの 1,500 枚収納用紙トレイ	用紙	範囲： 60 g/m² ボンド～ 135 g/m² ボンド	75 g/m² ボンド紙 1,500 枚に相当
オプションの封筒フィーダ	封筒	60 g/m² ボンド～ 90 g/m² ボンド未満	封筒 75 枚
標準の最上部ビン	用紙		75 g/m² ボンド紙 500 枚
後部ビン	用紙		75 g/m² ボンド紙 100 枚
オプションの両面印刷ユニット	用紙	範囲： 60 g/m² ボンド～ 120 g/m² ボンド	
オプションのスタッカ	用紙		75 g/m² ボンド紙 500 枚
オプションのステイプラ/スタッカ	用紙		ステイプル留め：最大 15 ページの印刷ジョブを最大 20 部 積み重ね：75 g/m² ボンド紙 500 枚
オプションの 5 ビン メールボックス	用紙		75 g/m² ボンド紙 500 枚

用紙トレイのセット

トレイ 1 への用紙のセット

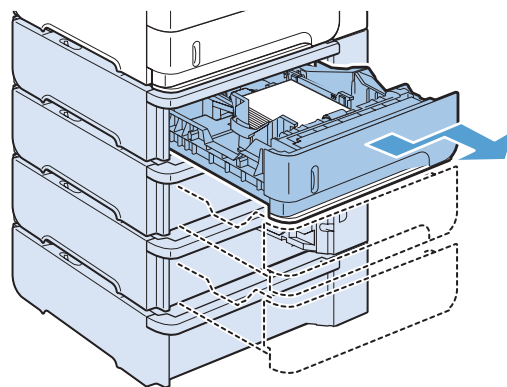
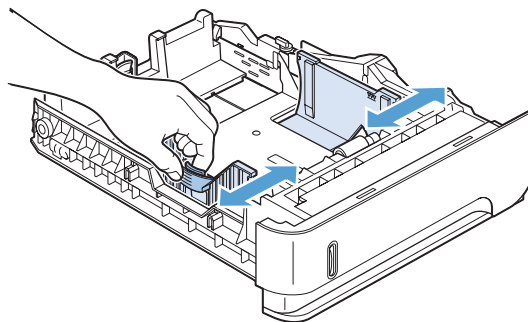
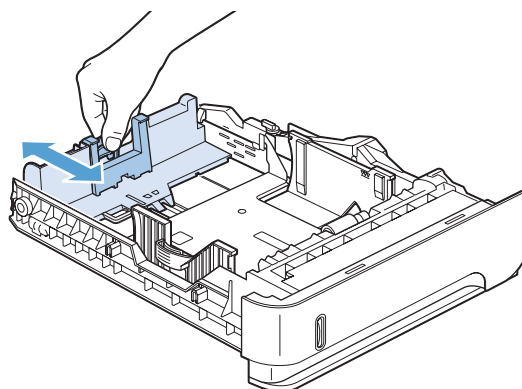
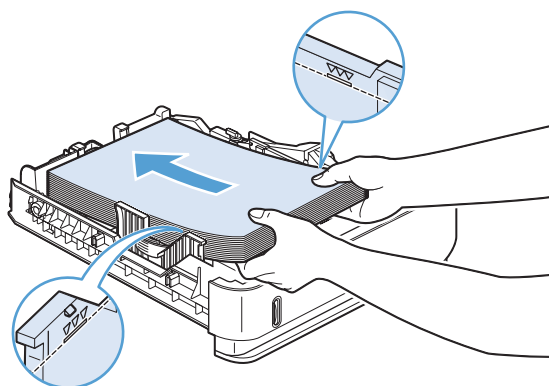
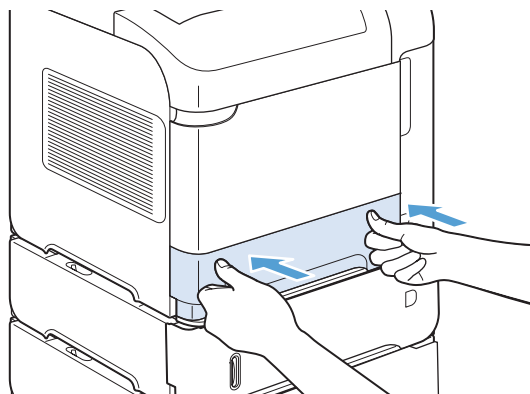
注記： トレイ 1 を使用する場合、印刷速度が遅くなる場合があります。

注意： 紙詰まりを避けるため、印刷中はトレイに給紙しないでください。セットする用紙の束は扇状に広げないようにしてください。用紙を広げると、給紙エラーを起こすことがあります。

1. トレイ 1 を開きます。

2. トレイ拡張部を引き出します。

3. トレイに用紙をセットします。用紙がタブの下に収まっており、最大許容枚数インジケータを超えていないことを確認します。

4. 両側のガイドを調整し、用紙に軽く触れるようにします。用紙が折れ曲がらないように注意してください。

トレイ 2 またはオプションの 500 枚収納用紙トレイに用紙をセットする

⚠ 注意： 紙詰まりを避けるため、印刷中はトレイに給紙しないでください。

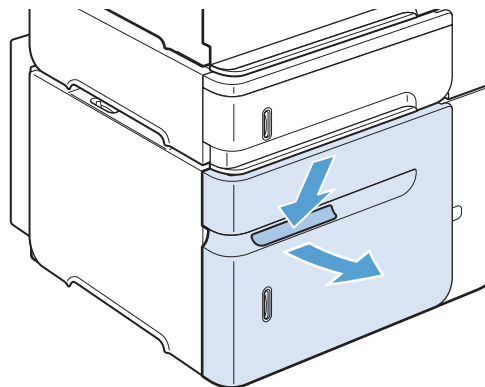
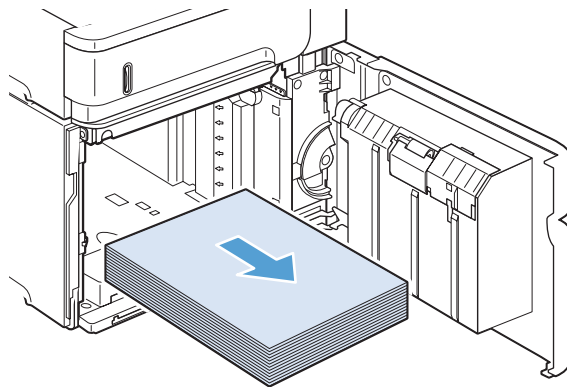
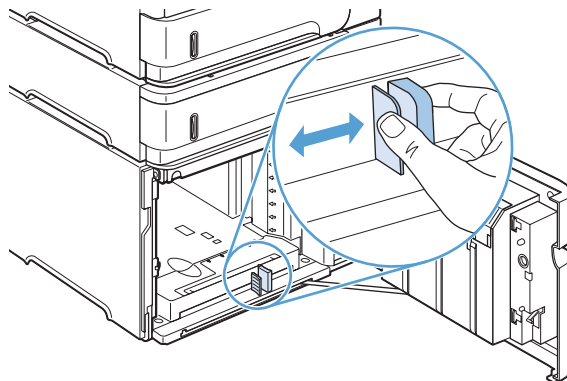
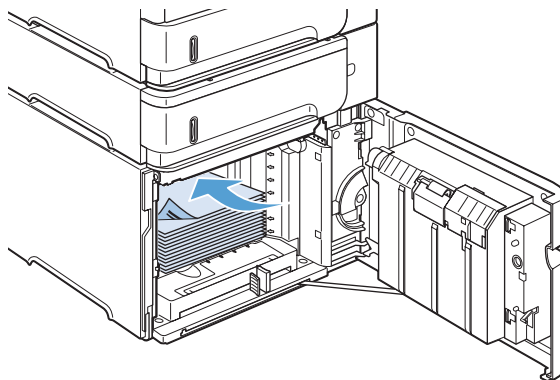
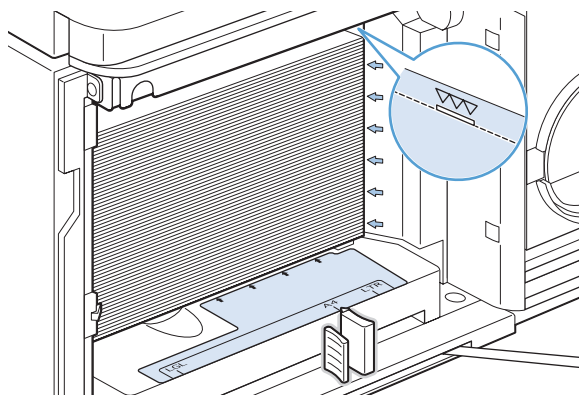
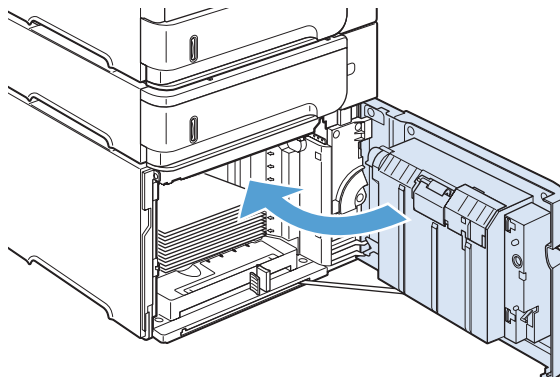
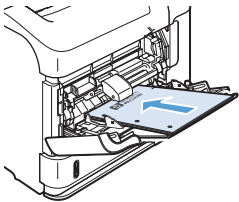
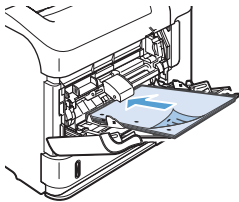
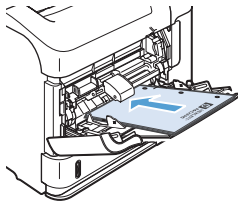
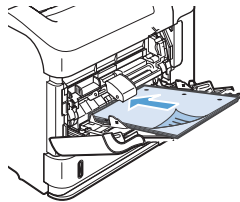
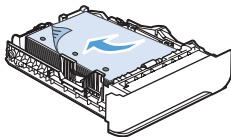
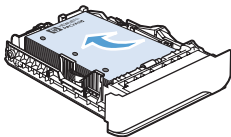
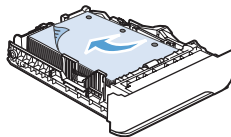
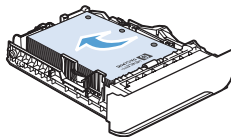
注意： セットする用紙の束は扇状に広げないようにしてください。用紙を広げると、給紙エラーを起こすことがあります。

1. トレイを引き出し、少し持ち上げてプリンタから取り出します。

2. 左側の用紙ガイドのリリース レバーをつまみ、両側の用紙ガイドの位置を調整し、用紙サイズに合わせます。

3. 後部の用紙ガイドのリリース レバーをつまみ、用紙ガイドの位置を調整し、用紙サイズに合わせます。

4. トレイに用紙をセットします。用紙の四隅が平らで、用紙の束の一番上が最大許容枚数インジケータより下に入っていることを確認します。

5. トレイを元に戻します。

オプションの 1,500 枚収納用紙トレイに用紙をセットする

オプションの 1,500 枚収納用紙トレイには、A4、レター、リーガル サイズの用紙をセットできます。使用する用紙に合わせてトレイの用紙ガイドを調整すると、用紙サイズが自動的に認識されます。

注意： 紙詰まりを避けるため、印刷中はトレイに給紙しないでください。

注意： セットする用紙の束は扇状に広げないようにしてください。用紙を広げると、給紙エラーを起こすことがあります。

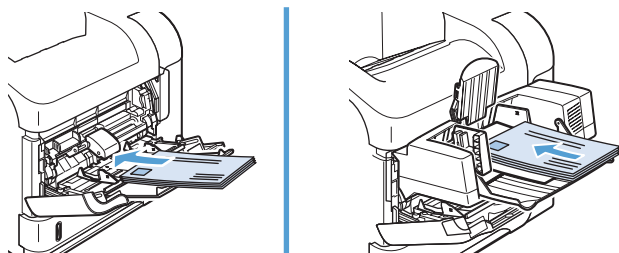
1. リリース ボタンを押して 1,500 枚収納用紙トレイのドアを開きます。

2. 用紙がセットされている場合は取り除きます。トレイ内に用紙があると、ガイドを調整できません。

3. 用紙トレイの正面にあるガイドをつまみ、正しい用紙サイズに合わせます。

4. トレイに用紙をセットします。リームをまとめてセットします。何回かに分けてセットしないでください。

5. 用紙の束の一番上がガイドの最大許容枚数インジケータより下に入っており、用紙の先端部が矢印と揃っていることを確認します。

6. トレイのドアを閉じます。

用紙の向き

レターヘッド、印刷済み、穴あき用紙のセット

両面印刷ユニットまたはステイプラ/スタッカを取り付けた場合、各ページへのイメージの配置方法が変わります。用紙を特定の向きにセットする必要がある場合は、次の表の説明に従って用紙をセットしてください。

トレイ	片面印刷、ステイプラ/スタッカなし	両面印刷、ステイプラ/スタッカなし	片面印刷、ステイプラ/スタッカあり	両面印刷、ステイプラ/スタッカあり
トレイ 1	上向き 用紙の上部をプリンタに向けてセット	下向き 用紙の下部をプリンタに向けてセット	上向き 用紙の下部をプリンタに向けてセット	下向き 用紙の上部をプリンタに向けてセット
その他のトレイ	下向き 用紙の上部をトレイ正面に向けてセット	上向き 用紙の下部をトレイ正面に向けてセット	下向き 用紙の下部をトレイ正面に向けてセット	上向き 用紙の上部をトレイ正面に向けてセット

封筒のセット

封筒の表を上に向けて、切手を貼る方の短辺をプリンタに向けてトレイ 1 またはオプションの封筒フィーダにセットします。

トレイの設定

以下の場合は、トレイの用紙タイプとサイズの設定を求めるメッセージが自動的に表示されます。

- トレイに用紙をセットしたとき
- プリンタ ドライバまたはソフトウェア プログラムを介して印刷ジョブに特定のトレイまたは用紙タイプを指定したが、トレイが印刷ジョブの設定に合わせて設定されていないとき

注記： [**任意のサイズ**] 用紙サイズおよび [**任意のタイプ**] 用紙タイプに設定したトレイ 1 から印刷する場合は、このメッセージは表示されません。この状況で、印刷ジョブでトレイが指定されていない場合、印刷ジョブの用紙サイズおよびタイプの設定がトレイ 1 にセットされている用紙と一致していなくても、トレイ 1 から印刷が実行されます。

用紙をセットするときにトレイを設定する

1. トレイに用紙をセットします。トレイ 1 以外のトレイにセットした場合は、そのトレイを閉じます。
2. トレイ設定メッセージが表示されます。
3. OK ボタンを押して検出されたサイズを確定します。または、戻る矢印 ⮌ を押して別の設定を選択してから、次の手順に進みます。
4. トレイの設定を変更するには、下向き矢印 ▼ を押してサイズを選択し、OK ボタンを押します。

   注記： トレイ 1 以外のトレイにセットされている用紙のサイズは、ほとんどの場合、自動的に検出されます。

5. 下向き矢印 ▼ を押してタイプを選択し、OK ボタンを押します。

印刷ジョブの設定に適合するようにトレイを設定する

1. ソフトウェア プログラムで、ソース トレイ、用紙サイズ、および用紙タイプを指定します。
2. プリンタにジョブを送信します。

   トレイを設定する必要がある場合は、コントロール パネル ディスプレイにメッセージが表示されます。

3. 表示されたサイズが正しくない場合は、戻る矢印 ⮌ を押します。下向き矢印 ▼ を押してサイズを選択するか、[**カスタム**] オプションを選択します。

   カスタムサイズを指定するには、まず下向き矢印 ▼ を押して単位を選択します。テンキーを使用するか、上向き矢印 ▲ または下向き矢印 ▼ を押して X と Y の各寸法を設定します。

4. 表示された用紙タイプが正しくない場合は、戻る矢印 ⮌ を押してから、下向き矢印 ▼ を押して用紙タイプを選択します。

コントロール パネルからトレイを設定する

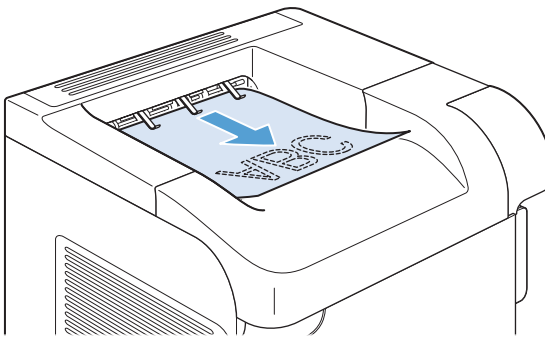
設定を求めるメッセージが表示されない場合でも、トレイの用紙タイプとサイズを設定することができます。

1. ホーム ボタンを押します。
2. **トレイ** メニューを開きます。
3. 下矢印ボタン ▼ を押してトレイのサイズまたはタイプを選択し、[OK] ボタンを押します。
4. 上矢印ボタン ▲ または下矢印ボタン ▼ を押してサイズまたはタイプを選択します。カスタム タイプを選択する場合は、単位を選択し、X と Y の各寸法を設定します。
5. [OK] ボタンを押して、設定を保存します。

排紙ビンを選択する

プリンタの排紙先には、上部排紙ビン (標準)、後部排紙ビン、スタッカまたはステイプラ/スタッカ (オプション)、5 ビン メールボックス (オプション) の 4 つがあります。

上部排紙ビン (標準) に排紙する

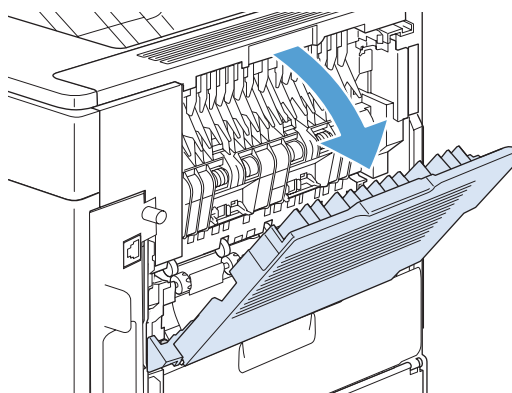
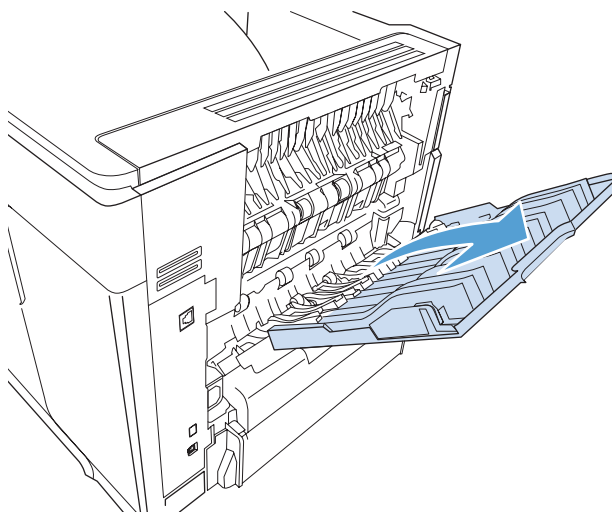
上部排紙ビンには、印刷された用紙が印刷面を下にして排紙されます。このため、最初のページが一番上になります。通常の印刷ジョブや OHP フィルムの印刷には、上部排紙ビンを使用してください。上部排紙ビンを使用するときは、後部排紙ビンが閉まっていることを確認してください。紙詰まりを避けるため、印刷中に後部排紙ビンを開閉しないでください。

後部排紙ビンに排紙する

後部排紙ビンが開いている場合は、必ず後部排紙ビンに排紙されます。後部排紙ビンには、印刷面が上向きに排紙されます。このため、最後のページが一番上になります (逆順)。

トレイ 1 から給紙して後部排紙ビンに排紙すると、経路が最も直線的になります。次の用紙を印刷する場合は、後部排紙ビンを開くとパフォーマンスが向上します。

- 封筒
- ラベル紙
- 小さいカスタムサイズの用紙
- はがき
- 120 g/m^2 (32lb) よりも厚い用紙

後部排紙ビンを開くと、オプションの両面印刷ユニットと上部排紙ビンが使用できなくなります。紙詰まりを避けるため、印刷中に後部排紙ビンを開閉しないでください。

1. 後部排紙ビンを開くには、ビン上部のハンドルを握り、ビンを下に引きます。

2. 延長部分を引き出します。

オプションのスタッカやステイプラ/スタッカに排紙する

オプションのスタッカやステイプラ/スタッカには、20 ポンド用紙を最高 500 枚までストックできます。スタッカは標準サイズとカスタム サイズの用紙に対応しています。ステイプラ/スタッカは標準サイズとカスタム サイズの用紙に対応していますが、ステイプルできるのは A4、レター、リーガル サイズの用紙のみです。これ以外の印刷メディア (ラベル紙や封筒など) ではステイプラを使用しないでください。

注記： ステイプラ/スタッカを取り付けている場合は、用紙サイズやステイプル設定にかかわらず、印刷イメージが自動的に 180°回転されます。レターヘッドや穴あき用紙など、印刷方向が決まっている用紙を使用する場合は、用紙を逆方向にセットする必要があります。

オプションのスタッカやステイプラ/スタッカを使って印刷する場合は、プログラム、プリンタ ドライバ、またはプリンタのコントロール パネルで該当するオプションを選択してください。

オプションのスタッカまたはオプションのステイプラ/スタッカを使用する前に、プリンタ ドライバがスタッカまたはステイプラ/スタッカを認識するように設定されていることを確認してください。これは 1 回限り必要な設定です。

Windows

1. **Windows XP、Windows Server 2003、および Windows Server 2008 (標準の [スタート] メニューの場合)**: [**スタート**]、[**プリンタと FAX**] の順にクリックします。

   Windows XP、Windows Server 2003、および Windows Server 2008 (クラシック [スタート] メニューの場合): [**スタート**]、[**設定**]、[**プリンタ**] の順にクリックします。

   Windows Vista: [**スタート**]、[**コントロール パネル**] の順にクリックし、[**ハードウェアとサウンド**] カテゴリで [**プリンタ**] をクリックします。

   Windows 7 の場合 : [**スタート**]、[**デバイスとプリンター**] の順にクリックします。

2. ドライバ アイコンを右クリックし、[**プロパティ**] または [**プリンタのプロパティ**] を選択します。
3. [**デバイスの設定**] タブをクリックします。
4. [**インストール可能なオプション**] で、[**自動構成**] を [**今すぐ更新**] に設定します。

Mac

1. アップルメニュー から、[**システム環境設定**] メニューをクリックし、[**プリントとファクス**] アイコンをクリックします。
2. ウィンドウの左側でプリンタを選択します。
3. [**オプションとサプライ品**] ボタンをクリックします。
4. [**ドライバ**] タブをクリックします。
5. インストールされているオプションを設定します。

5 ビン メールボックスに排紙する

オプションの 5 ビン メールボックスには、5 つの排紙ビンがあり、コントロール パネルで仕分け方法を指定できます。

1. ホーム ボタンを押します。
2. 以下のメニューを開きます。
   - **管理**
   - **マルチビン メールボックス設定**
   - **動作モード**
3. 下向き矢印 ▼ を押して 5 ビン メールボックスで仕分けする方法を選択します。

メールボックス	各ビンは、ユーザーまたはユーザー グループに割り当てられます。これはデフォルト設定です。
スタッカ	すべてのビンに排出されます。下段のビンから上段のビンに順番に排紙され、すべてのビンがいっぱいになると、印刷が停止します。

ジョブ仕分け	ジョブごとに異なるビンに排紙されます。最上段から順に、空のビンに排紙されます。
丁合い	部単位にまとめられ、異なるビンに排紙されます。

4. [OK] ボタンを押して、オプションを選択します。

7 プリント カートリッジ

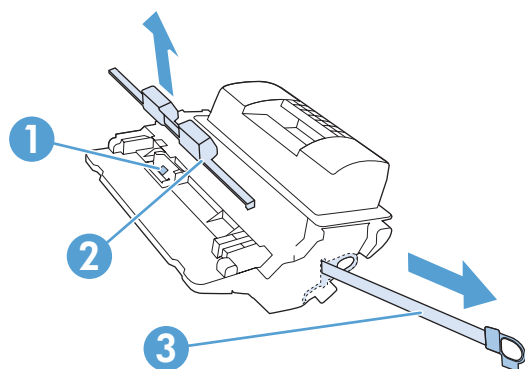
本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。最新のユーザー ガイド情報については、www.hp.com/support/lj600Series_manuals をご覧ください。

プリント カートリッジ情報

機能	説明
製品番号	● 標準容量プリント カートリッジ : CE390A ● 大容量プリント カートリッジ : CE390X
ユーザー補助	● プリント カートリッジは、片手で着脱可能。
環境への配慮	● プリント カートリッジは、HP Planet Partners 返却/リサイクル プログラムを利用してリサイクルしてください。

サプライ品の詳細については、www.hp.com/go/learnaboutsupplies を参照してください。

サプライ品の確認

プリント カートリッジ

1	プリント カートリッジのメモリ チップ
2	プラスチック製保護カバー
3	密封テープ

プリント カートリッジの管理

プリント カートリッジの正しい使用、保管、および監視によって、高品質な印刷出力を保証することができます。

プリント カートリッジの設定の変更

プリント カートリッジが推定寿命に達したときの印刷

- **「黒カートリッジ残量わずか」**というメッセージ：カートリッジの残量が少なくなったとき、プリンタに表示されます。実際のプリント カートリッジの寿命は異なる場合があります。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。すぐにサプライ品を交換する必要はありません。
- **「黒カートリッジ残量非常にわずか」**というメッセージ：サプライ品の残量が非常に少なくなったとき、プリンタに表示されます。実際のサプライ品の寿命は異なることがあります。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。適切な印刷品質が得られている場合、すぐにサプライ品を交換する必要はありません。推定寿命に達したサプライ品を使用すると、印刷品質の問題が発生する場合があります。

  HP のプリント カートリッジの残量が「ごくわずか」になったとき、このプリント カートリッジに対する HP のプレミアム プロテクション保証は終了します。HP のプレミアム プロテクション保証は このプリンタのプリント カートリッジにのみ適用されます。

コントロール パネルで 残量ごくわずか設定 オプションを有効または無効にする

デフォルトの設定はいつでも有効または無効にすることができますが、新しいカートリッジを取り付けるときに設定を再度有効にする必要はありません。

1. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。
2. 以下のメニューを開きます。
   - **管理**
   - **サプライ品を管理**
   - **サプライ品設定**

- **黒カートリッジ**
- **残量ごくわずか設定**

3. 以下のオプションから 1 つ選択してください。
   - カートリッジの残量がごくわずかという警報が表示されても、印刷を続けるようプリンタを設定するには、**継続** オプションを選択します。

     注記： **継続** 設定を使用すると、「残量ごくわずか」でもユーザーとのやり取りなしに印刷できるので、不満の残る印刷品質となる可能性があります。

   - カートリッジを交換するまでの間印刷を停止するようプリンタを設定するには、[**停止**] オプションを選択します。
   - 印刷を停止してカートリッジの交換を求めるメッセージを表示するようプリンタを設定するには、**続行を要求** オプションを選択します。表示されるメッセージに確認応答すると、印刷を続行できます。

停止 または **続行を要求** オプションを選択すると、プリンタは、「残量ごくわずか」のしきい値に達したときに印刷を停止します。カートリッジを交換すると、プリンタは自動的に印刷を再開します。

EconoMode での印刷

本製品では、ドラフト段階の文書を印刷する場合に、エコノモードをご利用いただけます。エコノモードを使用すると、トナーの使用量が減り、1 ページあたりのコストを削減できますが、印刷品質が低下する場合があります。

HP では、EconoMode を常時使用することをお勧めしていません。エコノモードを常に使用すると、プリンタ カートリッジ内の機械部品の寿命よりもトナーの寿命の方が長くなる可能性があります。印刷品質が低下し始めたり、十分な品質が保てなくなった場合は、プリント カートリッジの交換を検討してください。

注記： この機能は、Windows の PCL 6 プリンタ ドライバで利用できます。このドライバを使用していない場合は、HP 内蔵 Web サーバを使用して、この機能を有効にすることができます。

1. ソフトウェアで［**ファイル**］メニューの［**印刷**］をクリックします。
2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。
3. ［**用紙/品質**］タブをクリックします。
4. ［**EconoMode**］チェック ボックスをオンにします。

サプライ品の保管とリサイクル

サプライ品のリサイクル

HP 純正のプリント カートリッジをリサイクルするには、新しいカートリッジが入っていた箱に使用済みのカートリッジを入れます。リサイクルするために、同封の返却ラベルを使用して使用済みのサプライ品を HP に返送します。詳細については、新しい HP サプライ品に付属しているリサイクル ガイドを参照してください。

プリント カートリッジの保管

使用するまでは、プリント カートリッジをパッケージから出さないでください。

⚠ **注意：** 損傷を防ぐために、プリント カートリッジを長時間 (2、3 分以上) 光に当てないでください。

HP 製以外の印刷カートリッジに関する規定

新品または再生品のどちらについても、HP 製以外のプリント カートリッジの使用はお勧めできません。

注記： HP 製以外のプリント カートリッジが原因で故障が発生した場合、HP の保証やサービス契約は適用されません。

HP の偽造防止 Web サイト

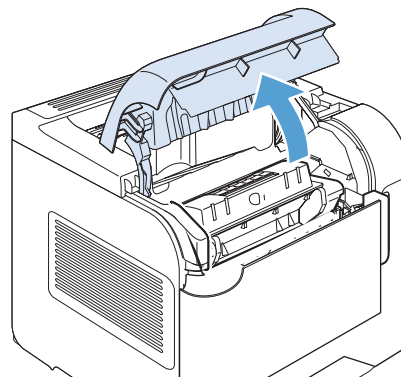
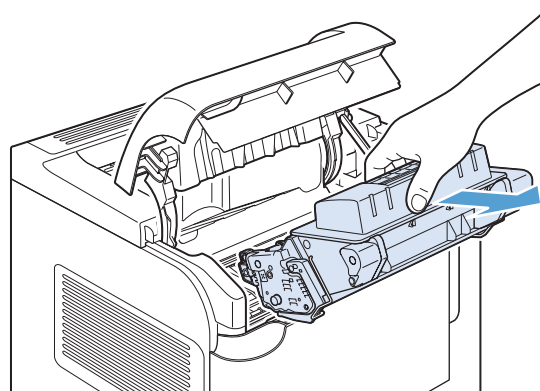
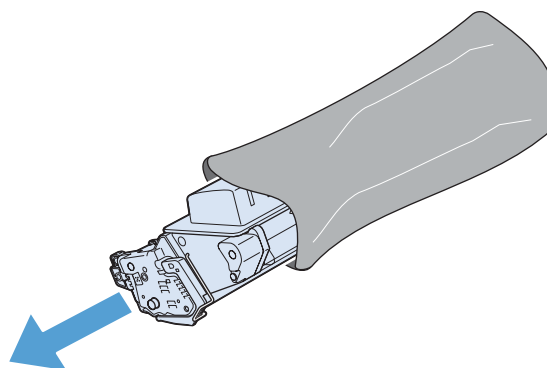
HP プリント カートリッジを取り付けて、カートリッジが HP 製ではないことを通知するメッセージがコントロール パネルに表示された場合は、www.hp.com/go/anticounterfeit にアクセスしてください。HP 社はそのカートリッジが純正品かどうかを調べ、問題を解決するための措置をとるお手伝いをします。

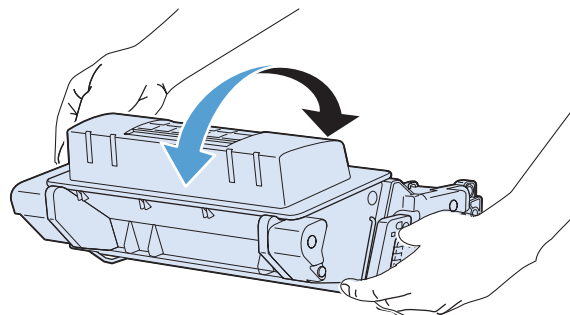
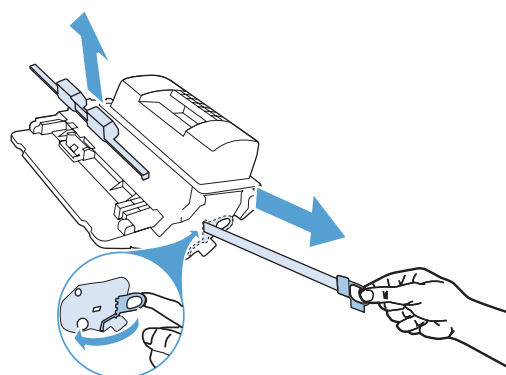
以下の点にお気付きの場合は、お使いのプリント カートリッジが HP 純正プリント カートリッジではない可能性があります。

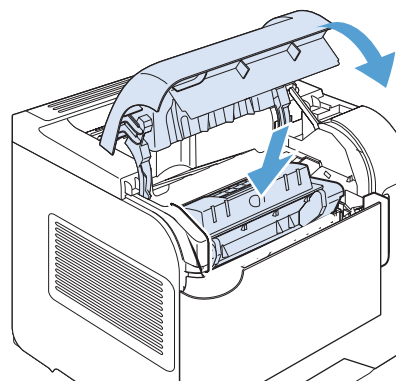
- サプライ品ステータス ページに、HP 製ではないサプライ品が取り付けられていることが示されている。
- プリント カートリッジに問題が多発している。
- カートリッジが通常のものと違って見える (たとえば、パッケージが HP 製のものと異なるなど)。

交換手順

プリント カートリッジの交換

1. 上部カバーを開きます。

2. プリンタから使用済みプリント カートリッジを取り出します。

3. 袋から新しいプリント カートリッジを取り出します。再利用のために、使用済みプリント カートリッジを袋に入れます。

4. プリント カートリッジの両側を持って、トナーがプリント カートリッジ全体に行きわたるよう水平方向に軽く振ります。

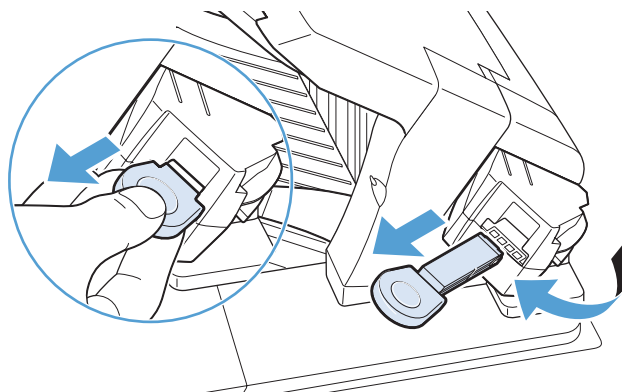
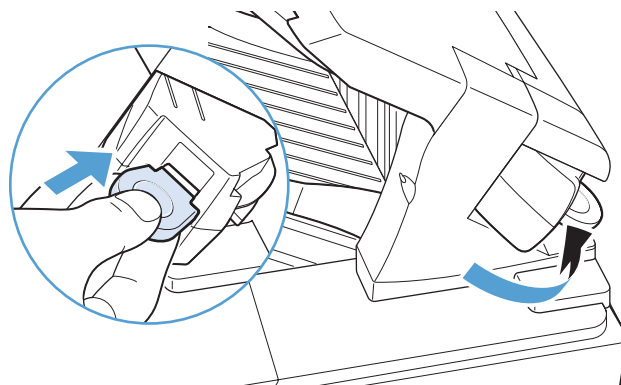
   注意： シャッターまたはローラー表面に手を触れないでください。

5. 新しいプリント カートリッジから保護キャップと保護テープを剥がします。各国/地域の条例に従って、キャップとテープを破棄します。

6. プリント カートリッジをプリンタ内部のトラックに沿わせ、しっかり固定するまで挿入してから上部カバーを閉じます。

   しばらくすると、コントロール パネルに「**印字可**」というメッセージが表示されます。

7. 設置が完了しました。新しいカートリッジが梱包されていた箱に使用済みカートリッジを入れます。リサイクル手順については、同梱されているリサイクル手順書を参照してください。

8. HP 製以外のプリント カートリッジを使用している場合の詳細手順については、プリンタのコントロール パネルを確認してください。

ステイプルの交換

プリンタのコントロール パネルに補充を促すメッセージが表示されたら、ステイプルを交換します。ステイプルがなくなっても、印刷ジョブは通常どおり印刷されてステイプラ/スタッカに排紙されますが、ステイプルは行われません。

1. ステイプラ/スタッカの右側で、ステイプラユニットをプリンタ正面に向けて回します。解除位置になるとカチッという音がします。ステイプル カートリッジの青いハンドルをつかみ、ステイプラ ユニットからステイプル カートリッジを引き出します。

2. 新しいステイプル カートリッジをステイプラ ユニットに差し込み、ステイプラ ユニットをプリンタ後部に向けて回します。完全に固定されるとカチッという音がします。

定期メンテナンスの実施

最高のパフォーマンスを得るには、「**保守キットを交換してください**」というメッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示されたときに該当するパーツを交換してください。

キットには、以下が含まれています

- フューザ
- 転送ローラー
- 以前の転送ローラーを取り外すためのプラスチック製の工具
- フィード ローラー 8 つとピックアップ ローラー 4 つ
- インストール手順

注記： 保守キットは消耗品であり、標準製品保証または保証期間延長の対象ではありません。保守キットの取り付けは、お客様の責任で行います。

保守キットを取り付ける際は、保守キットのカウンタをリセットする必要があります。

保守キット カウンタのリセット

注記： この手順は、保守キットをインストールした後にのみ実行してください。「**保守キットを交換してください**」というメッセージを一時的に消去するために、この操作を実行しないでください。

1. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。
2. 以下のメニューを開きます。
   - **管理**
   - **サプライ品を管理**
   - **サプライ品のリセット**
   - **新しい保守キット**
3. [**はい**] オプションを選択し、保守キット カウンタをリセットします。

プリント カートリッジに関する問題の解決

プリント カートリッジの確認

次のいずれかの問題が発生している場合は、プリント カートリッジを確認し、必要に応じて交換します。

- 部分的に印刷が薄いか色あせて見える。
- 印刷したページに、小さい印刷されていない領域がある。
- 印刷したページに縦線または縦縞がある。

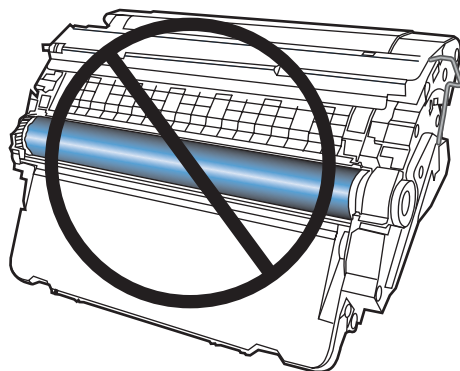
注記： ドラフトまたは EconoMode の印刷設定を使用している場合、印刷が薄くなることがあります。

プリント カートリッジを交換する必要があると判断した場合は、サプライ品ステータス ページを印刷して、適切な HP 純正のプリント カートリッジの製品番号を確認します。

プリント カートリッジの種類	問題の解決手順
インクを詰め替えたり再生されたプリント カートリッジ	Hewlett-Packard 社は、新品または再生品のどちらについても、HP 製以外のサプライ品の使用は推奨していません。HP 製品ではないため、HP がその設計を変更したり、その品質を管理することはできません。補充または再生プリント カートリッジを使用していて印刷品質に不満を感じている場合は、そのカートリッジを HP 純正カートリッジに交換してください。
HP 純正のプリント カートリッジ	1. カートリッジが指定の寿命に達すると、プリンタのコントロール パネルまたはサプライ品ステータス ページに「**ごくわずか**」ステータスが表示されます。適切な印刷品質が得られなくなったら、プリント カートリッジを交換します。 2. プリント カートリッジに損傷がないか目で確認します。次の手順を参照してください。必要に応じてプリント カートリッジを交換します。 3. ページ上にマークが等間隔で数回繰り返されている場合は、クリーニング ページを印刷します。それでも問題が解決しない場合は、このドキュメントの連続した不正な印刷に関する情報を参照して、問題の原因を識別します。

プリント カートリッジが損傷していないかどうかを検査する

1. プリンタからプリント カートリッジを取り外し、封入テープが完全にはがされているかどうかを確認します。
2. メモリ チップが損傷していないかどうかを確認します。
3. プリント カートリッジの下部にある緑のイメージ ドラムの表面を調べます。

注意： プリント カートリッジの下部にある緑のローラー (イメージ ドラム) に触らないでください。イメージング ドラムに指紋が付着すると印刷品質に問題が生じることがあります。

4. イメージ ドラムに傷や指紋などの損傷が見つかった場合は、プリント カートリッジを交換します。
5. イメージ ドラムが損傷しているように見えない場合は、プリント カートリッジを静かに数回振り、再度取り付けます。数ページ プリントし、問題が解決したかどうかを確認します。

不正な印刷が繰り返される

ページ上で欠陥が以下のいずれかとほぼ同じ間隔で繰り返される場合は、プリント カートリッジが損傷している可能性があります。

- 37mm
- 63mm
- 94mm

サプライ品ステータス ページの印刷

[**サプライ品のステータス**] ページには、プリント カートリッジの推定寿命が示されます。また、プリンタに適した HP 純正のプリント カートリッジの製品番号が一覧表示されるので交換用プリント カートリッジを注文でき、その他の役に立つ情報も示されます。

1. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。
2. 以下のメニューを開きます。
   - **管理**
   - **レポート**
   - **設定/ステータス ページ**
3. [**サプライ品ステータス ページ**] オプションを選択し、OK ボタンを押してレポートを印刷します。

サプライ品に関するコントロール パネルのメッセージの説明

表 7-1 サプライ品のステータス メッセージ

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
<サプライ品> に互換性がありません	指定されたサプライ品が、このプリンタと互換性がありません。	このプリンタ用に設計されたサプライ品と交換してください。
<サプライ品> を交換してください	サプライ品の残量が推定寿命に達すると、プリンタに表示されます。実際の寿命は、推定とは異なる場合があります。適切な印刷品質が得られなくなったときに取り付けられるように、交換用のサプライ品を用意してください。適切な印刷品質が得られている場合、すぐにサプライ品を交換する必要はありません。HP サプライ品が推定寿命に達すると、このサプライ品に対する HP のプレミアム プロテクション保証は終了します。	指定されたサプライ品を交換します。 または、[**サプライ品を管理**] メニューを使用して、印刷を続行するようにプリンタを設定します。
10.0X.Y0 サプライ品のメモリ エラー	プリント カートリッジに、読み書きできないメモリ チップがあるか、メモリ チップがありません。	プリント カートリッジを付け直すか、新しいプリント カートリッジを取り付けます。
サプライ品に互換性がありません	このプリンタ用に設計されていないサプライ品が取り付けられています。これらのサプライ品が取り付けられた状態では印刷できません。	互換性のないサプライ品を識別するには、下向き矢印 ▼ ボタンを押します。このプリンタ用に設計されたサプライ品を取り付けてください。
サプライ品を交換してください	2 つ以上のサプライ品の推定寿命が切れています。実際の寿命は、推定とは異なる場合があります。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。適切な印刷品質が得られている場合、すぐにサプライ品を交換する必要はありません。HP サプライ品が推定寿命に達すると、このサプライ品に対する HP のプレミアム プロテクション保証は終了します。	交換する必要のあるサプライ品を表示するには、下向き矢印 ▼ ボタンを押します。 または、[**サプライ品を管理**] メニューを使用して、印刷を続行するようにプリンタを設定します。
サプライ品残量ごくわずか	このメッセージは、2 つ以上のサプライ品が下限値に達すると表示されます。残量が少なくなったサプライ品を確認するには、下向き矢印 ▼ ボタンを押します。実際のサプライ品の残り寿命とは異なる場合があります。適切な印刷品質が得られている場合、この時点でサプライ品を交換する必要はありません。HP のサプライ品の残量がごくわずかになったとき、このサプライ品に対する HP プレミアム プロテクション保証は終了します。	印刷を続行するには、サプライ品を交換するか、コントロール パネルの [**サプライ品を管理**] メニューを使用して、プリンタを再設定します。

表 7-1 サプライ品のステータス メッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
サプライ品残量少	このメッセージは、2 つ以上のサプライ品が下限値に近づくと表示されます。実際のサプライ品の残り寿命とは異なる場合があります。残量が少なくなったサプライ品を確認するには、下向き矢印 ▼ ボタンを押します。適切な印刷品質が得られている場合、この時点でサプライ品を交換する必要はありません。HP のサプライ品の残量がごくわずかになったとき、このサプライ品に対する HP プレミアム プロテクション保証は終了します。	印刷を続行するには、サプライ品を交換するか、コントロール パネルの [**サプライ品を管理**] メニューを使用して、プリンタを再設定します。
サポート対象外のサプライ品が取り付けられています	プリント カートリッジが、他の HP プリンタ用です。	適切な印刷品質が得られなくなった場合は、プリント カートリッジを交換してください。
メンテナンス キット残量ごくわずか	メンテナンス キットの残量が非常に少なくなっています。実際のサプライ品の残り寿命とは異なる場合があります。適切な印刷品質が得られている場合、この時点でメンテナンス キットを交換する必要はありません。HP のサプライ品の残量がごくわずかになったとき、このサプライ品に対する HP プレミアム プロテクション保証は終了します。	適切な印刷品質が得られなくなった場合は、メンテナンス キットを交換してください。交換手順はメンテナンス キットに同梱されています。
メンテナンス キット残量低下	メンテナンス キットの残量が少なくなっています。実際のサプライ品の残り寿命とは異なる場合があります。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用メンテナンス キットをご用意ください。適切な印刷品質が得られている場合、この時点でメンテナンス キットを交換する必要はありません。	適切な印刷品質が得られなくなった場合は、メンテナンス キットを交換してください。交換手順はメンテナンス キットに同梱されています。
黒カートリッジ残量わずか	カートリッジの残量が少なくなったとき、プリンタに表示されます。実際のプリント カートリッジの寿命は異なる場合があります。適切な印刷品質が得られている場合、この時点でプリント カートリッジを交換する必要はありません。	適切な印刷品質が得られなくなった場合は、プリント カートリッジを交換してください。取り付けられているカートリッジが推定寿命に到達したときに備えて、予備カートリッジをご用意ください。
黒カートリッジ残量非常にわずか	サプライ品の残量が非常に少なくなったとき、プリンタに表示されます。実際のプリント カートリッジの寿命は異なる場合があります。適切な印刷品質が得られている場合、この時点でプリント カートリッジを交換する必要はありません。HP のサプライ品の残量がごくわずかになったとき、このサプライ品に対する HP プレミアム プロテクション保証は終了します。	適切な印刷品質が得られなくなった場合は、プリント カートリッジを交換してください。
使用済みのサプライ品が使用されています	プリント カートリッジは以前に使用されています。	HP 純正のサプライ品を購入した場合は、www.hp.com/go/anticounterfeit にアクセスしてください。

8 印刷タスク

Windows での印刷ジョブのキャンセル

注記： 印刷ジョブの印刷処理がかなり進んでいる場合は、ジョブをキャンセルできないことがあります。

1. 印刷ジョブが現在進行中の場合は、次の手順に従ってジョブをキャンセルします。

   a. プリンタのコントロール パネルで 停止⊗ ボタンを押します。

   b. キャンセルの確認メッセージが表示されます。OK ボタンを押します。

2. ソフトウェア プログラムまたは印刷キューから印刷ジョブをキャンセルすることもできます。

   - **ソフトウェア プログラム**： 通常は、しばらくの間コンピュータの画面に表示されるダイアログ ボックスで印刷ジョブをキャンセルできます。

   - **Windows プリント キュー**： 印刷ジョブがプリント キュー (コンピュータのメモリ) またはプリント スプーラで待機中の場合、そこでジョブを削除します。

     ◦ **Windows XP**、**Windows Server 2003**、または **Windows Server 2008:** [**スタート**]、[**設定**]、[**プリンタと FAX**] の順にクリックします。プリンタのアイコンをダブルクリックしてウィンドウを開き、キャンセルする印刷ジョブを右クリックして、[**キャンセル**] をクリックします。

     ◦ **Windows Vista:** [**スタート**]、[**コントロール パネル**] の順にクリックし、[**ハードウェアとサウンド**] の [**プリンタ**] をクリックします。プリンタのアイコンをダブルクリックしてウィンドウを開き、キャンセルする印刷ジョブを右クリックして、[**キャンセル**] をクリックします。

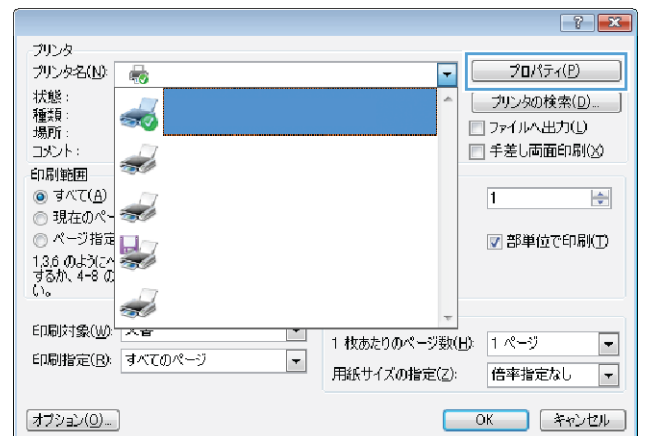
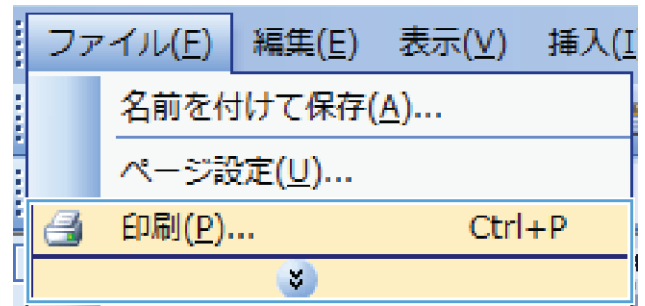
     ◦ **Windows 7:** [**スタート**]、[**デバイスとプリンター**] の順にクリックします。プリンタのアイコンをダブルクリックしてウィンドウを開き、キャンセルする印刷ジョブを右クリックして、[**キャンセル**] をクリックします。

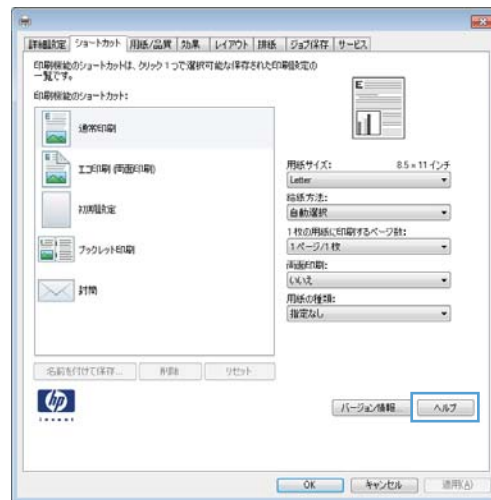
Windows での基本的な印刷タスク

ソフトウェアからプリント ダイアログ ボックスを開く方法は、ソフトウェアごとに異なります。次に示す手順は一般的な方法です。ソフトウェアによっては、[ファイル] メニューがない場合があります。ご使用のソフトウェアのマニュアルを参照し、プリント ダイアログ ボックスを開く方法を確認してください。

プリンタ ドライバを開く (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの [**ファイル**] メニューで、[**印刷**] をクリックします。

2. プリンタを選択し、[**プロパティ**] または [**ユーザー設定**] をクリックします。

印刷オプションのヘルプを見る (Windows の場合)

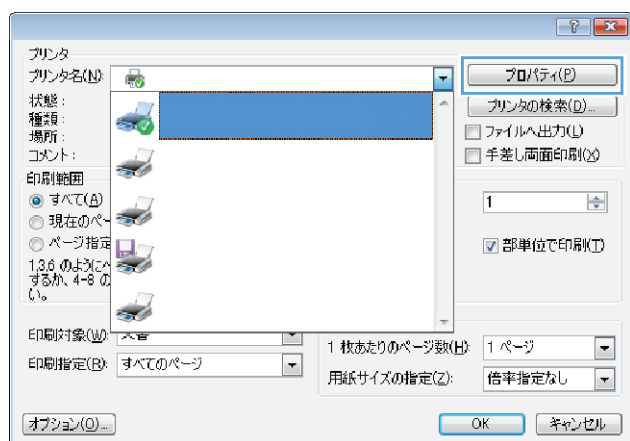
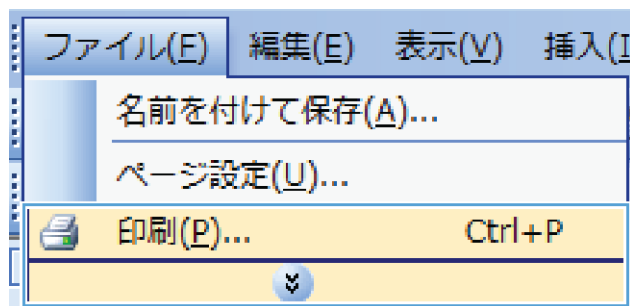
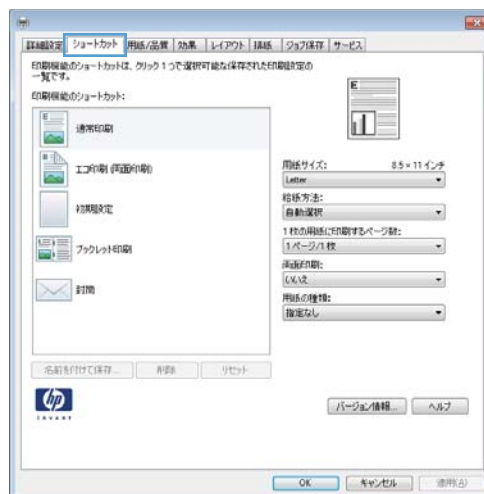
1. ［ヘルプ］ボタンをクリックしてオンライン ヘルプを開きます。

印刷部数の変更 (Windows の場合)

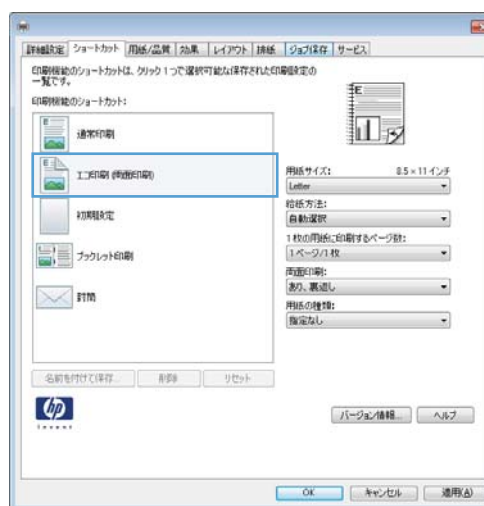
1. ソフトウェア プログラムの［ファイル］メニューで、［印刷］をクリックします。
2. プリンタを選択し、部数を選択します。

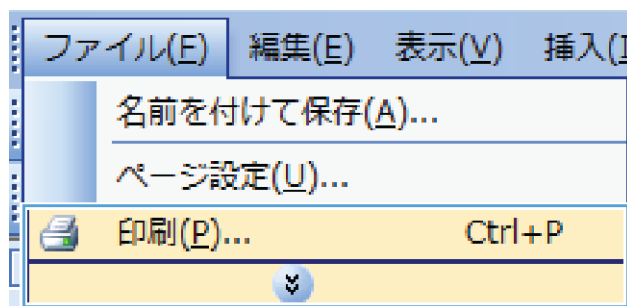
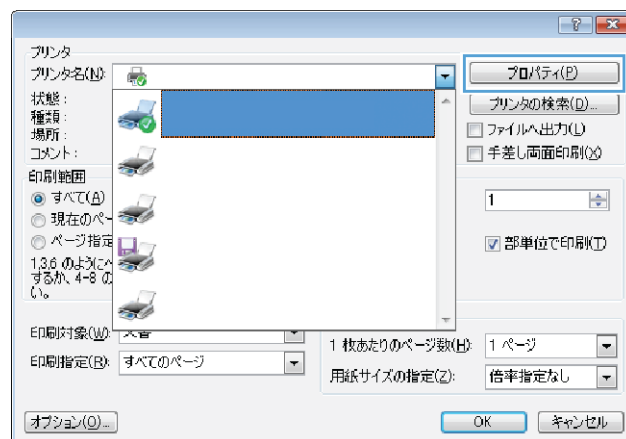
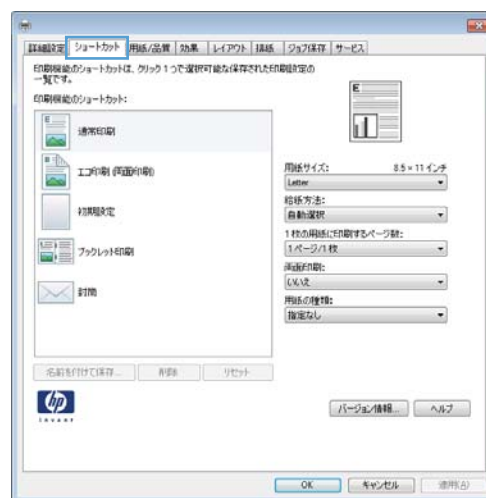
再利用が可能なユーザー定義の印刷設定を保存する (Windows の場合)

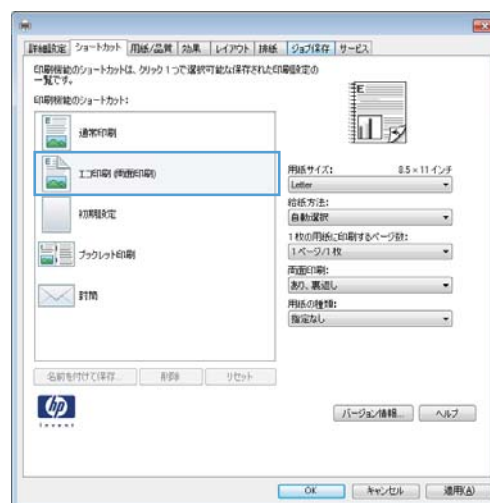
印刷機能のショートカットの使用 (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの [**ファイル**] メニューで、[**印刷**] をクリックします。

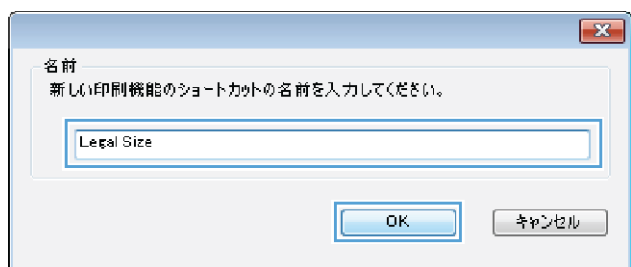
2. プリンタを選択し、[**プロパティ**] または [**ユーザー設定**] をクリックします。

3. ［印刷機能のショートカット］タブをクリックします。

4. いずれかのショートカットを選択して、[**OK**] ボタンをクリックします。

   注記：　ショートカットを選択すると、プリンタ ドライバの他のタブで、対応する設定が変更されます。

印刷機能のショートカットの作成

1. ソフトウェア プログラムの［ファイル］メニューで、［印刷］をクリックします。

2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。

3. [印刷機能のショートカット] タブをクリックします。

4. 既存のショートカットを基準として選択します。

注記： ショートカットは、必ず画面の右側の設定を調整する前に選択してください。設定を調整してからショートカットを選択すると、調整内容はすべて失われます。

5. 新しいショートカットの印刷オプションを選択します。

6. ［名前を付けて保存］ボタンをクリックします。

7. ショートカットの名前を入力して、［**OK**］ボタンをクリックします。

印刷品質の向上 (Windows の場合)

ページ サイズの選択 (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。
2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。
3. ［**用紙/品質**］タブをクリックします。
4. ［**用紙サイズ**］ドロップダウン リストからサイズを選択します。

カスタム ページ サイズの選択 (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。
2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。
3. ［**用紙/品質**］タブをクリックします。
4. ［**カスタム**］ボタンをクリックします。
5. ユーザー定義サイズの名前を入力し、寸法を指定し、［**OK**］をクリックします。

用紙タイプの選択 (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。
2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。
3. ［**用紙/品質**］タブをクリックします。
4. ［**用紙タイプ**］ドロップ ダウン リストで、［**詳細...**］オプションをクリックします。
5. ［**用紙の種類：**］オプションのリストを展開します。
6. 使用している用紙の説明として最も適切な用紙タイプのカテゴリを展開して、使用している用紙をクリックします。

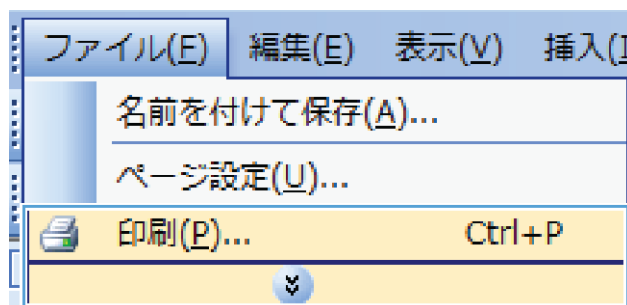
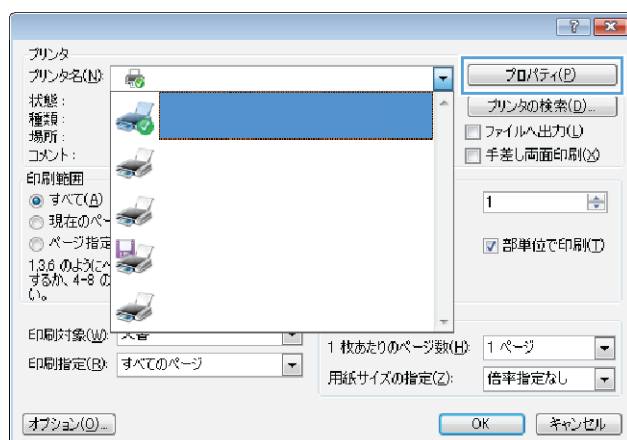
用紙トレイの選択 (Windows の場合)

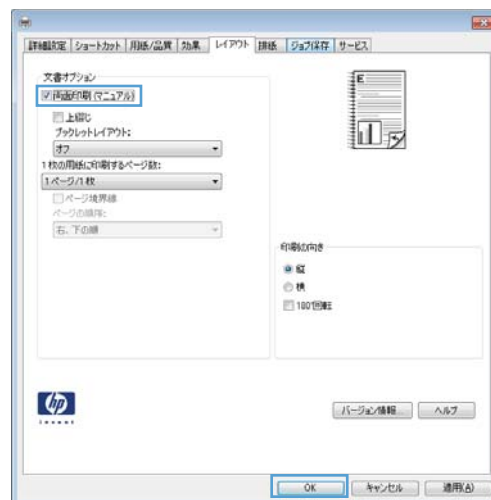
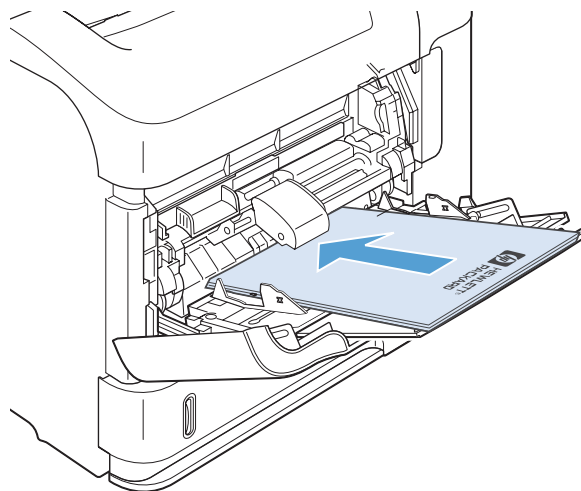
1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。
2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。
3. ［**用紙/品質**］タブをクリックします。
4. ［**用紙トレイ**］ドロップダウン リストからトレイを選択します。

両面に印刷する (両面印刷) (Windows の場合)

手動で両面に印刷する (Windows の場合)

注記： この情報は、自動両面印刷ユニットが装備されていないプリンタのみにあてはまります。

1. ソフトウェア プログラムの［ファイル］メニューで、［印刷］をクリックします。

2. プリンタを選択し、［プロパティ］または［ユーザー設定］をクリックします。

3. ［レイアウト］タブをクリックします。

4. ［**両面印刷 (手差し)**］チェック ボックスをオンにします。［**OK**］ボタンをクリックして、ジョブの表面を印刷します。

5. 排紙ビンから印刷済みの用紙を取り出し、印刷面を上向きにしてトレイ 1 にセットします。

6. コントロール パネルの OK ボタンを押して、ジョブの裏面を印刷します。

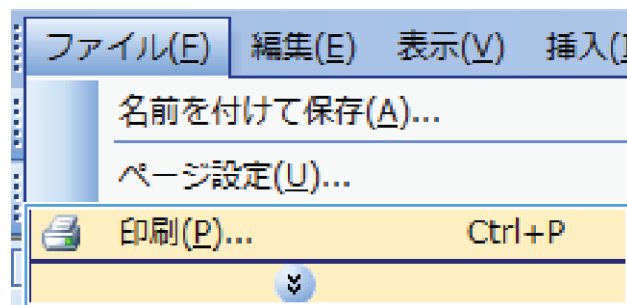
自動で両面に印刷する (Windows の場合)

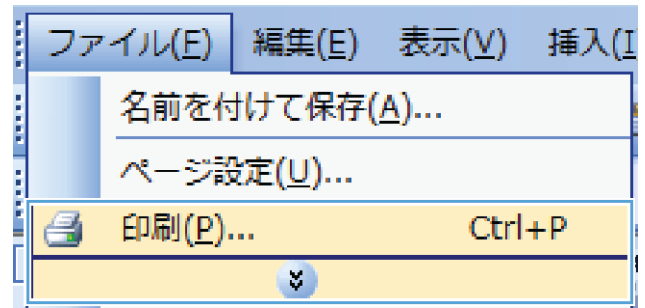
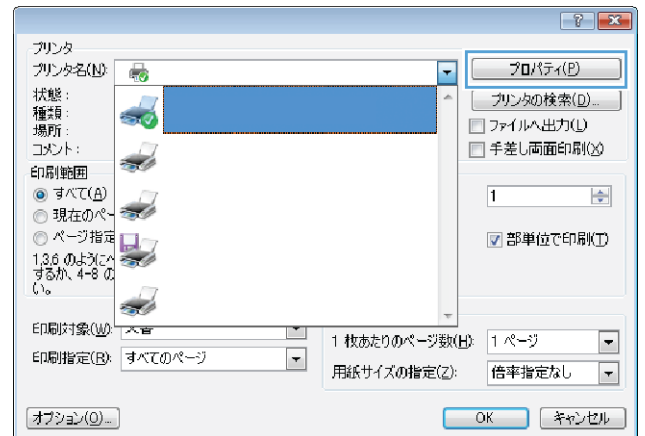
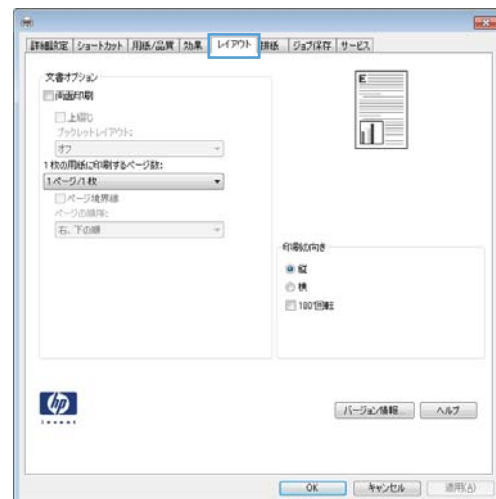
注記： この情報は、自動両面印刷ユニットが装備されているプリンタのみにあてはまります。

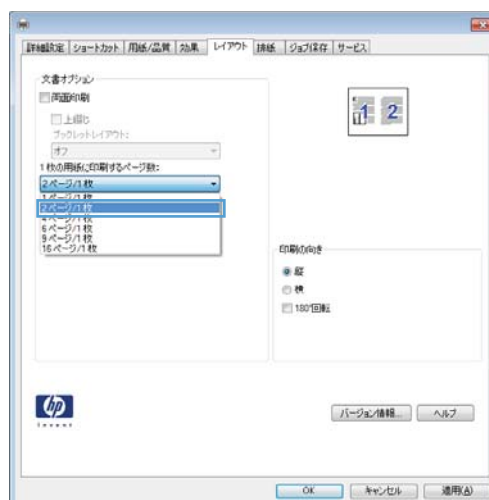
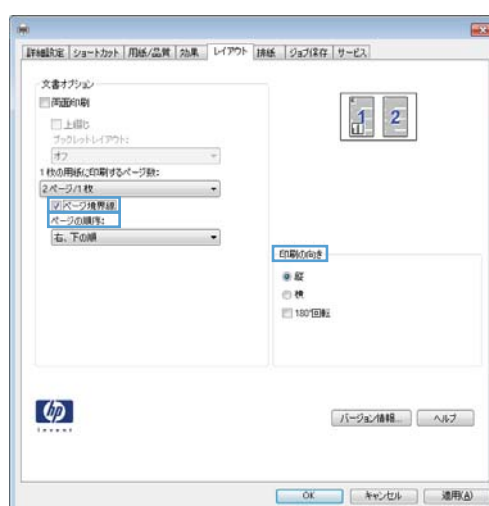
1. ソフトウェア プログラムの［ファイル］メニューで、［印刷］をクリックします。

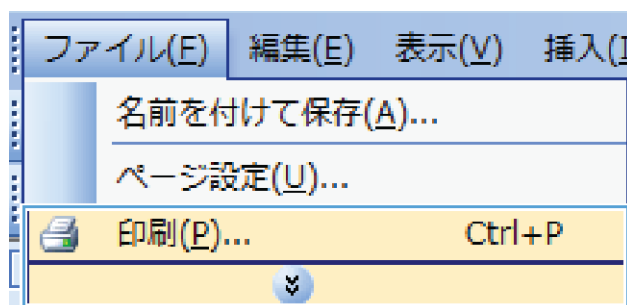
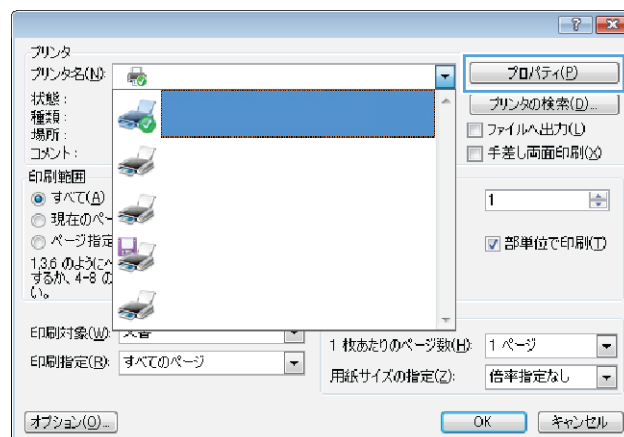
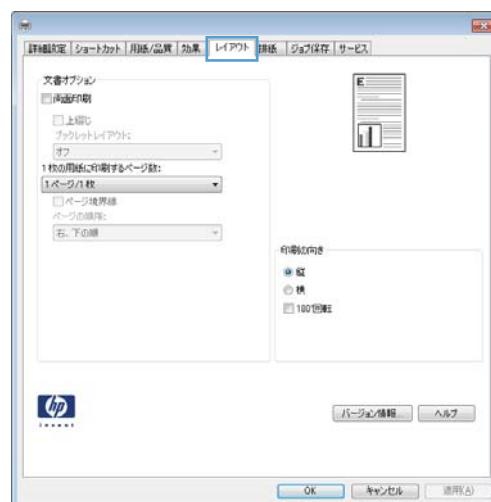
2. プリンタを選択し、[**プロパティ**] または [**ユーザー設定**] をクリックします。

3. [**レイアウト**] タブをクリックします。

4. [**両面印刷**] チェック ボックスをオンにします。[**OK**] ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

1 枚の用紙に複数ページを印刷する (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。

2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。

3. [レイアウト] タブをクリックします。

4. ［用紙あたりのページ数］ドロップダウン リストから、1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。

5. ［ページ境界線］、［ページ順序］、および［印刷の向き］オプションで正しい項目を選択します。

用紙の向きを選択する (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの［ファイル］メニューで、［印刷］をクリックします。

2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。

3. ［**レイアウト**］タブをクリックします。

4. ［**印刷の向き**］領域で、［**縦**］または［**横**］オプションを選択します。

   ページのイメージを上下逆に印刷するには、［**180°回転**］を選択します。

HP ePrint を使用する

HP ePrint を使用すると、電子メール対応デバイスからプリンタの電子メール アドレスに電子メールの添付ファイルとして文書を送信し、印刷できます。

注記： HP ePrint を使用するには、プリンタがネットワークに接続され、インターネットにアクセスできる必要があります。

1. HP ePrint を使用するには、まず HP Web サービスを有効にする必要があります。

   a. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレス行に入力し、HP 内蔵 Web サーバーを開きます。

   b. [**Web サービス**] タブをクリックします。

   c. Web サービスを有効にするオプションを選択します。

2. HP ePrintCenter Web サイトを使用して、セキュリティ設定を定義し、このプリンタに送信されるすべての HP ePrint ジョブに関するデフォルトの印刷設定を設定します。

   a. www.hpeprintcenter.com に移動します。

   b. [**Sign In**] (サイン イン) をクリックし、HP ePrintCenter 認証情報を入力するか、サインアップして新しいアカウントを取得します。

   c. リストからプリンタを選択するか、[**+ Add printer**] (+ プリンタの追加) をクリックしてプリンタを追加します。プリンタを追加するには、プリンタ コードが必要です。これは、プリンタの電子メール アドレスのうち @ 記号より前の部分です。

   注記： このコードは、HP Web サービスを有用にしてから 24 時間だけ有効です。コードが期限切れになった場合は、再度 HP Web サービスを有効にする手順に従って、新しいコードを取得します。

   d. 予期しない文書が印刷されないようにするには、[**ePrint Settings**] (ePrint 設定)、[**Allowed Senders**] (許可された送信者) タブの順にクリックします。[**Allowed Senders Only**] (許可された送信者のみ) をクリックし、ePrint ジョブの実行を許可する電子メール アドレスを追加します。

   e. このプリンタに送信されるすべての ePrint ジョブに関するデフォルトの設定を指定するには、[**ePrint Settings**] (ePrint 設定)、[**Print Options**] (印刷オプション) の順にクリックし、使用する設定を選択します。

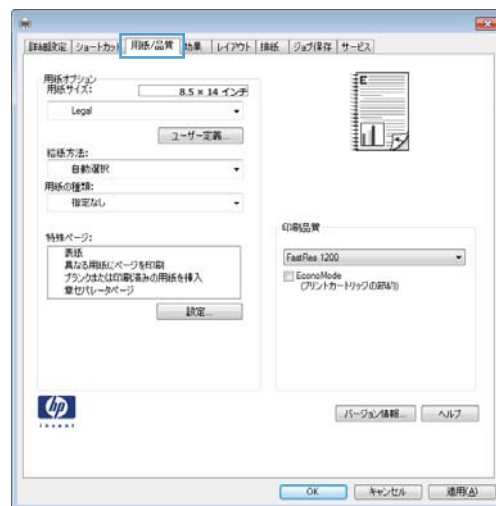
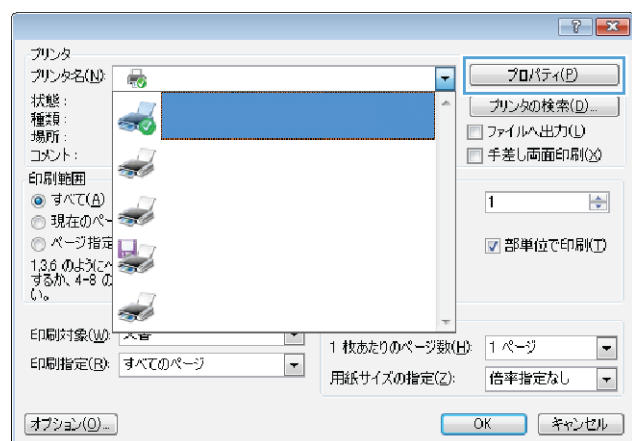
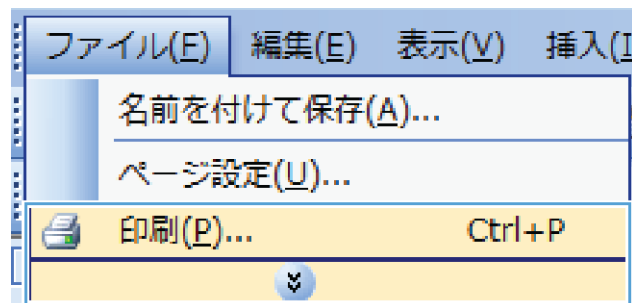
3. 文書を印刷するには、プリンタの電子メール アドレスに送信される電子メール メッセージにその文書を添付します。

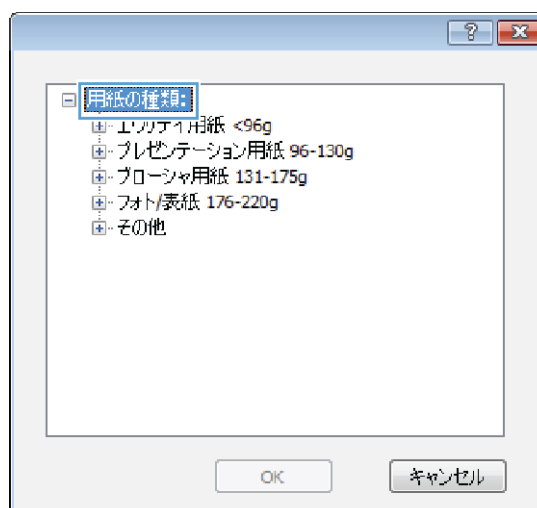
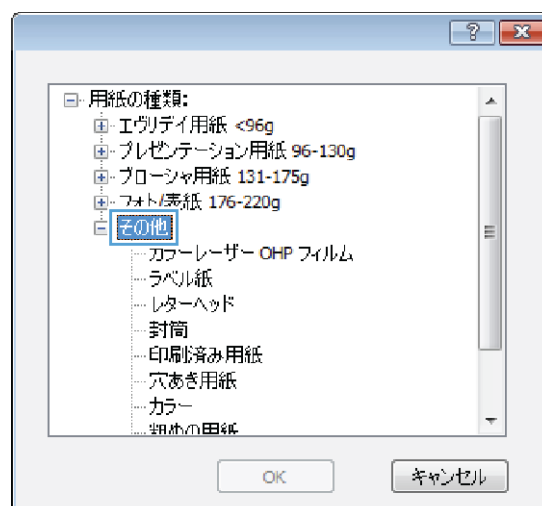
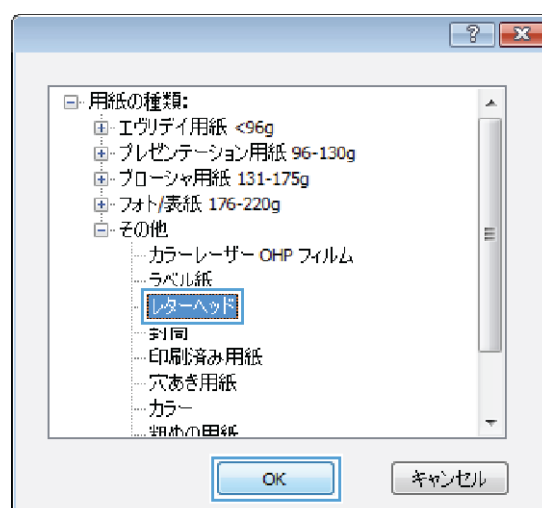
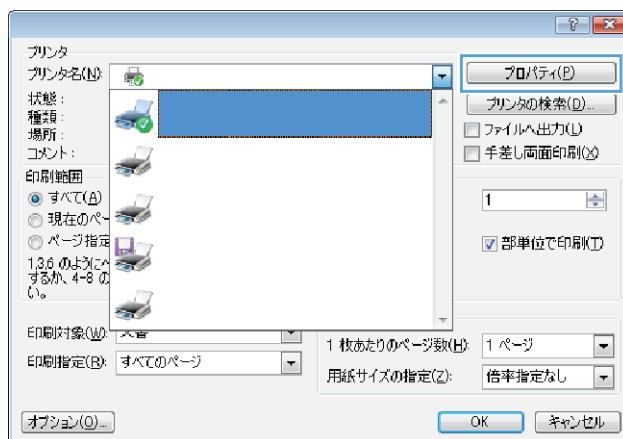
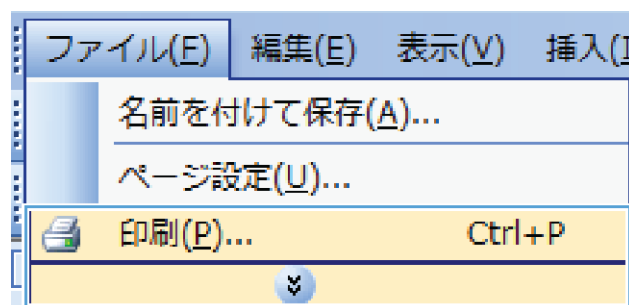
Windows でのその他の印刷タスク

レターヘッドやフォーム付きの用紙に印刷する (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの［ファイル］メニューで、［印刷］をクリックします。

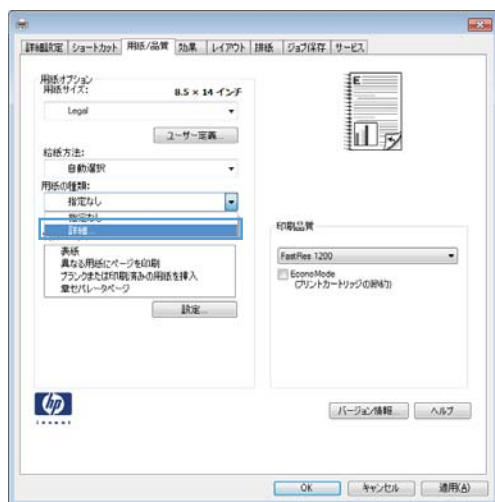
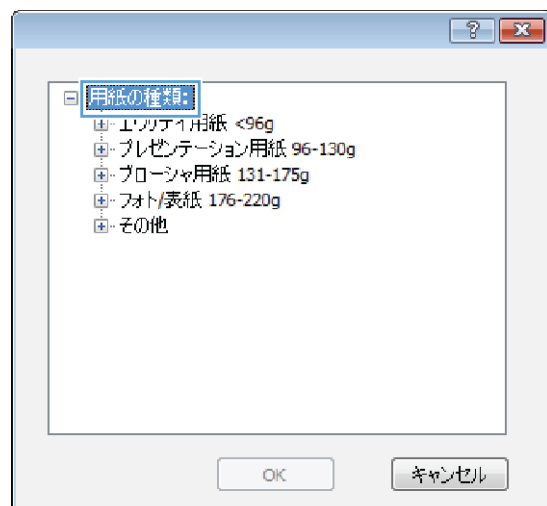
2. プリンタを選択し、［プロパティ］または［ユーザー設定］をクリックします。

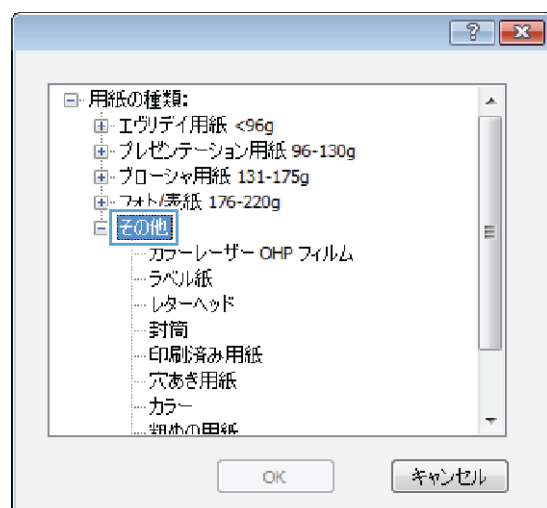
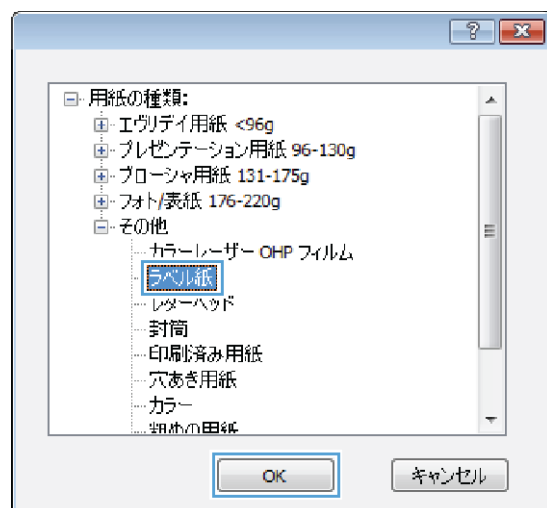
3. ［用紙/品質］タブをクリックします。

4. ［用紙タイプ］ドロップ ダウン リストで、［詳細...］オプションをクリックします。

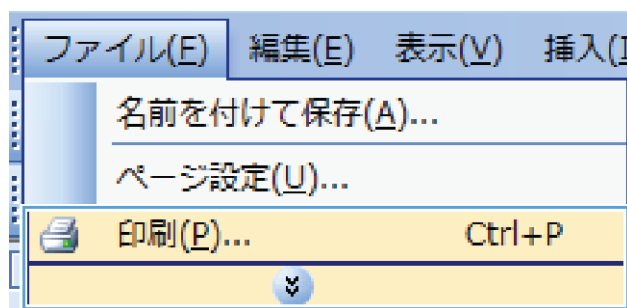
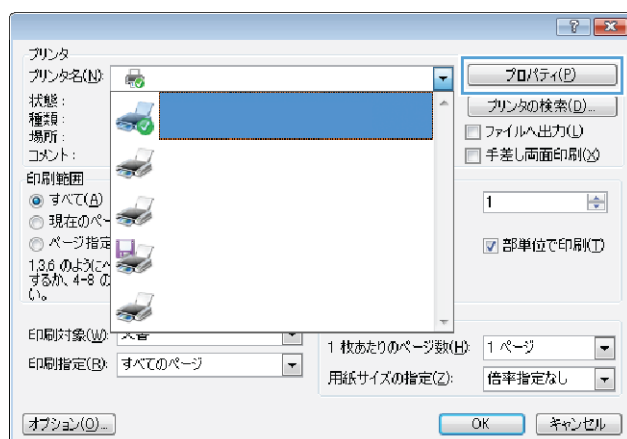
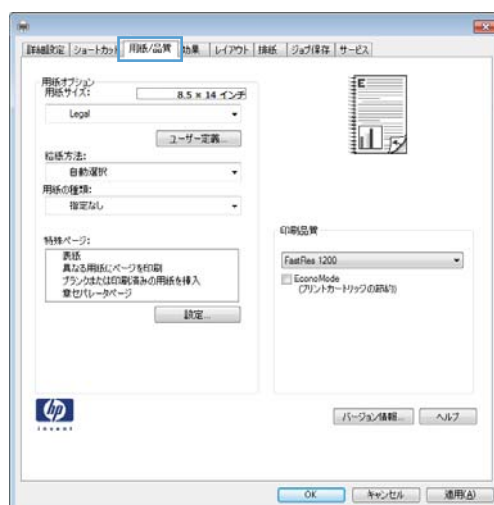
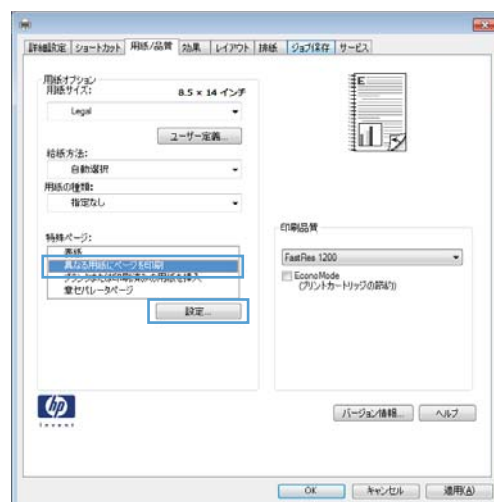
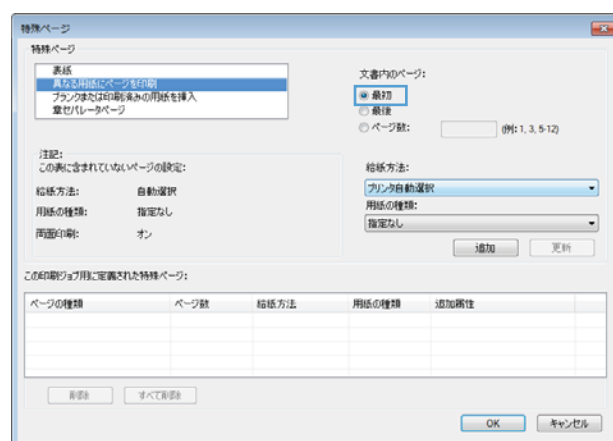
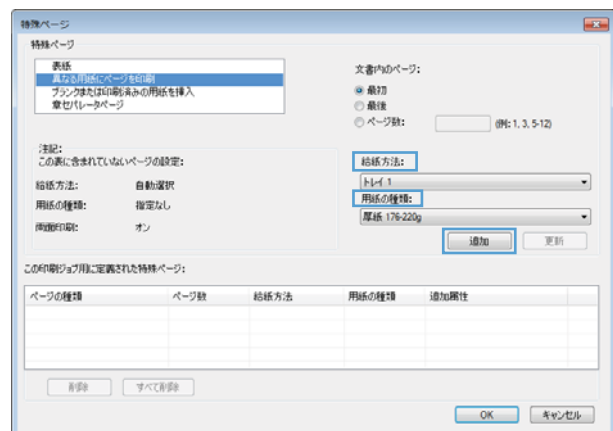
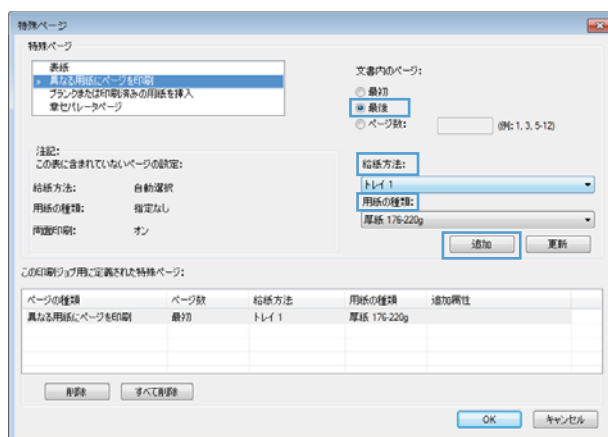
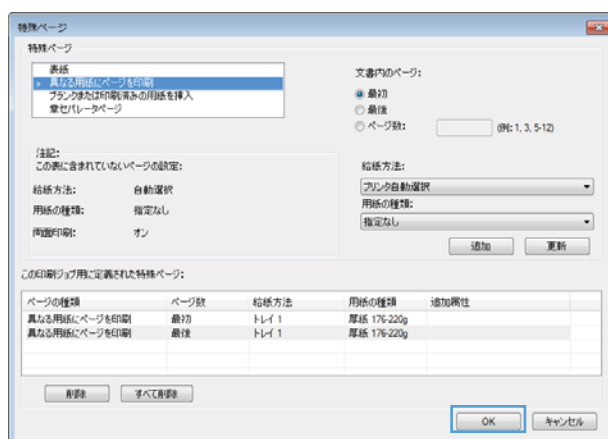
5. ［用紙の種類：］オプションのリストを展開します。

6. ［**その他**］オプションのリストを展開します。

7. 使用する用紙のタイプに合ったオプションを選択して、［**OK**］ボタンをクリックします。

特殊な用紙、ラベル、OHP フィルムに印刷する (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。

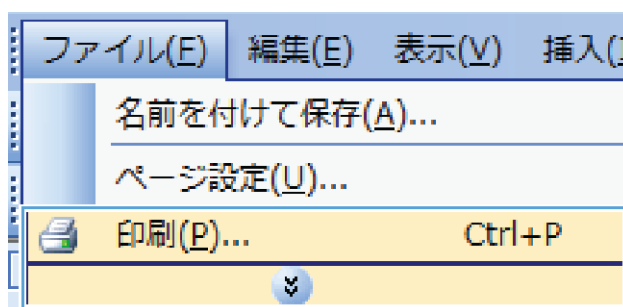
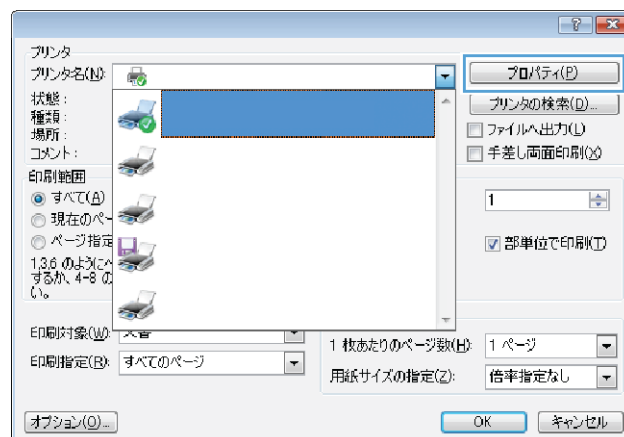
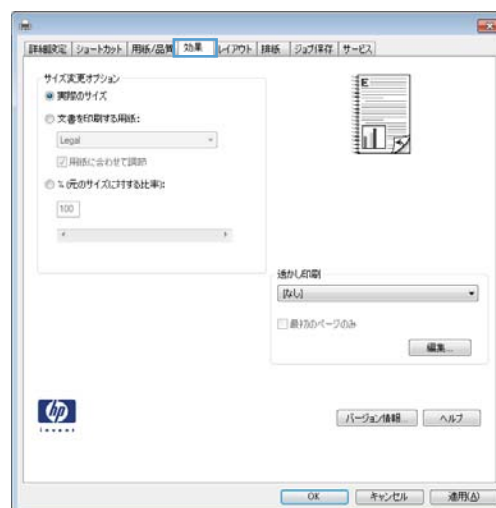
2. プリンタを選択し、[**プロパティ**] または [**ユーザー設定**] をクリックします。

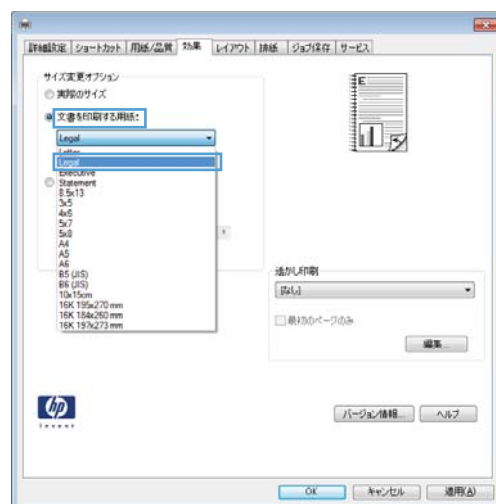
3. [**用紙/品質**] タブをクリックします。

4. [**用紙タイプ**] ドロップ ダウン リストで、[**詳細...**] オプションをクリックします。

5. ［用紙の種類：］オプションのリストを展開します。

6. 使用する用紙の説明として最適な用紙タイプのカテゴリを展開します。

注記： ラベル用紙や OHP フィルムは、［その他］オプションのリストに入っています。

7. 使用する用紙のタイプに合ったオプションを選択して、［**OK**］ボタンをクリックします。

最初または最後のページを異なる用紙に印刷する (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの［ファイル］メニューで、［印刷］をクリックします。

2. プリンタを選択し、［プロパティ］または［ユーザー設定］をクリックします。

3. ［用紙/品質］タブをクリックします。

4. ［特殊ページ］領域で［異なる用紙にページを印刷］オプションをクリックし、［設定］ボタンをクリックします。

5. ［文書内のページ］領域で、［最初］または［最後］オプションを選択します。

6. ［用紙トレイ］および［用紙タイプ］ドロップダウン リストから、正しいオプションを選択します。［追加］ボタンをクリックします。

7. 最初と最後のページを*両方とも*別の用紙に印刷する場合は、手順 5 と 6 を繰り返し、もう一方のページのオプションを選択します。

8. ［**OK**］ボタンをクリックします。

Windows で文書を用紙サイズに合わせて拡大縮小

1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。

2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。

3. ［**効果**］タブをクリックします。

4. ［［**文書を印刷する用紙**］］オプションを選択して、ドロップダウン リストからサイズを選択します。

透かしの文書への追加 (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。

2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。

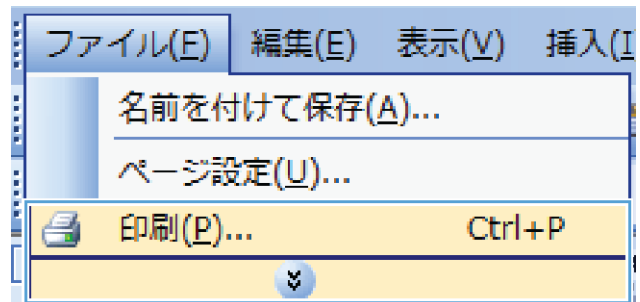
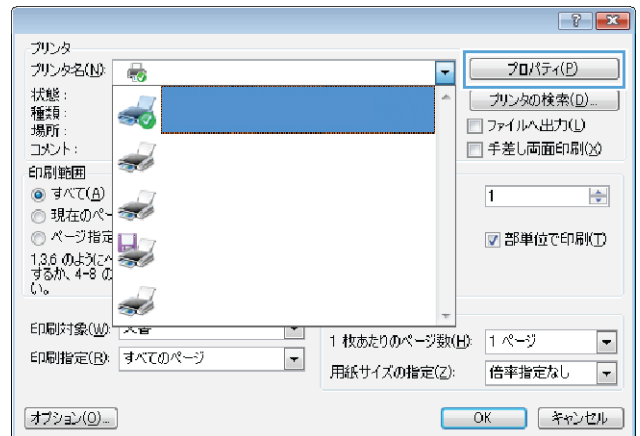
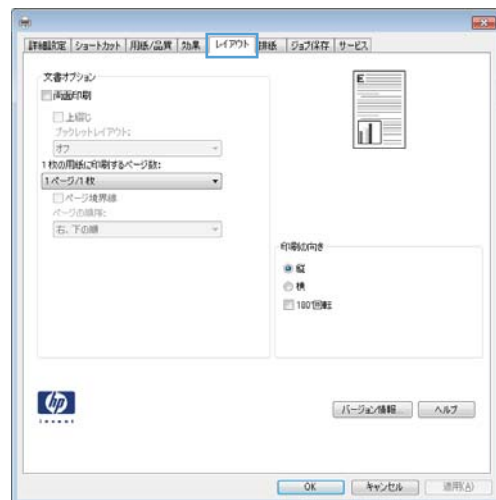
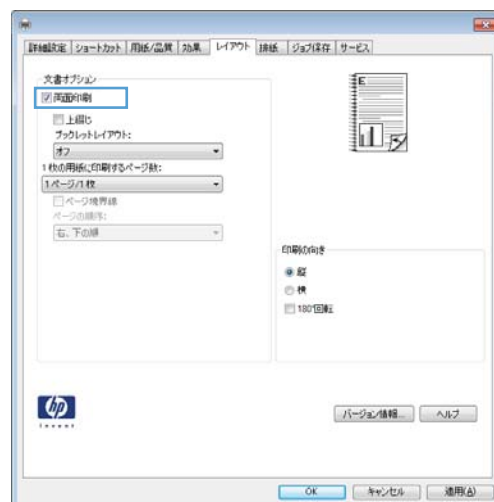
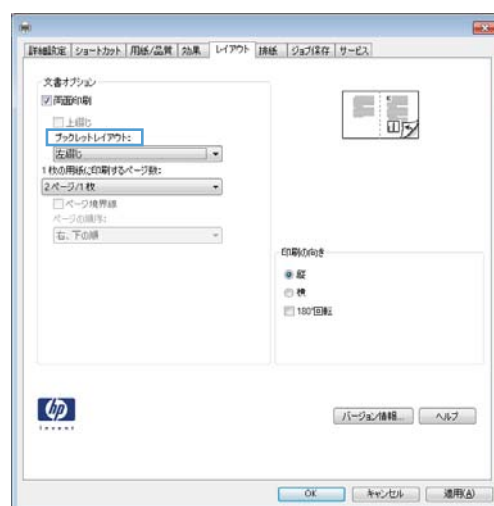
3. ［**効果**］タブをクリックします。

4. ［**透かし**］ドロップダウン リストから［透かし］を選択します。

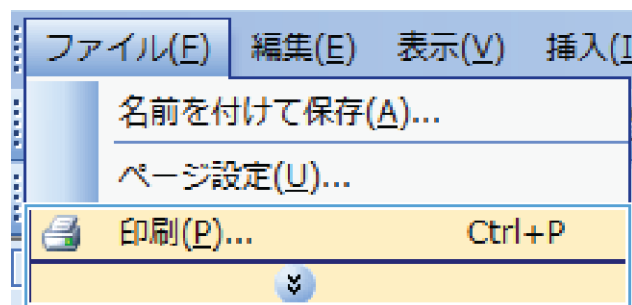
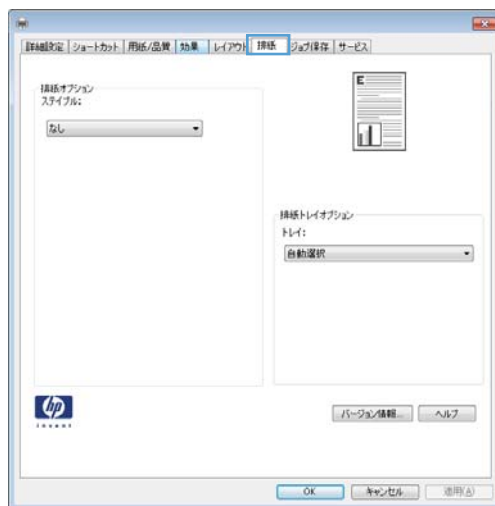
   または、［**編集**］ボタンをクリックして新しい透かしをリストに追加します。透かしの設定を指定し、［**OK**］ボタンをクリックします。

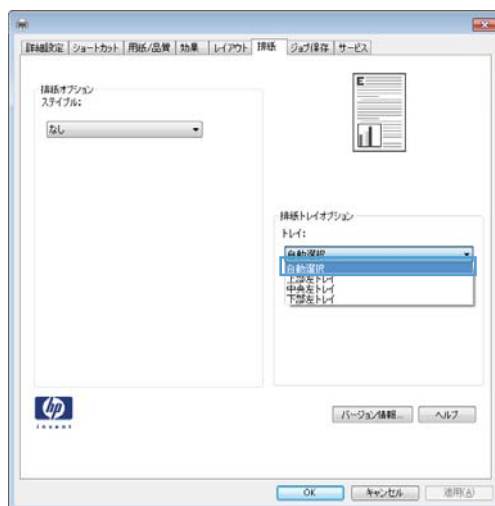
5. 透かしを最初のページだけに印刷するには、［**最初のページのみ**］チェック ボックスをオンにします。このオプションを選択しなかった場合、透かしはすべてのページに印刷されます。

ブックレットの作成 (Windows の場合)

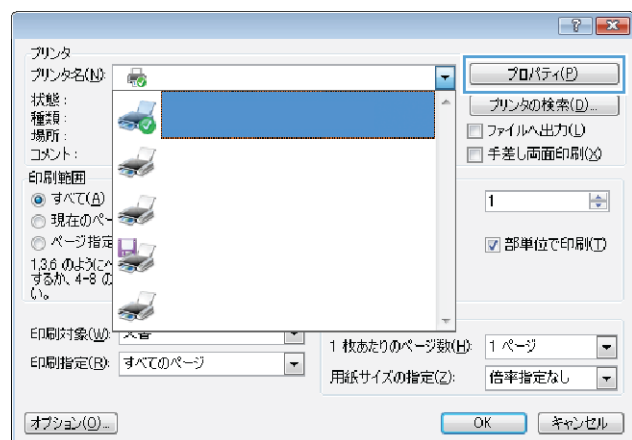
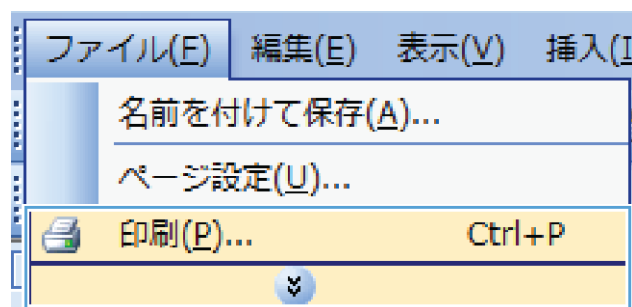
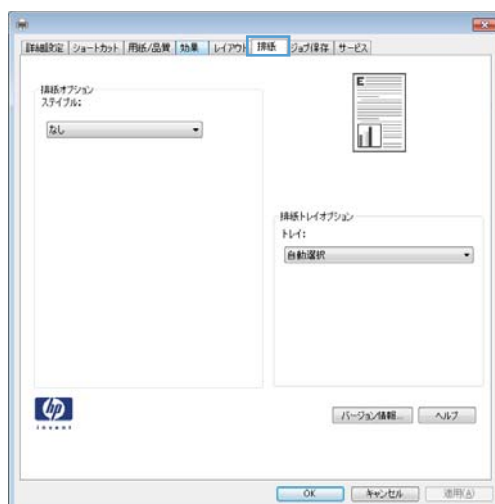
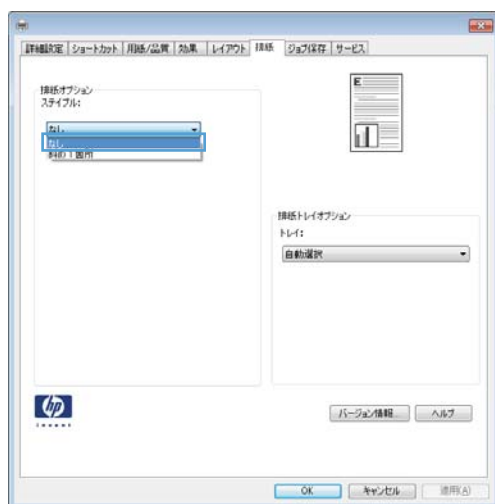
1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。

2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。

3. ［**レイアウト**］タブをクリックします。

4. ［**両面印刷**］チェック ボックスをオンにします。

5. ［**ブックレット レイアウト**］ドロップダウン リストで、［**左綴じ**］または［**右綴じ**］オプションをクリックします。［**用紙あたりのページ数**］オプションが自動的に［**2 ページ/1 枚**］に変わります。

排紙オプションの選択 (Windows の場合)

排紙オプションの選択 (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの［ファイル］メニューで、［印刷］をクリックします。

2. プリンタを選択し、[**プロパティ**] または [**ユーザー設定**] をクリックします。

3. [**排紙**] タブをクリックします。

4. [**排紙ビン オプション**] で、[**ビン**] ドロップダウン リストからビンを選択します。

ステイプル オプションの選択 (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの［ファイル］メニューで、［印刷］をクリックします。

2. プリンタを選択し、［プロパティ］または［ユーザー設定］をクリックします。

3. ［排紙］タブをクリックします。

4. ［**排紙オプション**］で、［**ステイプル**］ドロップダウン リストからオプションを選択します。

ジョブ保存機能の使用 (Windows の場合)

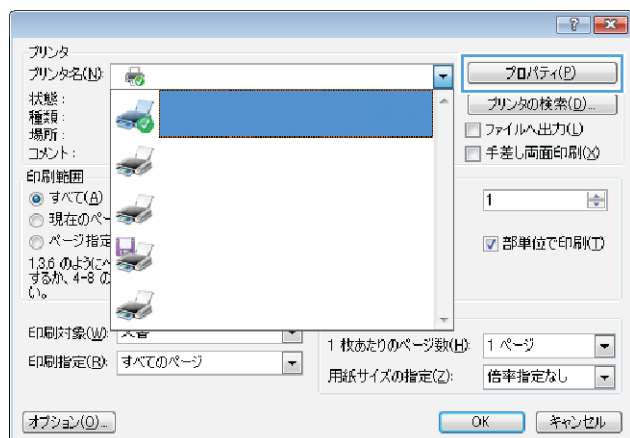
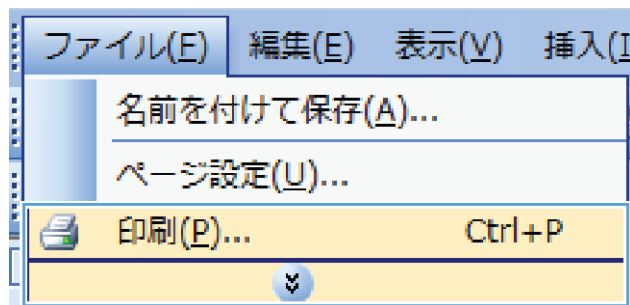
印刷ジョブでは、次のジョブ保存モードを使用できます。

- **[試し刷り後に保留]**: この機能では、ジョブを 1 部すばやく印刷して確認し、その後追加の部数を印刷できます。
- **[個人ジョブ]**: ジョブをプリンタへ送信したとき、コントロール パネルで実行するまでジョブが印刷されません。個人識別番号 (PIN) をジョブに割り当てる場合は、コントロール パネルで必要な PIN を入力する必要があります。
- **[クイック コピー]**: プリンタにオプションのハード ディスクを取り付けている場合、指定した部数だけ印刷してから、オプションのハード ディスクにジョブを保存できます。ジョブを保存することで、後でジョブの追加コピーを印刷できます。
- **[保存ジョブ]**: プリンタにオプションのハード ディスクを取り付けている場合、社内の共通フォームや勤務表、カレンダーなどをプリンタに保存しておき、誰でも必要なときに印刷することができます。保存したジョブを PIN で保護することもできます。

⚠ **注意：** プリンタの電源を切ると、すべてのタイプの保存ジョブ（**[クイック コピー]**、**[試し刷り後に保留]**、および［**個人ジョブ**］）が削除されます。ジョブを永久保存し、何らかの理由で空き容量が必要になったときでも削除されないようにするには、ドライバで［**保存ジョブ**］オプションを選択します。

保存ジョブの作成 (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。

2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。

3. [**ジョブ保存**] タブをクリックします。

4. [**ジョブ保存モード**] オプションを選択します。

保存ジョブの印刷

次の手順に従って、プリンタのメモリに保存されているジョブを実行します。

1. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。

2. [**デバイス メモリからジョブを取得**] メニューを開きます。

3. ユーザー名を選択し、ジョブの名前を選択するか、[**全ジョブ (PIN 有り)**] オプションまたは [**全ジョブ (PIN なし)**] オプションを選択します。

4. 必要に応じて PIN を入力し、[**印刷**] オプションを選択します。部数を調整するには、[**部数**] オプションを選択します。

保存したジョブの削除

保存するジョブをプリンタのメモリに送信する際に、ユーザー名とジョブ名が一致するジョブが既に存在している場合、そのジョブは上書きされます。プリンタの空き容量が不足している場合に新規の

保存ジョブを送信すると、最も古い保存ジョブから順に削除されます。保存できるジョブ数は、プリンタのコントロール パネルの [**全般的な設定**] メニューから変更できます。

次の手順に従って、プリンタのメモリに保存されているジョブを削除します。

1. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。
2. [**デバイス メモリからジョブを取得**] メニューを開きます。
3. ユーザー名を選択し、ジョブの名前を選択するか、[**全ジョブ (PIN 有り)**] オプションまたは [**全ジョブ (PIN なし)**] オプションを選択します。
4. [**削除**] オプションを選択します。削除の確認メッセージが表示されます。

ジョブ保存オプションの設定 (Windows の場合)

全部数を印刷する前に 1 部だけ試し刷りする

1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。
2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。
3. ［**ジョブ保存**］タブをクリックします。
4. ［**ジョブ保存モード**］領域で、［**試し刷り後に保留**］オプションをクリックします。

個人ジョブを製品内に一時的に保存して後で印刷する

注記： 印刷後、プリンタからジョブが削除されます。

1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。
2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。
3. ［**ジョブ保存**］タブをクリックします。
4. ［**ジョブ保存モード**］領域で、［**個人ジョブ**］オプションをクリックします。
5. オプション :［**ジョブをプライベートにする**］領域で、［**印刷の PIN**］オプションをクリックして 4 桁の個人識別番号 (PIN) を入力します。
6. 必要なときにプリンタのコントロール パネルからジョブを印刷します。

ジョブを製品内に一時的に保存する

注記： このオプションは、プリンタにオプションのハード ディスクを取り付けている場合に使用可能です。

注記： プリンタの電源を切るまでジョブは保存されます。

1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。
2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。

3. ［**ジョブ保存**］タブをクリックします。

4. ［**ジョブ保存モード**］領域で、［**クイック コピー**］オプションをクリックします。

   指定した部数がすぐに印刷され、その後コントロール パネルから追加の部数を印刷できます。

ジョブを製品内に永久的に保存する

注記： このオプションは、プリンタにオプションのハード ディスクを取り付けている場合に使用可能です。

1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。

2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。

3. ［**ジョブ保存**］タブをクリックします。

4. ［**ジョブ保存モード**］領域で、［**保存ジョブ**］オプションをクリックします。

永久的に保存したジョブをプライベートに設定して、印刷するには PIN が必要になるように設定する

注記： このオプションは、プリンタにオプションのハード ディスクを取り付けている場合に使用可能です。

1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。

2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。

3. ［**ジョブ保存**］タブをクリックします。

4. ［**ジョブ保存モード**］領域で、［**保存ジョブ**］オプションまたは［**個人ジョブ**］オプションをクリックします。

5. ［**ジョブをプライベートにする**］領域で、［**印刷の PIN**］オプションをクリックして 4 桁の個人識別番号 (PIN) を入力します。

   注記： ジョブを印刷または削除するには、コントロール パネルで PIN を入力する必要があります。

ユーザーが保存ジョブを印刷したときに通知を受信する

注記： 保存ジョブを作成したユーザーだけが通知を受信します。別のユーザーが作成した保存ジョブを印刷する場合は、通知を受け取りません。

1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。

2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。

3. ［**ジョブ保存**］タブをクリックします。

4. ジョブ保存モードを選択します。

5. ［**ジョブ通知オプション**］領域で、［**印刷時にジョブ ID を表示**］オプションをクリックします。

保存ジョブにユーザー名を設定する

保存ジョブのユーザー名を変更するには、次の手順に従います。

1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。
2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。
3. ［**ジョブ保存**］タブをクリックします。
4. ジョブ保存モードを選択します。
5. ［**ユーザー名**］領域で、［**ユーザー名**］オプションをクリックして Windows のデフォルトのユーザー名を使用します。別のユーザー名を設定する場合は、［**カスタム**］オプションをクリックして名前を入力します。

保存ジョブの名前を指定する

保存ジョブのデフォルト名を変更するには、次の手順に従います。

1. ソフトウェア プログラムの［**ファイル**］メニューで、［**印刷**］をクリックします。
2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。
3. ［**ジョブ保存**］タブをクリックします。
4. ジョブ保存モードを選択します。
5. 保存した文書に関連付けるジョブ名を自動的に生成するには、［**ジョブ名**］領域で［**自動**］オプションをクリックします。使用可能な名前がある場合、ドライバはその文書ファイル名を使用します。文書にファイル名がない場合、ドライバはソフトウェア プログラム名またはジョブ名の時刻スタンプを使用します。

   ジョブ名を指定するには、［**カスタム**］オプションをクリックして名前を入力します。

6. ［**ジョブ名が存在する場合**］ドロップダウン リストからオプションを選択します。
   - 既存の名前の末尾に数字を追加する場合は、［**ジョブ名と 1 ～ 99 までの数値を使用する**］オプションを選択します。
   - 同じ名前のジョブを上書きする場合は、［**既存のファイルを置換**］オプションを選択します。

特別なジョブの印刷 (Windows の場合)

両面印刷の位置合わせを設定する

パンフレットなど両面印刷する文書では、裏表の印刷位置を揃えるために、印刷前にトレイの位置合わせを行います。

1. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。
2. 以下のメニューを開きます。
   a. **管理**
   b. **全般的な設定**
   c. **印刷品質**
   d. **イメージ レジストレーション**
   e. **トレイ <X> の調節**
3. [**テスト ページの印刷**] 項目を選択し、OK ボタンを押します。
4. テスト ページの指示に従って、位置合わせを行います。

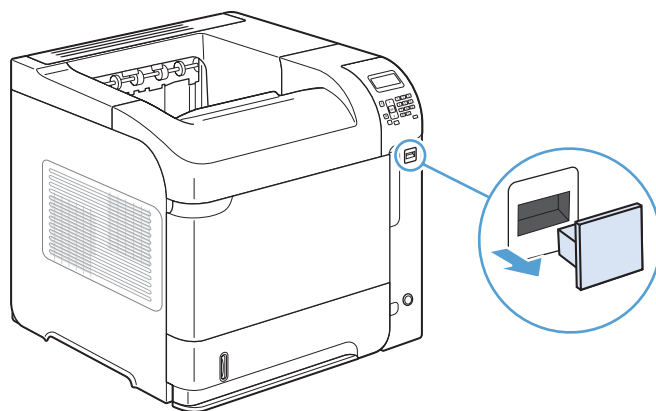
スリープ復帰時 USB 印刷

このプリンタはスリープ復帰時 USB 印刷機能を備えているため、コンピュータからファイルを送信せずにすばやくファイルを印刷できます。プリンタの正面にある USB ポートには、標準の USB ストレージ アクセサリを接続できます。印刷できるファイルの種類は以下のとおりです。

- .pdf
- .prn
- .pcl
- .ps
- .cht

1. USB ストレージ アクセサリをプリンタの正面にある USB ポートに挿入します。

   注記： USB ポートからカバーを取り外す必要があることがあります。

   注記： プリンタで USB アクセサリが認識されない場合は､別の種類の USB アクセサリを使用します。USB 仕様間の違いにより、一部の種類の USB アクセサリはプリンタで認識されません。

2. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。
3. [**USB からジョブを取得**] メニューを開きます。
4. 印刷する文書の名前を選択します。
5. 部数を調整する必要がある場合、[**部数**] オプションを選択してから、部数を入力します。
6. OK ボタンを押して、文書を印刷します。

9 管理と保守

情報ページの印刷

情報ページには、プリンタ、およびその現在の設定の詳細が示されます。情報ページを印刷または表示するには、次の手順に従います。

1. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。
2. 以下のメニューを開きます。
   - **管理**
   - **レポート**
3. 確認するレポートの名前を確認し、[**印刷**] オプションまで上方向にスクロールしてから、OK ボタンを押してレポートを印刷します。

レベル 1	レベル 2	説明
設定/ステータス ページ	**[管理] メニュー マップ**	コントロール パネルのメニュー項目のレイアウトや現在の設定を表示します。
	プリンタ設定ページ	プリンタの設定と取り付けられているアクセサリを表示します。
	サプライ品ステータス ページ	サプライ品の概算寿命、印刷したページとジョブの総数の統計情報、シリアル番号、ページ数、および保守点検情報を表示します。 ユーザーに便利なようにサプライ品の概算寿命を表示します。実際のサプライ品の残量は、表示される概算とは異なる場合があります。
	使用状況ページ	プリンタで処理したすべての用紙サイズの総数、片面印刷または両面印刷の区別、およびページ数の一覧を表示します。
	ファイル ディレクトリ ページ	プリンタ メモリに保存されているファイルのファイル名とフォルダ名を表示します。
	現在の設定ページ	[**管理**] メニューにある各オプションの現在の設定が表示されます。
その他のページ	**PCL フォント リスト**	使用可能な PCL フォントを印刷します。
	PS フォント リスト	使用可能な PS フォントを印刷します。

HP 内蔵 Web サーバの使用

HP 内蔵 Web サーバーを使用すると､プリンタのコントロール パネルの代わりにコンピュータを使って、プリンタのステータスの確認、プリンタのネットワーク設定の構成、印刷機能の管理を行えます。HP 内蔵 Web サーバーを使用して実行できる機能の例を次に示します。

- プリンタのステータス情報の表示
- サプライ品すべての寿命の確認と新しいサプライ品の注文
- トレイ設定の表示と変更
- プリンタのコントロール パネルのメニューの表示と変更
- 内部ページの表示と印刷
- プリンタとサプライ品に関する通知の受信
- ネットワーク設定の表示と変更

HP 内蔵 Web サーバーを使用するには、Microsoft Internet Explorer 5.01 以降、または Windows、Mac OS、および Linux (Netscape のみ) 向けの Netscape 6.2 以降をインストールする必要があります。HP-UX 10 と HP-UX 11 では、Netscape Navigator 4.7 が必要です。HP 内蔵 Web サーバーは、プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合に機能します。IPX ベースの接続では機能しません。HP 内蔵 Web サーバーを起動して使用する場合は、インターネットに接続する必要はありません。

プリンタをネットワークに接続すると、自動的に HP 内蔵 Web サーバが使えるようになります。

ネットワーク接続を使用して HP 内蔵 Web サーバを開く

1. プリンタの設定ページに表示されているプリンタの IP アドレスまたはホスト名を確認します。次の手順に従ってプリンタの設定ページを印刷します。

   a. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。

   b. 以下のメニューを開きます。

      - **管理**
      - **レポート**
      - **設定/ステータス ページ**
      - **プリンタ設定ページ**

   c. OK ボタンを押します。

   d. Jetdirect ページで IP アドレスまたはホスト名を検索します。

2. コンピュータの Web ブラウザのアドレスまたは URL フィールドに、プリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

HP 内蔵 Web サーバーの機能

[情報] タブ

表 9-1　HP 内蔵 Web サーバーの [情報] タブ

メニュー	説明
[デバイス ステータス]	プリンタのステータスと HP サプライ品の推定寿命を表示します。各トレイにセットされている用紙のタイプとサイズも表示されます。デフォルトの設定を変更する場合は、[**設定の変更**] リンクをクリックします。
[ジョブ ログ]	プリンタで処理したすべてのジョブの概要を示します。
[設定ページ]	設定ページの情報を表示します。
[サプライ品ステータス ページ]	プリンタのサプライ品のステータスを表示します。
[イベント ログ ページ]	プリンタのすべてのイベントとエラーの一覧を表示します。[**HP Instant Support**] リンク (HP 内蔵 Web サーバーのすべてのページにある [**その他のリンク**] 領域) を使用して、問題の解決に役立つ一連の動的 Web ページに接続します。これらのページでも、製品で使用できる追加サービスが表示されます。
[使用状況ページ]	用紙のサイズ、種類、および用紙印刷経路別に、印刷したページ数を表示します。
[デバイス情報]	プリンタのネットワーク名、アドレス、およびモデル情報を表示します。この情報をカスタマイズする場合は、[**デバイス情報**] タブの [**一般**] メニューをクリックします。
[印刷]	印刷するために、コンピュータから印刷準備の整ったファイルをアップロードします。ファイルの印刷には、デフォルトの印刷設定が使用されます。
[印刷可能なレポートとページ]	プリンタの内部のレポートおよびページを表示します。印刷または表示する項目を 1 つ以上選択してください。

[一般] タブ

表 9-2　HP 内蔵 Web サーバーの [一般] タブ

メニュー	説明
[コントロール パネルの管理メニュー]	コントロール パネルの [**管理**] メニューのメニュー構造を表示します。 注記：　この画面で設定できますが、HP 内蔵 Web サーバーには、[**管理**] メニューから利用できる高度な設定オプションが用意されています。
[アラート]	さまざまなプリンタやサプライ品に関する電子メール警告を設定します。
[自動送信]	プリンタの設定とサプライ品に関する自動電子メールを特定の電子メール アドレスに送信するように設定します。
[コントロール パネルのスナップショット]	コントロール パネル ディスプレイに現在の画面のイメージを表示します。
[その他のリンクの編集]	別の Web サイトへのリンクを追加またはカスタマイズします。このリンクは、HP 内蔵 Web サーバーのすべてのページの [**その他のリンク**] 領域に表示されます。

表 9-2 **HP 内蔵 Web サーバーの［一般］タブ（続き）**

メニュー	説明
［注文情報］	交換用プリント カートリッジの注文に関する情報を入力します。この情報はサプライ品ステータス ページに表示されます。
［デバイス情報］	プリンタに名前を付け、アセット番号を割り当てます。プリンタに関する情報を受信するユーザーの名前を入力します。
［言語］	HP 内蔵 Web サーバーの情報を表示する言語を設定します。
［日付と時刻］	日時を設定したり、ネットワーク タイム サーバと同期したりします。
［スリープ スケジュール］	プリンタの復帰時刻、スリープ時刻、およびスリープ遅延を設定または編集します。各曜日および休日に異なるスケジュールを設定できます。
［バックアップと復元］	プリンタ データとユーザ データを格納するバックアップ ファイルを作成します。必要に応じて、このファイルを使用してプリンタにデータを復元できます。
［出荷時の設定に戻す］	プリンタの設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。
［ソリューション インストーラ］	プリンタ機能を拡張できるサードパーティ製のソフトウェア プログラムをインストールします。
［ファームウェア アップグレード］	プリンタのファームウェア アップグレード ファイルをダウンロードしてインストールします。
［統計サービス］	サードパーティのジョブ統計サービスについての接続情報を示します。

［印刷］タブ

表 9-3 ［印刷］タブ

メニュー	説明
［**USB** から取得セットアップ］	コントロール パネルの［**USB** からジョブを取得］メニューを有効または無効にします。
［保存ジョブの管理］	プリンタのメモリにジョブを格納する機能を有効または無効にし、ジョブ保存オプションを設定します。
［用紙の種類の調節］	プリンタでサポートしている用紙タイプごとに、印刷モードを調節します。
［全般的な印刷設定］	印刷ジョブのデフォルト設定を指定します。
［トレイの管理］	トレイごとに用紙タイプとサイズの設定を表示または変更し、すべてのトレイの全般設定を調節します。

［トラブルシューティング］タブ

表 9-4 **HP 内蔵 Web サーバーの［トラブルシューティング］タブ**

メニュー	説明
［レポートとテスト］	プリンタに関する問題の解決に役立つさまざまなレポートを印刷します。
［校正］	オプションを選択すると、即座にプリンタの校正が実行されます。

表 9-4 HP 内蔵 Web サーバーの［トラブルシューティング］タブ（続き）

メニュー	説明
［ファームウェア アップグレード］	プリンタのファームウェア アップグレード ファイルをダウンロードしてインストールします。
［出荷時の設定に戻す］	プリンタの設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

［セキュリティ］タブ

表 9-5 HP 内蔵 Web サーバーの［セキュリティ］タブ

メニュー	説明
［一般セキュリティ］	プリンタの特定の機能の利用を制限できるように管理者パスワードを設定します。 コンピュータから直接印刷するための、コントロール パネルのスリープ復帰時 USB 印刷ポートまたはフォーマッタの USB 接続ポートを有効または無効にします。
［アクセス コントロール］	特定の個人またはグループに対してプリンタの機能の利用を設定します。また、個人がプリンタにサインインする方法も選択します。
［保存済みデータの保護］	プリンタの内蔵ハード ドライブを設定および管理します。このプリンタには、セキュリティを最大にするための暗号化ハード ドライブが搭載されています。 プリンタのハード ドライブに格納されているジョブを設定します。
［証明書の管理］	プリンタおよびネットワークにアクセスするためのセキュリティ証明書をインストールおよび管理します。

［HP Web サービス］タブ

［HP Web サービス］タブでは、このプリンタ用に HP Web サービスを設定して有効にします。HP ePrint 機能を使用するには、HP Web サービスを有効にする必要があります。

［ネットワーキング］タブ

プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合は、**［ネットワーキング］**タブを使用してプリンタのネットワーク設定を変更します。このタブは、プリンタが別のタイプのネットワークに接続されている場合は表示されません。

［その他のリンク］リスト

注記： **［その他のリンク］**リストに表示する項目を設定するには、**［その他のリンクの編集］**タブの［一般］メニューを使用します。以下の項目は、デフォルトのリンクです。

表 9-6　**HP 内蔵 Web サーバーの［その他のリンク］リスト**

メニュー	説明
[製品サポート]	製品のサポート サイトに接続し、さまざまなヘルプ トピックを検索できます。
[HP Instant Support]	問題の解決方法が掲載されている HP の Web サイトに接続します。

HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用

HP Web Jetadmin は、プリンタ、多機能プリンタ、デジタル送信機など、幅広いネットワークに接続された HP デバイスを効率的に管理する、受賞歴があり業界トップのツールです。このソリューション 1 つで、印刷およびイメージング環境のインストール、監視、メンテナンス、トラブルの解決、およびセキュリティをリモートで実行できます。時間を節約し、コストを管理し、資産を保護することで、業務の生産性が最大限に高まります。

特定のプリンタ機能をサポートするために、HP Web Jetadmin の更新が定期的に提供されます。更新の詳細については、www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスし、[**Self Help and Documentation**] (セルフ ヘルプとマニュアル) リンクをクリックしてください。

プリンタのセキュリティ機能

セキュリティ ステートメント

本製品では、各種のセキュリティ基準および推奨プロトコルをサポートしており、これにより、お使いの製品およびネットワーク上の重要な情報を保護し、製品の監視および管理を簡素化します。

HP の安全なイメージングおよび印刷ソリューションの詳細については、www.hp.com/go/securepriniting をご覧ください。このサイトには、セキュリティ機能に関する白書や FAQ ドキュメントへのリンクがあります。

IP セキュリティ

IP セキュリティ (IPsec) は、IP ベースのネットワーク上でプリンタの送受信トラフィックを制御するプロトコルで、ネットワーク通信において、ホスト間の認証、データの整合性チェック、および暗号化を行います。

ネットワーク接続されて HP Jetdirect プリント サーバが取り付けられているプリンタの場合は、HP 内蔵 Web サーバで［**Networking**］タブを使用して、IPsecn を設定できます。

HP 内蔵 Web サーバの保護

プリンタおよび HP Embedded Web Server にアクセスするための管理者パスワードを割り当てて、権限のないユーザがプリンタの設定を変更できないようにします。

1. Web ブラウザのアドレス欄に IP アドレスを入力して、HP 内蔵 Web サーバーを開きます。
2. ［**セキュリティ**］タブをクリックします。
3. ［**一般セキュリティ**］メニューを開きます。
4. ［**ユーザー名**］フィールドに、パスワードを関連付ける名前を入力します。
5. ［**新しいパスワード**］フィールドにパスワードを入力し、［**パスワードの確認**］フィールドにパスワードを再度入力します。

   注記： 既存のパスワードを変更する場合は、最初に既存のパスワードを［**古いパスワード**］フィールドに入力する必要があります。

6. ［**適用**］ボタンをクリックします。パスワードをメモして、安全な場所に保管してください。

暗号化サポート：HP 暗号化ハイ パフォーマンス ハード ディスク (xh モデルのみ)

このプリンタには暗号化ハード ディスクが搭載されています。このハード ディスクではハードウェアベースの暗号化が利用できるため、プリンタの性能に影響を与えずに、機密性のある印刷、コピー、およびスキャン データを安全に保存できます。このハード ディスクは、最新の AES (Advanced Encryption Standard) を使用し、汎用性のある時間節約機能と堅牢な機能を備えています。

HP 内蔵 Web サーバの［**セキュリティ**］メニューを使用して、このディスクを設定します。

暗号化されたハード ディスクの詳細については、『*HP High-Performance Secure Hard Disk Setup Guide*』を参照してください。

1. www.hp.com/support にアクセスします。
2. 検索ボックスに「**セキュア ハード ディスク**」と入力して、[**>>**] ボタンをクリックします。
3. [**HP セキュア ハイパフォーマンス ハード ディスク ドライブ**]のリンクをクリックします。
4. [**マニュアル**]のリンクをクリックします。

保存ジョブのセキュリティ保護

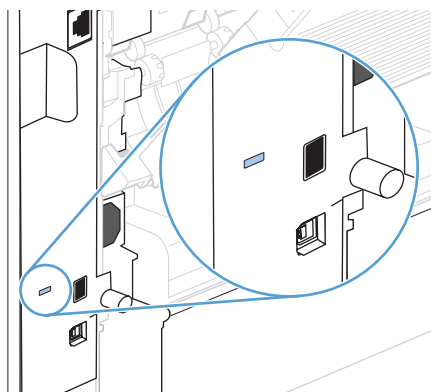
プリンタに保存されているジョブに PIN を割り当てることで、ジョブを保護することができます。保護されたジョブを印刷する場合は必ず、プリンタのコントロール パネルから PIN を入力する必要があります。

コントロール パネル メニューのロック

HP 内蔵 Web サーバーを使用して、コントロール パネルのさまざまな機能をロックできます。

1. Web ブラウザのアドレス欄に IP アドレスを入力して、HP 内蔵 Web サーバーを開きます。
2. [**セキュリティ**] タブをクリックします。
3. [**アクセス コントロール**] メニューを開きます。
4. [**サインインと許可ポリシー**] 領域で、各機能に対する権限を持つユーザーのタイプを選択します。
5. [**適用**] ボタンをクリックします。

フォーマッタのロック

プリンタの背面にあるフォーマッタ領域には、セキュリティ ケーブルを接続するためのスロットがあります。フォーマッタをロックすることで、有効なコンポーネントがフォーマッタから外れるのを防ぐことができます。

エコノミー設定

EconoMode での印刷

本製品では、ドラフト段階の文書を印刷する場合に、エコノモードをご利用いただけます。エコノモードを使用すると、トナーの使用量が減り、1 ページあたりのコストを削減できますが、印刷品質が低下する場合があります。

HP では、EconoMode を常時使用することをお勧めしていません。エコノモードを常に使用すると、プリンタ カートリッジ内の機械部品の寿命よりもトナーの寿命の方が長くなる可能性があります。印刷品質が低下し始めたり、十分な品質が保てなくなった場合は、プリント カートリッジの交換を検討してください。

注記： この機能は、Windows の PCL 6 プリンタ ドライバで利用できます。このドライバを使用していない場合は、HP 内蔵 Web サーバを使用して、この機能を有効にすることができます。

1. ソフトウェアで［**ファイル**］メニューの［**印刷**］をクリックします。
2. プリンタを選択し、［**プロパティ**］または［**ユーザー設定**］をクリックします。
3. ［**用紙/品質**］タブをクリックします。
4. ［**EconoMode**］チェック ボックスをオンにします。

パワーセーブ モード

スリープ モードの無効化または有効化

1. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。
2. 次の各メニューを開きます。
   a. **管理**
   b. **全般的な設定**
   c. **エネルギー設定**
   d. **スリープ タイマ設定**
   e. **スリープ/自動オフ タイマ**
3. 以下のオプションから 1 つ選択してください。
   - **有効**
   - **無効**

スリープ タイマの設定

スリープ タイマ機能を利用すれば、プリンタの非稼動時間が指定時間を超えたときに自動的にスリープ モードに入るように設定することができます。

1. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。
2. 次の各メニューを開きます。
   a. **管理**
   b. **全般的な設定**
   c. **エネルギー設定**
   d. **スリープ タイマ設定**
   e. **スリープ/自動オフまでの時間**
3. 時間を選択し、OK ボタンを押します。

注記： デフォルト値は 30 分です。

スリープ スケジュール機能を設定する

スリープ スケジュール機能を利用すれば、プリンタ非稼動時の電力使用量を減らすことができます。プリンタがスリープ モードに入る時刻とスリープ モードから復帰する時刻を設定できます。各曜日のスケジュールをカスタマイズすることもできます。スリープ スケジュールを設定するには、HP 内蔵 Web サーバーを使用します。

1. Web ブラウザのアドレス欄に IP アドレスを入力して、HP 内蔵 Web サーバーを開きます。
2. [**一般**] タブをクリックします。
3. [**日付と時刻**] リンクをクリックし、現在の日付と時刻を設定します。
4. [**適用**] ボタンをクリックします。
5. [**スリープ スケジュール**] リンク、[**追加**] ボタンの順にクリックして、スリープ スケジュールの設定を開きます。
6. スリープ スケジュールの設定を行います。
7. [**適用**] ボタンをクリックします。

メモリと内部 USB デバイスの取り付け

概要

フォーマッタには、プリンタ機能を拡張するための次の空きスロットおよびポートがあります。

- プリンタのメモリをアップグレードするためのデュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) スロット 1 基
- フォント、言語、およびその他の他社製ソリューションを追加するための内蔵 USB ポート 2 個

プリンタに取り付けられているメモリ容量や、USB ポートに取り付けられているカードを確認するには、設定ページを印刷します。

メモリのインストール

複雑なグラフィックスや PostScript (PS) 文書を頻繁に印刷したり、ダウンロード フォントを多用する場合は、メモリを追加することをお勧めします。メモリを追加すると、クイック コピーなど、ジョブ保存機能をより柔軟に使用できます。

注記： 以前の HP LaserJet プリンタで使用していたシングル インライン メモリ モジュール (SIMM) は、このプリンタでは使用できません。

プリンタのメモリの取り付け

このプリンタには、DIMM スロットが 1 基あります。

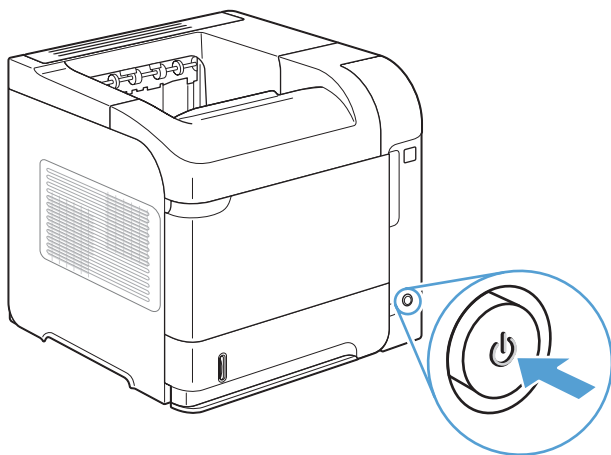
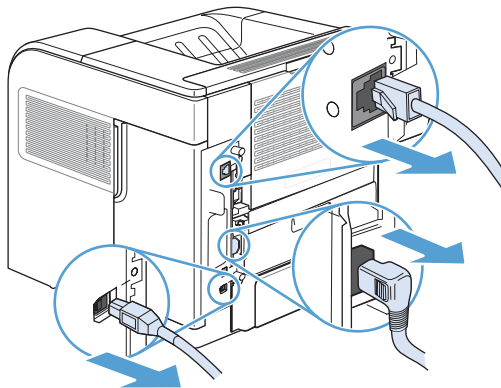
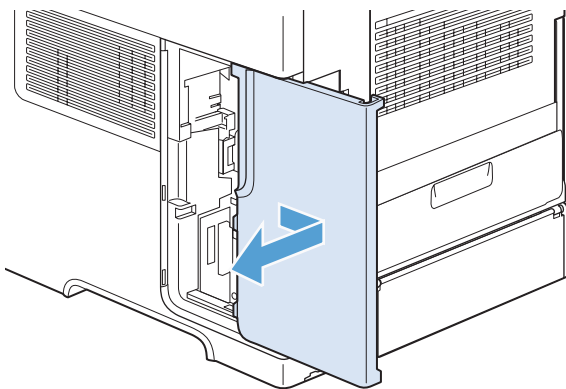
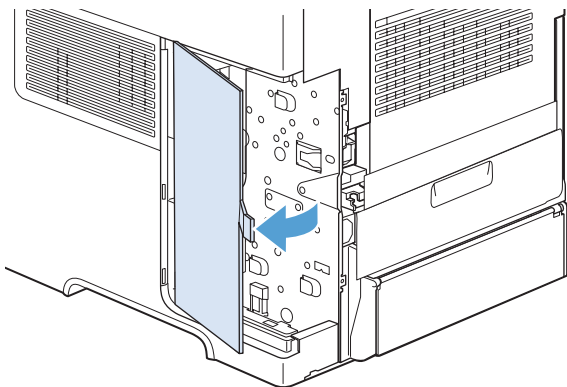
注意： 静電気は電子部品に損傷を与えます。DIMM の取り扱い時には、静電気防止用リスト ストラップを着用するか、頻繁に DIMM の静電気防止パッケージの表面に触れてから、プリンタの露出した金属部に触れるようにしてください。

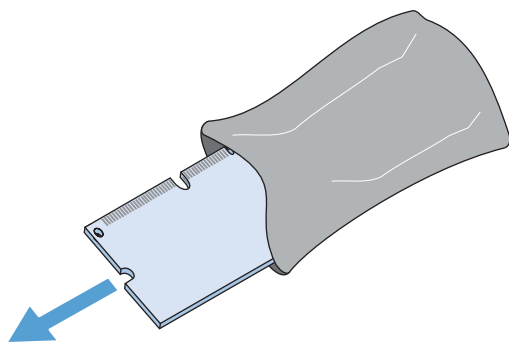
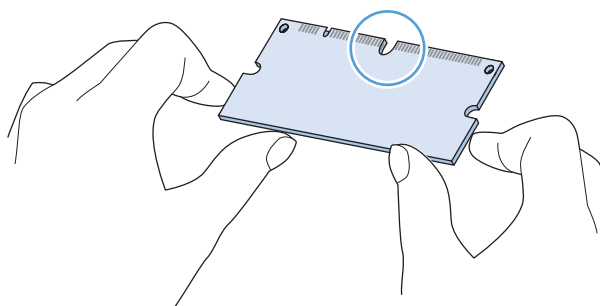
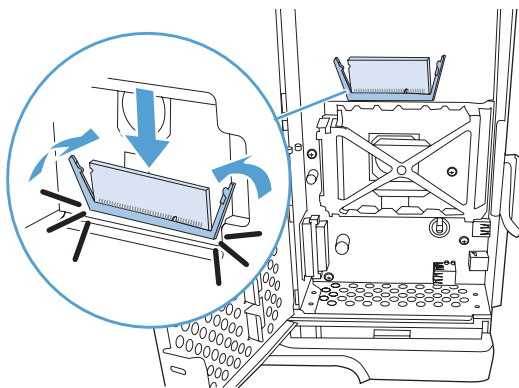
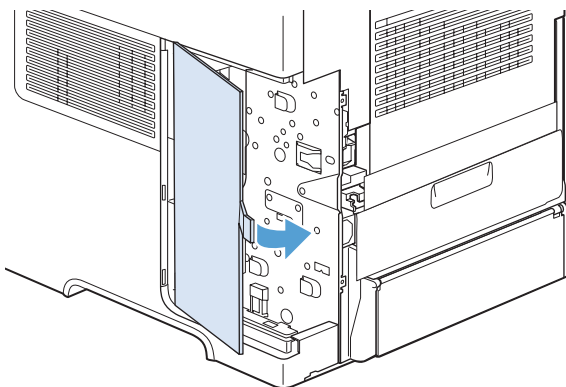
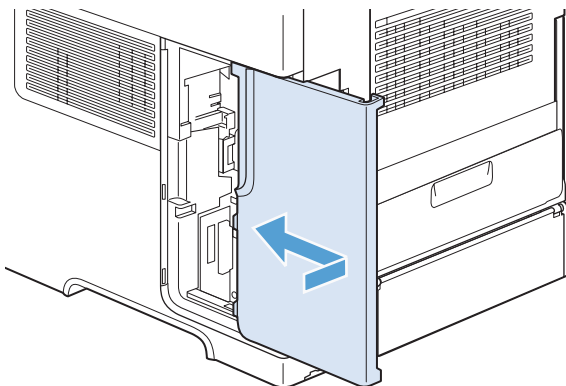
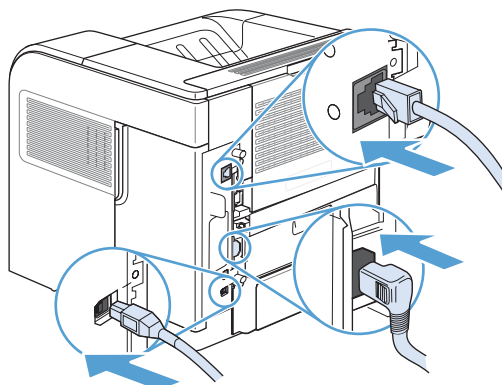
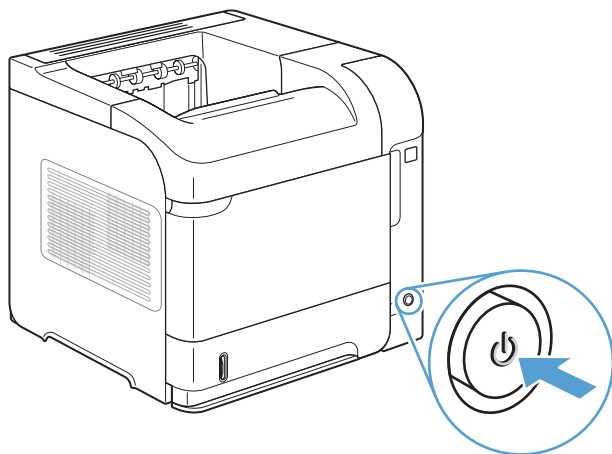
1. メモリを増設する前に、設定ページを印刷して、プリンタにインストールされているメモリの容量を確認してください。

   a. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。

   b. 以下のメニューを開きます。

   - **管理**
   - **レポート**
   - **設定/ステータス ページ**
   - **プリンタ設定ページ**

2. 設定ページを印刷したら、プリンタの電源を切ります。

3. 電源ケーブルとインタフェース ケーブルを取り外します。

4. 右側のパネルをプリンタの後方に向けてスライドさせ、ラッチを外して取り外します。

5. アクセス ドアの金属製のタブを掴んで開きます。

6. 静電気防止パッケージから DIMM を取り出します。

⚠ 注意： 静電気による損傷の危険性を減らすために、常に静電放電 (ESD) リスト ストラップを着用するか、静電防止パッケージの表面に触れてから DIMM に触れるようにしてください。

7. DIMM の両端を持って、DIMM の切りこみ位置と DIMM スロットを合わせます (DIMM スロットの両端のロックが開いていることを確認してください)。

8. DIMM をスロットに差してしっかり押し込みます。DIMM スロットの両端のロックがカチッと音がして固定されたことを確認します。

9. アクセス ドアを閉じて、カチッと音がするまでしっかり押します。

10. 右側のパネルを元のように取り付けます。パネルのタブをプリンタのスロットに合わせて、パネルをプリンタの正面に向かって押し、ラッチをはめて固定します。

11. インタフェース ケーブルと電源コードを接続します。

12. プリンタの電源を入れます。

メモリの有効化

Windows XP、Windows Server 2003、Windows Server 2008、および Windows Vista	1. [**起動**] をクリックします。 2. [**設定**] をクリックします。 3. [**プリンタと FAX**] (デフォルトの [スタート] メニュー表示を使用) をクリックするか、[**プリンタ**] (クラシック [スタート] メニューを使用) をクリックします。 4. プリンタ ドライバのアイコンを右クリックし、[**プロパティ**]を選択します。 5. [**デバイスの設定**] タブをクリックします。 6. [**インストール可能オプション**] 領域を拡張します。 7. [**自動構成**] の隣から [**今すぐ更新**] を選択します。 8. [**OK**] をクリックします。 注記： [**今すぐ更新**] オプションを使用した後もメモリが正しくアップデートされていない場合は、[**インストール可能オプション**] 領域で、プリンタに取り付けられているメモリの総容量を手動で選択します。 [**今すぐ更新**] オプションを選択すると、既存のプリンタ設定内容がすべて上書きされます。
Windows 7	1. [**起動**] をクリックします。 2. [**デバイスとプリンター**] をクリックします。 3. プリンタ ドライバのアイコンを右クリックし、[**プリンタのプロパティ**]を選択します。 4. [**デバイスの設定**] タブをクリックします。 5. [**インストール可能オプション**] 領域を拡張します。 6. [**自動構成**] の隣から [**今すぐ更新**] を選択します。 7. [**OK**] をクリックします。 注記： [**今すぐ更新**] オプションを使用した後もメモリが正しくアップデートされていない場合は、[**インストール可能オプション**] 領域で、プリンタに取り付けられているメモリの総容量を手動で選択します。 [**今すぐ更新**] オプションを選択すると、既存のプリンタ設定内容がすべて上書きされます。
Mac OS 10.5 および 10.6 の場合	1. アップルメニュー から、[**システム環境設定**] メニューをクリックし、[**プリントとファクス**] アイコンをクリックします。 2. ウィンドウの左側でプリンタを選択します。 3. [**オプションとサプライ品**] ボタンをクリックします。 4. [**ドライバ**] タブをクリックします。 5. インストールされているオプションを設定します。

DIMM の取り付けの確認

DIMM を取り付けたら、正しく取り付けられていることを確認します。

1. プリンタの電源を入れます。プリンタの起動処理が終了したら、印字可ランプ◯ が点灯していることを確認します。エラー メッセージが表示された場合は、DIMM が正しく取り付けられていない可能性があります。

2. 設定ページを印刷します。

3. この設定ページと、メモリを取り付ける前に印刷した設定ページのメモリ セクションを比較します。メモリ容量が増えていなければ、DIMM が正しく取り付けられていないか、DIMM に欠陥がある可能性があります。取り付け手順を繰り返してください。必要に応じて、別の DIMM を取り付けます。

注記： プリンタ言語 (パーソナリティ) をインストールしている場合、設定ページのインストール済みパーソナリティとオプションのセクションを確認してください。新しいプリンタ言語がここにリストされます。

メモリの割り当て

プリンタにダウンロードするユーティリティやジョブにはリソースが含まれます (たとえば、フォント、マクロ、パターンなど)。永久リソースとして指定したリソースは、プリンタの電源を切るまでプリンタのメモリに残っています。

ページ記述言語 (PDL) を使ってリソースを常駐リソースとして指定する場合は、次のガイドラインに従ってください。技術的な詳細については、PCL または PS の該当する PDL 参考資料を参照してください。

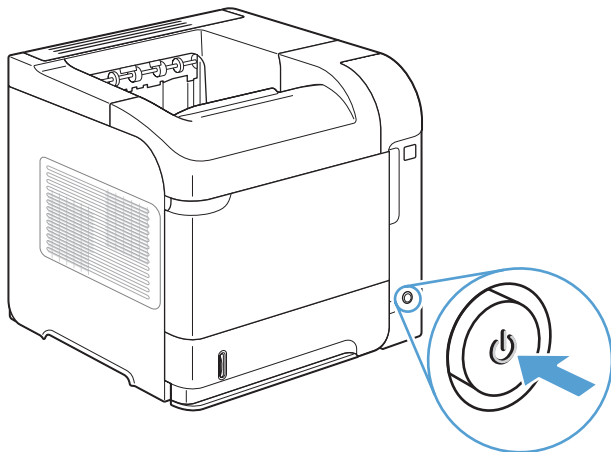
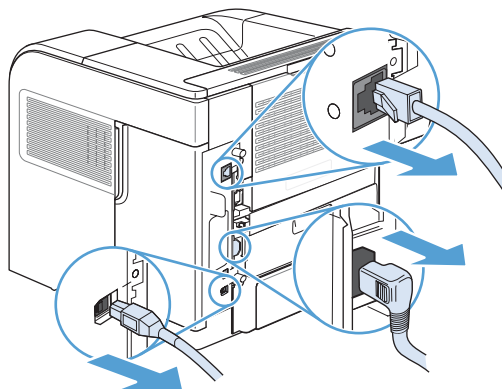
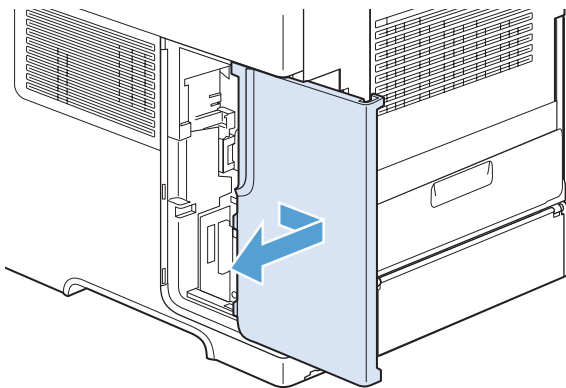
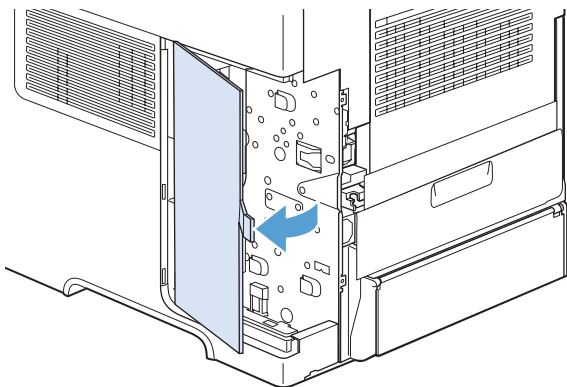
- リソースを永久リソースとして指定するのは、プリンタの電源がオンの間、リソースをメモリ上に必ず残す必要がある場合に限ってください。

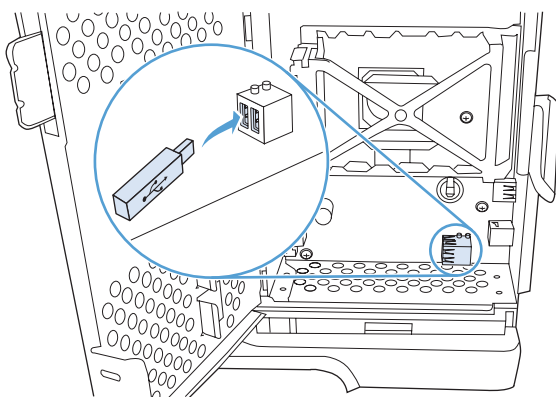
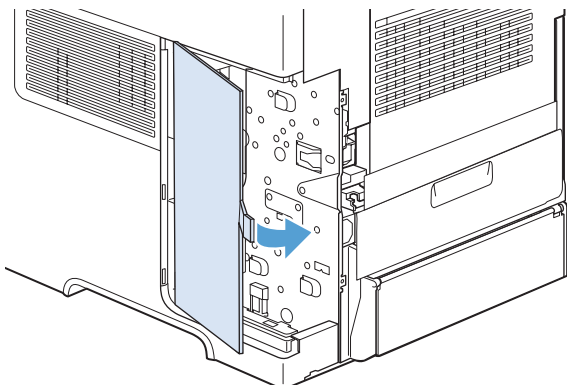
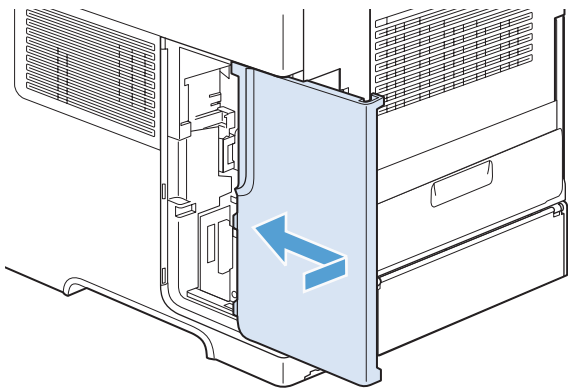
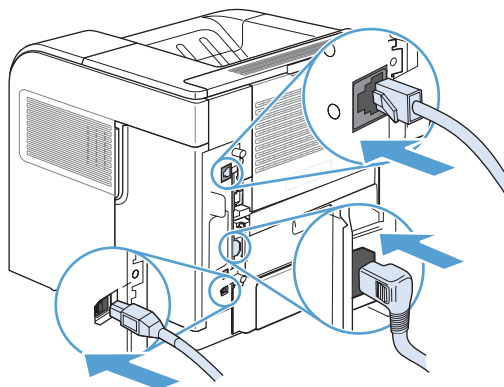
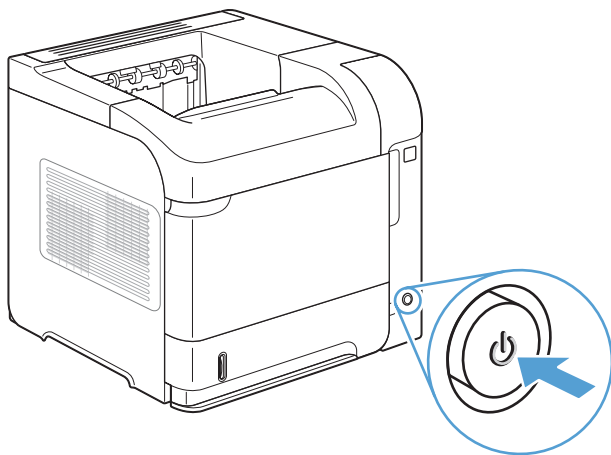
- 永久リソースは必ず印刷ジョブの開始時に送信し、印刷中は送信しないでください。

注記： 永久リソースを使用しすぎたり、プリンタの印刷中に永久リソースをダウンロードすると、プリンタのパフォーマンスが低下したり、複雑なページの印刷に影響することがあります。

内部 USB デバイスの取り付け

プリンタには内部 USB ポートが 2 個あります。

1. プリンタの電源を切ります。

2. 電源ケーブルとインタフェース ケーブルを取り外します。

3. 右側のパネルをプリンタの後方に向けてスライドさせ、ラッチを外して取り外します。

4. アクセス ドアを金属製のつまみをつかんで開きます。

5. フォーマッタ ボードの下方にある USB ポートを探します。USB デバイスをいずれかのポートに挿入します。

⚠ 注意： 静電気によってフォーマッタ ボードが損傷しないよう、片手で金属製のアクセス ドアに触れながら、もう一方の手で USB デバイスを挿入してください。この手順の実行中にプリンタから離れた場合は、必ず金属製のアクセス ドアに触れて放電してから続行してください。

6. アクセス ドアを閉じ、カチッと音がするまでしっかりと押します。

7. 右側のパネルを元のように取り付けます。パネルのタブをプリンタのスロットに合わせて、パネルをプリンタの正面に向かって押し、ラッチをはめて固定します。

8. インタフェース ケーブルと電源コードを接続します。

9. プリンタの電源を入れます。

プリンタのクリーニング

プリンタ外部をクリーニングする際は、濡らした柔らかい布をよく絞って使用してください。

用紙経路のクリーニング

1. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。
2. 以下のメニューを開きます。
   - **プリンタのメンテナンス**
   - **校正/クリーニング**
3. [**クリーニング ページの印刷**] 項目を選択し、OK ボタンを押してページを印刷します。
4. クリーニング処理には数分かかることがあります。クリーニングが完了したら、印刷されたページは破棄してください。

製品のアップデート

HP は、製品ファームウェアの機能を随時更新しています。最新機能を利用するには、製品ファームウェア更新処理を実行してください。最新のファームウェアをダウンロードするには、www.hp.com/go/lj600Series_firmware にアクセスしてください。

10 問題の解決

セルフ ヘルプ

このガイドの情報の他にも、役に立つ情報を提供するソースが利用可能です。

クイック リファレンス トピック	このプリンタに関するさまざまなクイック リファレンス トピックが Web サイト www.hp.com/support/lj600Series にあります。 これらのトピックを印刷してプリンタの近くに置いておくことができます。印刷したトピックは、頻繁に実行する手順の簡易リファレンスとなります。
コントロール パネルのヘルプ	コントロール パネルには、プリント カートリッジの交換、紙詰まりの解消などのさまざまな作業の手順を示すヘルプが組み込まれています。ヘルプ システムを開くには、ヘルプ ボタン ? を押します。

問題解決チェックリスト

プリンタに関する問題を解決しようとしている場合は、次の手順を実行します。

1. プリンタの印字可ランプ が点灯していることを確認します。ランプが点灯していない場合は、次の手順を実行します。
   a. 電源ケーブルの接続を確認します。
   b. 電源が入っていることを確認します。
   c. プリンタの電源設定の線間電圧が正しいことを確認します (プリンタの背面にあるラベルに電圧要件が記載されています)。電源タップを使用していて、その電圧が仕様の範囲外の場合は、プリンタを壁のコンセントに直接つなぎます。すでに壁のコンセントにつないでいる場合は、別のコンセントで試してみます。
   d. いずれの方法でも電源が回復しない場合は HP カスタマ ケアまでご連絡ください。
2. ケーブル接続を確認します。
   a. プリンタとコンピュータまたはネットワーク ポート間のケーブル接続をチェックし、きちんと接続されていることを確認します。
   b. 可能な場合は別のケーブルを使用して、ケーブル自体に不具合がないかどうかを確認します。
   c. ネットワーク接続を確認します。
3. コントロール パネルに印字可のステータスが表示されます。エラー メッセージが表示されている場合は、そのエラーを解決します。
4. 使用している用紙が仕様を満たしていることを確認します。
5. 設定ページを印刷します。プリンタがネットワークに接続されている場合は、HP JetDirect のページも印刷されます。
   a. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。
   b. 以下のメニューを開きます。
      - **管理**
      - **レポート**
      - **設定/ステータス ページ**
      - **プリンタ設定ページ**
   c. OK ボタンを押します。

   ページが印刷されない場合は、少なくとも 1 つのトレイに用紙がセットされていることを確認します。

   プリンタに紙詰まりが発生している場合は、コントロール パネルの指示に従って紙詰まりを解消します。

6. 設定ページが印刷された場合は、次の項目を確認します。

   a. ページが正しく印刷されない場合は、プリンタのハードウェアに問題があります。HP カスタマ ケアにお問い合わせください。

   b. ページが正しく印刷された場合は、プリンタのハードウェアは動作しています。お使いのコンピュータ、プリンタ ドライバ、またはプログラムに問題があります。

7. 次のオプションのいずれかを選択します。

   Windows の場合 : [**スタート**] をクリックし、[**設定**]、[**プリンタ**] または [**プリンタと FAX**] をクリックします。プリンタ名をダブルクリックします。

   または

   Mac OS X の場合 : [**プリンタ設定ユーティリティ**] または [**プリントとファクス**] リストを開き、該当するプリンタの行をダブルクリックします。

8. 本製品用のプリンタ ドライバをインストールしていることを確認します。プログラムをチェックして、本製品用のプリンタ ドライバを使用していることを確認します。プリンタ ドライバはプリンタに同梱されている CD に収録されています。プリンタ ドライバは、次の Web サイトからダウンロードすることもできます。www.hp.com/support/lj600Series。

9. 過去に正しく機能していた別のプログラムを使用して、簡単なドキュメントを印刷します。これで問題が解決される場合は、問題はご使用のプログラムにあります。これで問題が解決されない (ドキュメントが印刷されない) 場合は、次の手順を実行してください。

   a. プリンタのソフトウェアがインストールされている別のコンピュータからジョブを印刷してみます。

   b. プリンタをネットワークに接続している場合、USB ケーブルを使用して、プリンタとコンピュータを直接接続します。プリンタを正しいポートに付け替えるか、ソフトウェアを再インストールします。このとき、使用している新しい接続タイプを選択します。

プリンタのパフォーマンスに影響する要因

印刷の所要時間は、次のような要因に影響されます。

- ページ数/分 (ppm) で測定されるプリンタの最大速度
- 特殊な用紙の使用 (OHP フィルム、厚手の用紙、カスタム サイズの用紙など)
- プリンタの処理時間およびダウンロード時間
- グラフィックスの複雑さおよびサイズ
- 使用しているコンピュータの速度
- USB 接続
- プリンタの I/O 設定
- ネットワーク オペレーティング システムおよび構成 (使用可能な場合)
- 使用しているプリンタ ドライバ

出荷時の設定に戻す

1. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。
2. 以下のメニューを開きます。
   - **管理**
   - **全般的な設定**
   - **出荷時の設定に戻す**
3. OK ボタンを押します。

コントロールパネルのメッセージ

コントロール パネルのメッセージのタイプ

プリンタのステータスや問題を示すメッセージには、次の 4 種類あります。

メッセージの種類	説明
ステータス メッセージ	現在のプリンタの状態を示します。プリンタの動作状態を表しているので、メッセージを消す必要はありません。プリンタの状態が変わるとメッセージも変わります。プリンタがオンラインになっていて、使用中ではなく印刷待ちの状態で、保留の警告メッセージもない場合は常に「**印字可**」と表示されます。
警告メッセージ	警告メッセージは、データおよび印刷エラーをユーザーに通知します。これらのメッセージは通常、**印字可** またはステータス メッセージと交互に表示され、[OK] ボタンを押すまで表示されたままになります。クリア可能な警告メッセージもあります。[**解除可能な警告**] メニューの [**表示設定**] メニューが [**ジョブ**] オプションに設定されている場合は、次の印刷ジョブによってメッセージがクリアされます。
エラー メッセージ	エラー メッセージは、用紙の補給や紙詰まりの解消など、何らかの処置が必要なことを通知します。 自動継続可能なエラー メッセージもあります。[**表示設定**] メニューの [**継続可能なイベント**] メニューが [**自動継続**] オプションに設定されている場合は、このエラー メッセージが 10 秒間表示された後、通常の動作が続行されます。 注記： 10 秒間のエラー メッセージの表示中に任意のボタンを押すと、表示機能が無効になり、ボタンの機能が優先されます。たとえば、停止⊗ ボタンを押すと、印刷が一時停止し、印刷ジョブをキャンセルするオプションが表示されます。
重大なエラー メッセージ	プリンタが故障していることを示します。プリンタの電源をいったん切って入れ直すと、一部のメッセージを消去できます。これらのメッセージには、[**自動継続**] 設定は影響しません。重大なエラー メッセージが消えない場合は、カスタマ ケア センタへご連絡ください。

コントロール パネルのメッセージ

このプリンタのコントロール パネルには、堅牢なメッセージ機能が備わっています。コントロール パネルにメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って問題を解決してください。プリンタに「エラー」または「注意」というメッセージが表示された場合に問題の解決手順が表示されないときは、プリンタの電源を切って入れ直してください。プリンタの問題が解決しない場合は、HP サポートまでご連絡ください。

さまざまなトピックに関する詳細情報については、ヘルプ ボタン ? を押します。

正しく給紙されないか紙詰まりが発生する

用紙が給紙されない

用紙がトレイから給紙されない場合は、次の解決方法を試します。

1. プリンタを開き、紙が詰まっている場合は取り除きます。
2. ジョブに適したサイズの用紙をトレイにセットします。
3. 用紙サイズに合わせてトレイの用紙ガイドが調整されていることを確認します。トレイの適切な目印に合わせてガイドを調整します。
4. プリンタのコントロール パネルをチェックして、手差しで給紙するようにというメッセージに確認応答するのをプリンタが待機しているかどうか確認します。用紙をセットし、続行します。

複数枚の用紙がピックアップされる

トレイから複数枚の用紙がピックアップされる場合、次の解決策を試してください。

1. トレイから用紙の束を取り出し、さばき、左右を入れ替え、裏返します。*用紙に風をあてないでください。* 用紙の束をトレイに戻します。
2. このプリンタに関する HP の仕様を満たす用紙だけを使用します。
3. しわ、折り目、損傷などがない用紙を使用します。必要があれば、別のパッケージの用紙を使用します。
4. トレイから用紙があふれていないかどうかを確認します。あふれている場合は、用紙の束全体をトレイから取り出し、束をまっすぐ揃え、その一部をトレイに戻します。
5. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。用紙ガイドは、用紙の束にちょうど触れる位置に動かします。用紙がたわまないようにします。

紙詰まりを防ぐ

紙詰まりを減らすには、次の解決策を試してください。

1. このプリンタに関する HP の仕様を満たす用紙だけを使用します。
2. しわ、折り目、損傷などがない用紙を使用します。必要があれば、別のパッケージの用紙を使用します。
3. プリントまたはコピーされた用紙でない、新品の用紙を使用します。
4. トレイから用紙があふれていないかどうかを確認します。あふれている場合は、用紙の束全体をトレイから取り出し、束をまっすぐ揃え、その一部をトレイに戻します。

5. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。用紙ガイドは、用紙の束にちょうど触れる位置に動かします。用紙がたわまないようにします。

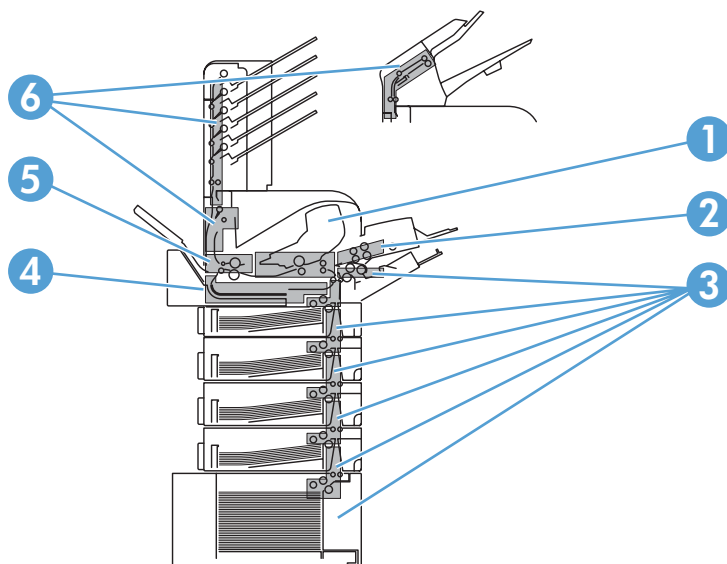
6. トレイがプリンタにしっかり挿入されているかどうかを確認します。

7. 厚紙、エンボス加工された用紙、またはミシン目が入っている用紙にプリントする場合、手動用紙送り機能を利用し、一度に 1 枚ずつ用紙を送ります。

紙詰まりの除去

紙詰まりの場所

コントロール パネルに紙詰まりを示すメッセージが表示されたら、紙などの印刷メディアが、下図のどの場所で詰まっているかを確認します。次に、紙詰まりを除去する手順を実行します。紙詰まりメッセージで指示された以外の場所についても、確認が必要な場合もあります。紙詰まりが発生している場所が分からない場合は、まずプリント カートリッジの下にある上部カバー部分を調べます。

紙詰まりを除去するときは、用紙が破れないように十分に注意してください。プリンタ内にわずかな紙片でも残っていると、再び紙詰まりが発生するおそれがあります。

1	上部カバーおよびプリント カートリッジ エリア
2	オプションの封筒フィーダ
3	トレイ エリア (トレイ 1、トレイ 2、オプションのトレイ)
4	オプションの両面印刷ユニット
5	フューザ エリア
6	排紙エリア (上部ビン、後部ビン、およびオプションのスタッカ、ステイプラ/スタッカ、または 5 ビン メールボックス)

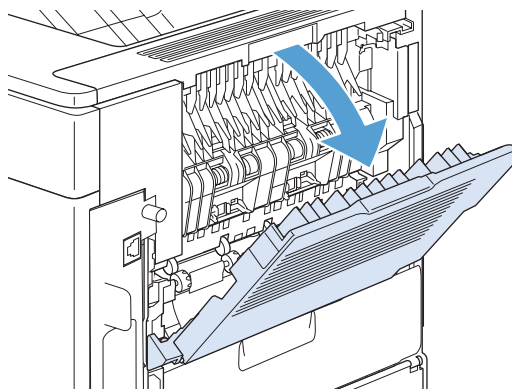
注記： 紙詰まりが発生すると、乾いていないトナーがプリンタ内部に付着するため、印刷の品質が一時的に悪くなります。この問題は、数ページ印刷すると解消します。

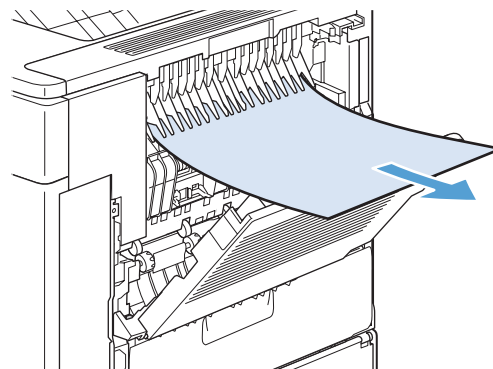
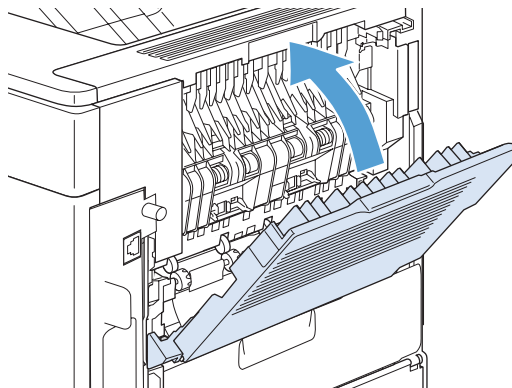
排紙エリアから紙詰まりを除去する

後部排紙ビン、オプションのスタッカ、ステイプラ/スタッカ、または 5 ビン メールボックスで発生した紙詰まりを除去するには、次の手順を実行します。

後部排紙ビンから紙詰まりを除去する

1. 後部排紙ビンを開きます。

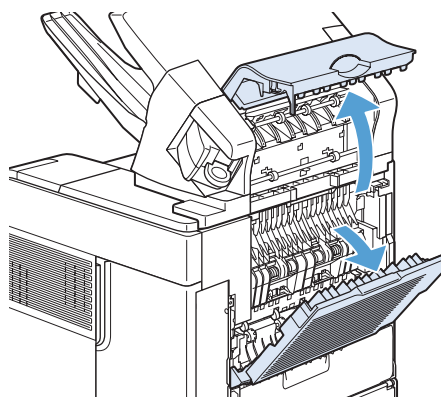
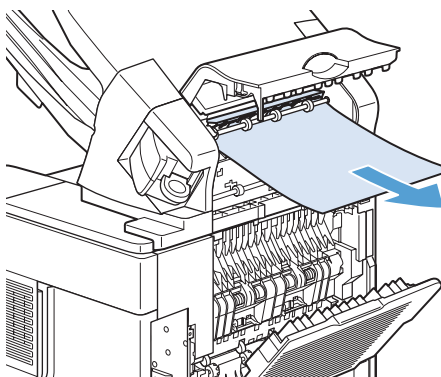
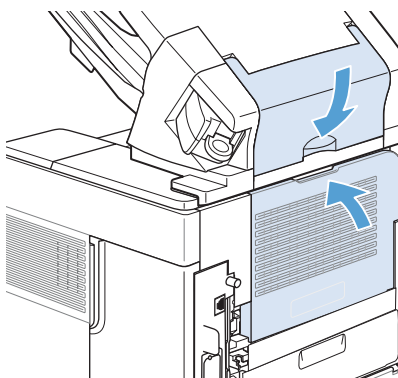
   注記： プリンタ内に残っている用紙が多い場合は、上部カバー内から取り除く方が簡単です。

2. 用紙の両端をしっかりとつまんで、詰まった用紙をゆっくりと丁寧に引き出します。乾いていないトナーが用紙に付着している場合があります。この場合、衣服や身体に付かないように、また製品内部に落ちないように注意してください。

   注記： 詰まった用紙を取り出しにくい場合は、上部カバーを完全に開いて、用紙に圧力がかからないようにしてみてください。用紙が破れている場合や用紙を取り除けない場合は、フューザー付近の紙詰まりを解消します。

3. 後部排紙ビンを閉じます。

4. 紙詰まりメッセージが消えない場合は、プリンタ内にまだ用紙が詰まっています。他の場所で紙が詰まっていないか確認してください。

オプションのスタッカまたはステイプラ/スタッカの詰まりを除去する

オプションのスタッカ、またはステイプラスタッカで紙詰まりが発生することがあります。ステイプル詰まりは、オプションのステイプラ/スタッカでのみ発生します。

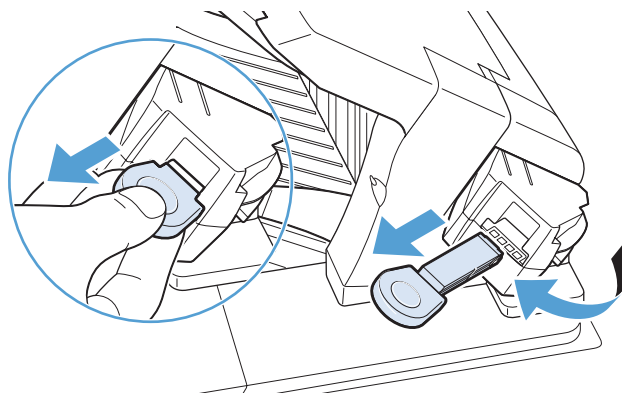
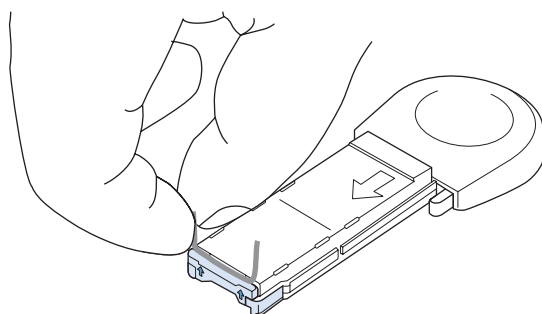
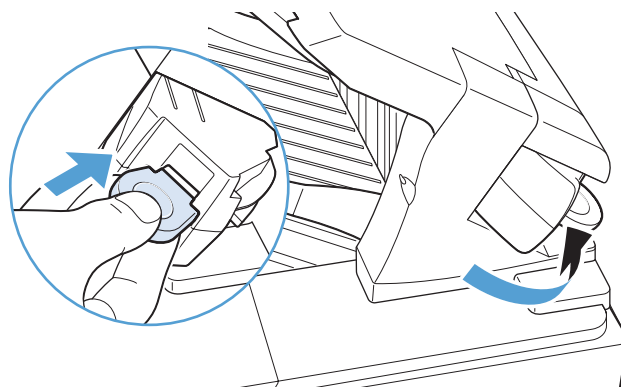
オプションのスタッカ、またはステイプラ/スタッカから紙詰まりを除去する

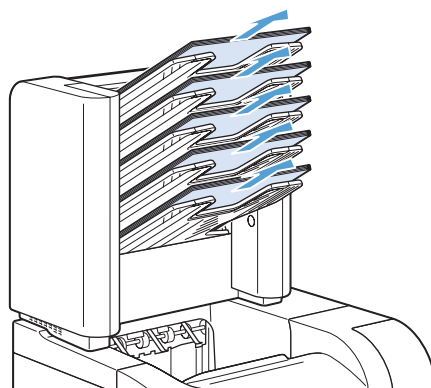
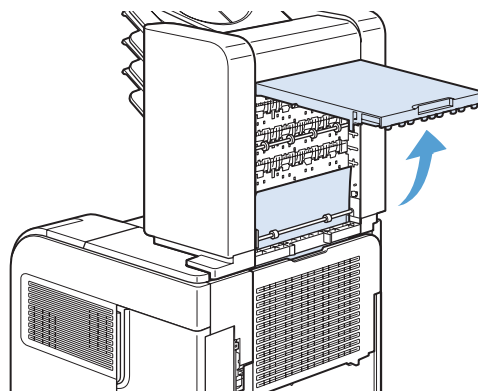
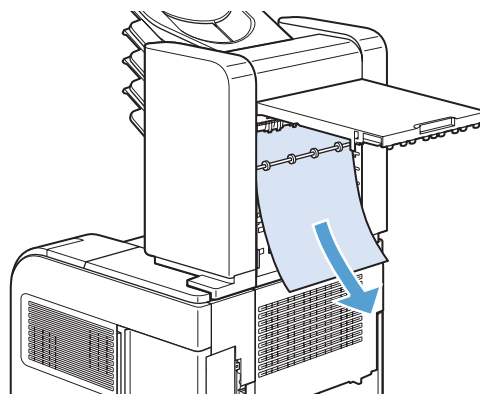
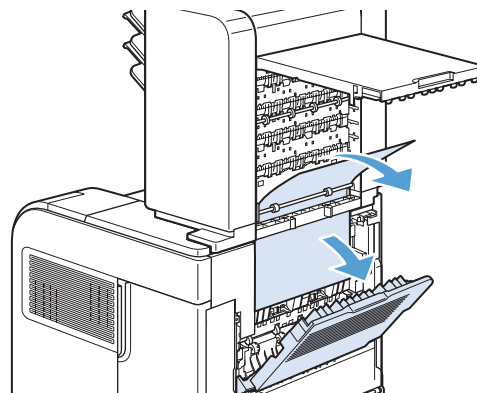
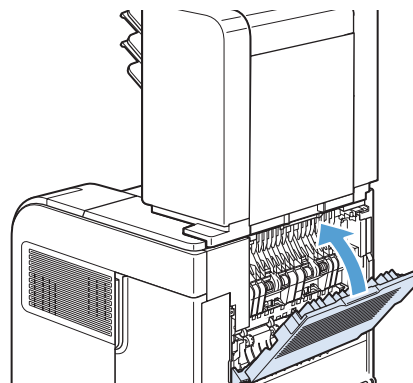
1. プリンタの背面から、スタッカまたはステイプラ/スタッカのドアを開き、後部排紙ビンを開きます。

2. 詰まった用紙を注意しながら取り除きます。

3. スタッカまたはステイプラ/スタッカのドアを閉じ、後部排紙ビンを閉じます。

4. 紙詰まりメッセージが消えない場合は、プリンタ内にまだ用紙が詰まっています。他の場所で紙が詰まっていないか確認してください。アクセサリの前面を調べ、紙が詰まっている場合はそっと取り除きます。

   注記： 印刷を続行するには、排紙ビンを一番下の位置まで押し下げる必要があります。

オプションのステイプラ/スタッカからステイプル詰まりを除去する

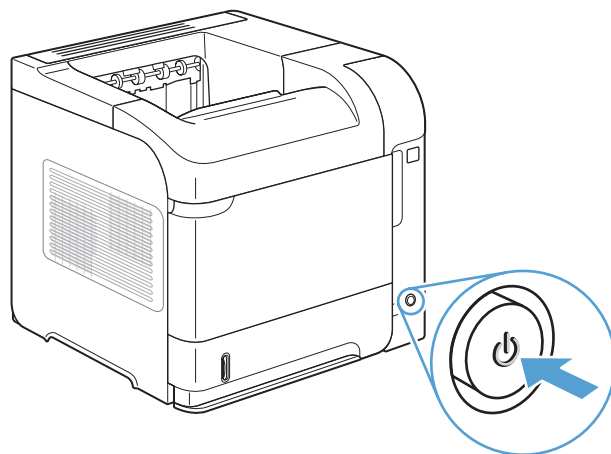
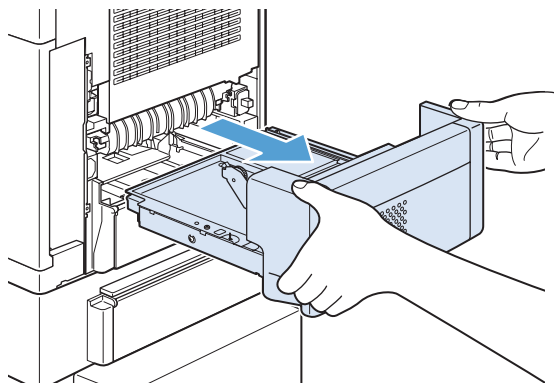
ステイプラは、ステイプル詰まりを除去してからセットし直す必要があるため、最初の数枚のドキュメントがステイプルされない場合があります。印刷ジョブが送られた際に、ステイプルが詰まったり、なくなったりしても、ジョブはスタッカ ビンまでのパスが遮断されない限り印刷を実行します。

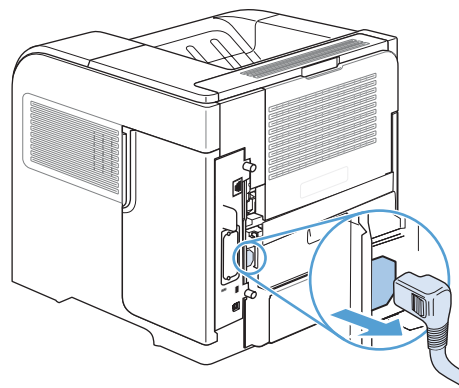
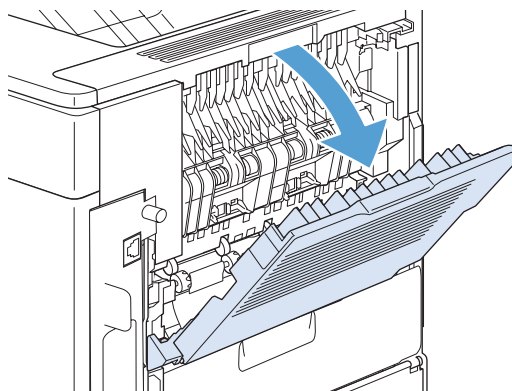
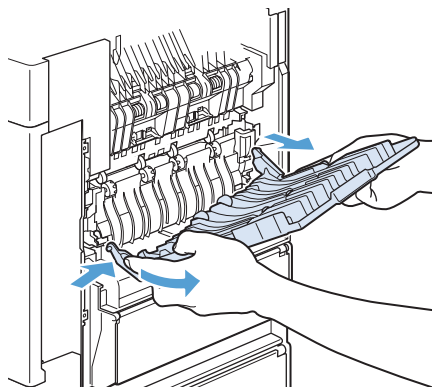
1. ステイプラ/スタッカの右側で、ステイプラ ユニットをプリンタ正面に向けて回します。解除位置になるとカチッという音がします。青いステイプル カートリッジを引き出して取り外します。

2. ステイプル カートリッジの端にある緑のカバーを上に向かって移動し、詰まっているステイプルを取り除きます。

3. ステイプル カートリッジをステイプラ ユニットに差し込み、ステイプラ ユニットをプリンタ後部に向けて回します。完全に固定されるとカチッという音がします。

オプションの 5 ビン メールボックスから紙詰まりを除去する

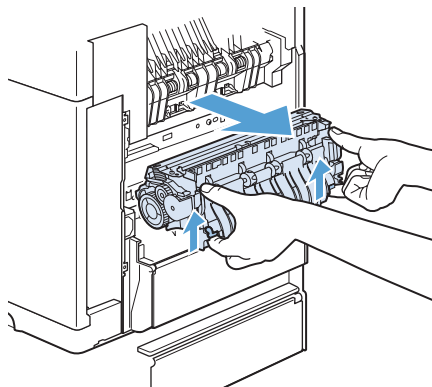
1. 排紙ビンからすべての用紙を取り除きます。

2. 5 ビン メールボックスの背面にある紙詰まりアクセス ドアを開きます。

3. 5 ビン メールボックスの上部に用紙が詰まっている場合は、用紙を下方向にまっすぐに引いて取り除きます。

4. 5 ビン メールボックスの下部に用紙が詰まっている場合は、後部排紙ビンを開き、上方向にまっすぐに引いて取り除きます。

5. 紙詰まりアクセス ドア、後部排紙ビンの順に閉じます。

フューザ エリアから紙詰まりを除去する

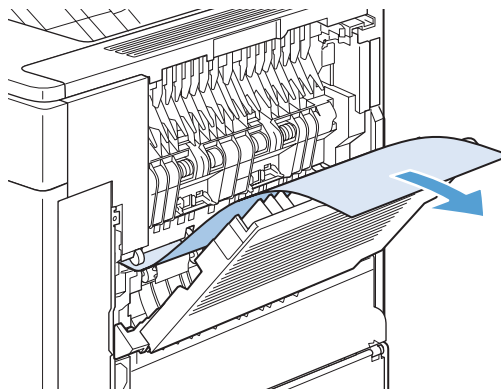
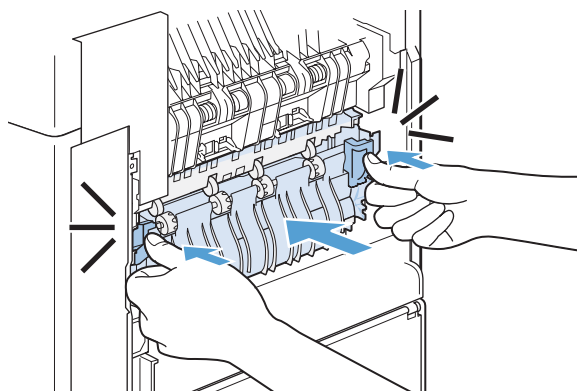
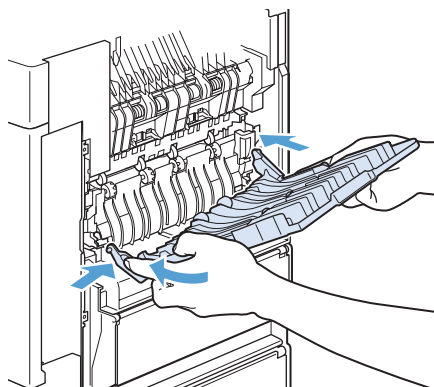
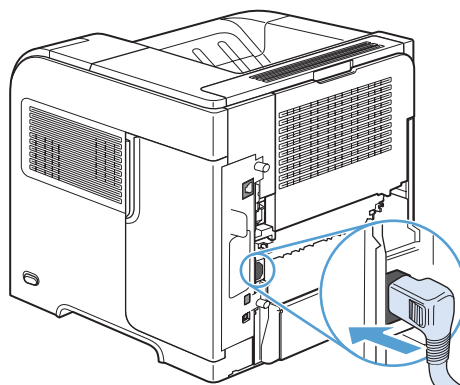
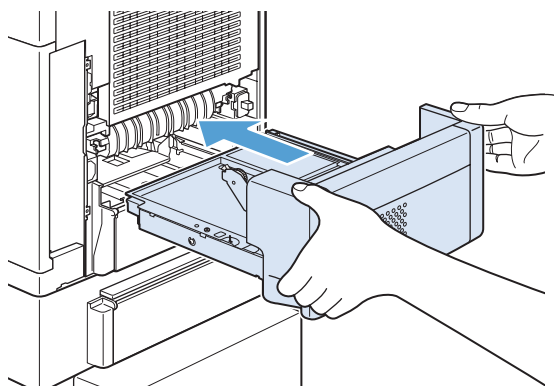
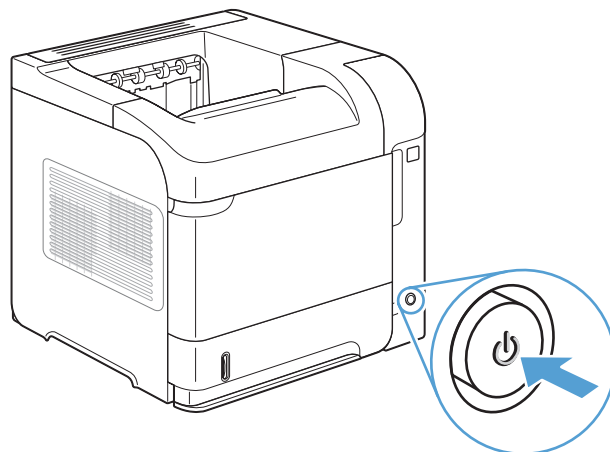
次の場合にのみ、以下の手順を実行してください。

- フューザ内部で紙詰まりが発生し、上部カバーエリアまたは後部排紙エリアから用紙を取り除けない場合。
- フューザの紙詰まりを除去しようとして、用紙が破れた場合。

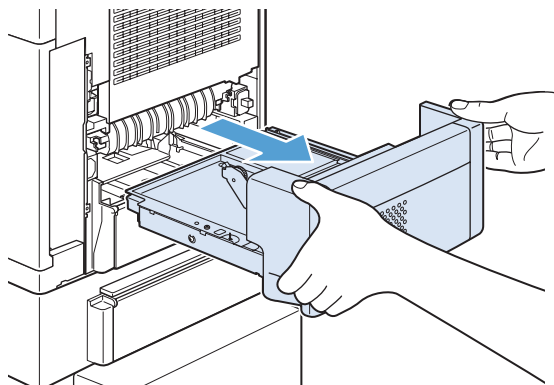
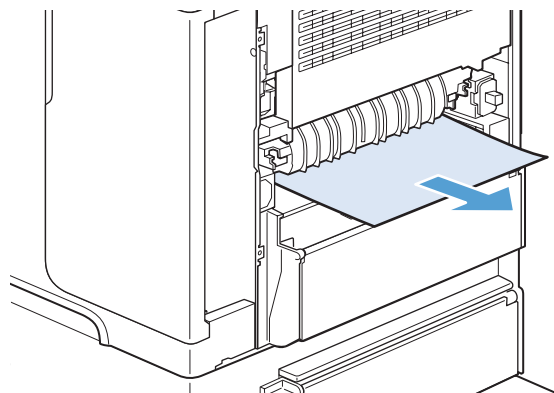
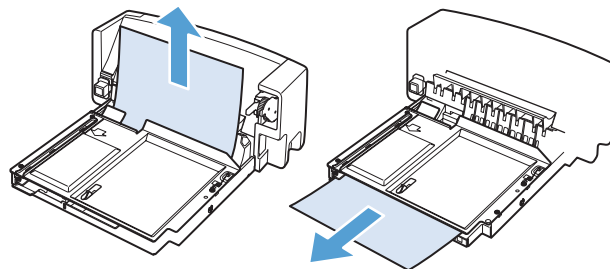
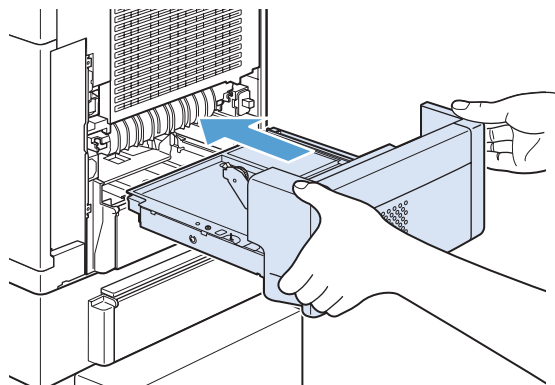
1. プリンタの電源を切ります。

2. プリンタの背面を手前に向けます。オプションの両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、持ち上げてまっすぐに引き出します。ユニットを横に置いておきます。

3. 電源コードを外します。

   警告！ フューザは、非常に熱くなっています。プリンタからフューザを取り外す作業は、フューザが冷めてから火傷をしないように行ってください。

4. 後部排紙ビンを開きます。

5. 後部排紙ビンを取り外します。左側のヒンジに指をあて、ヒンジのピンが本体の穴から外れるまで右側に強く押します。排紙ビンを外側に引き出して取り出します。

6. 詰まっている用紙が見えた場合は、取り除きます。

   見えない場合は、フューザの両側の青いレバーを押し上げ、ヒューザをまっすぐに引き出します。

7. 詰まった紙を取り除きます。必要に応じて、フューザの上部にある黒いプラスチックのガイドを持ち上げて紙を取り除きます。

   注意： フューザ エリアの紙を取り除くのに、尖ったもの、または金属製のものは使用しないでください。フューザを傷める可能性があります。

8. フューザの両側にある青いレバーがカチッとはまるまで、フューザをプリンタに押し込みます。

9. 後部排紙ビンを再び取り付けます。右側のヒンジのピンを本体の穴に差込んでから、左側のヒンジを内側に押し、本体の穴にピンを差込みます。後部排紙ビンを閉じます。

10. 電源コードをプリンタに差し込みます。

11. オプションの両面印刷ユニットを取り外した場合は、それを取り付けます。

12. プリンタの電源を入れます。

13. 紙詰まりメッセージが消えない場合は、プリンタ内にまだ用紙が詰まっています。他の場所で紙が詰まっていないか確認してください。

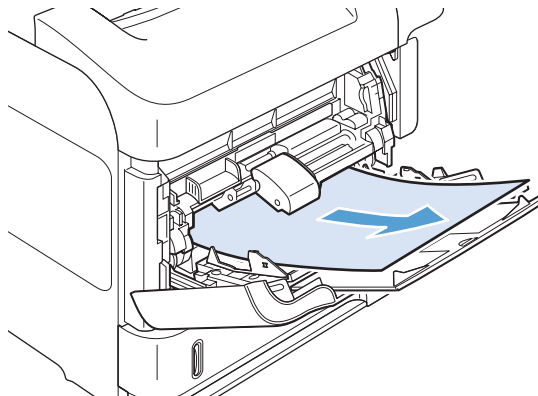
オプションの両面印刷ユニットから紙詰まりを除去する

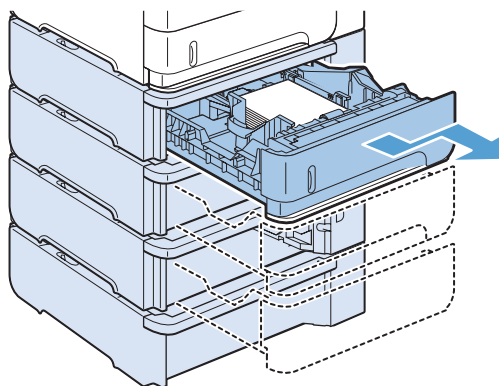
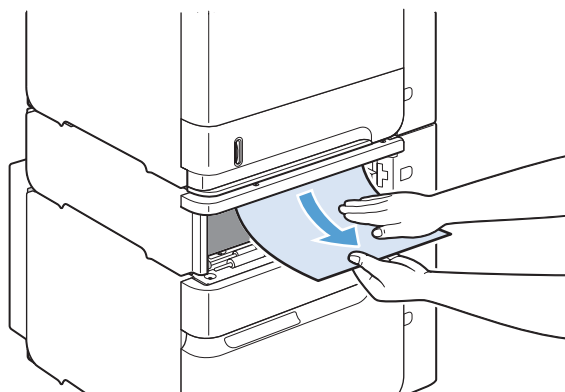
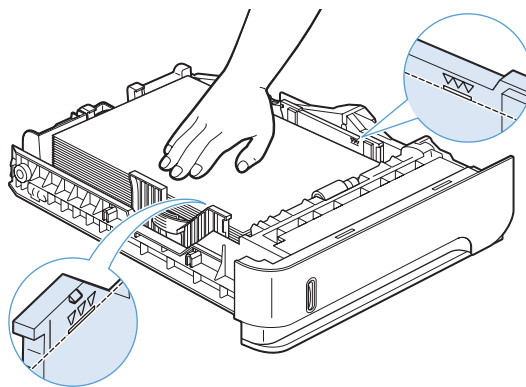
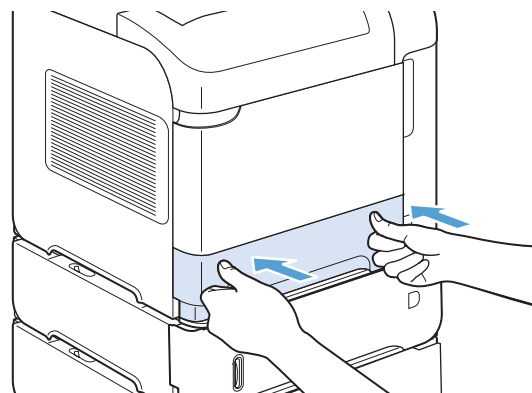
1. オプションの両面印刷ユニットを持ち上げて、引き出します。

2. トレイ 2 の上部に詰まっている用紙を取り除きます (プリンタ内部に手を入れないと取れない場合があります)。

3. 紙が詰まっていれば、詰まっている紙をゆっくりと丁寧にオプションの両面印刷ユニットから引き出します。

4. オプションの両面印刷ユニットをプリンタに差し込みます。

5. 紙詰まりメッセージが消えない場合は、プリンタ内にまだ用紙が詰まっています。他の場所で紙が詰まっていないか確認してください。

トレイから紙詰まりを除去する

トレイの紙詰まりを除去するには、次の手順を実行します。

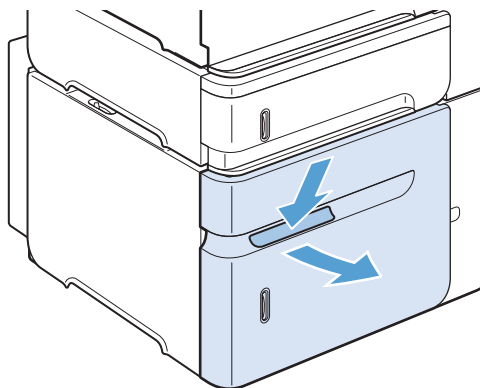
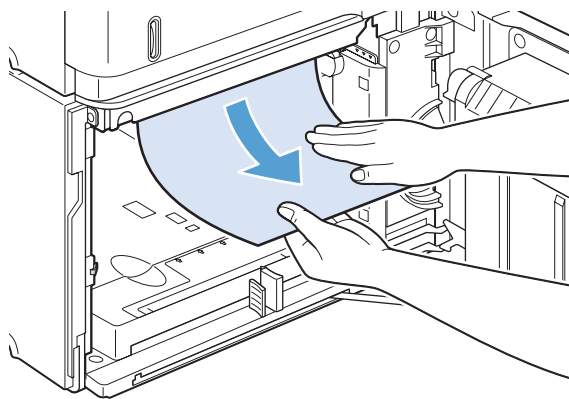
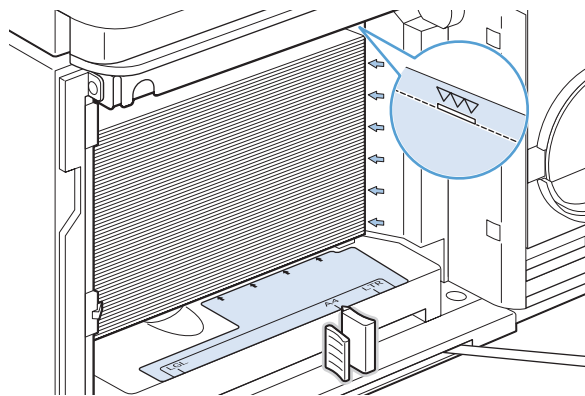
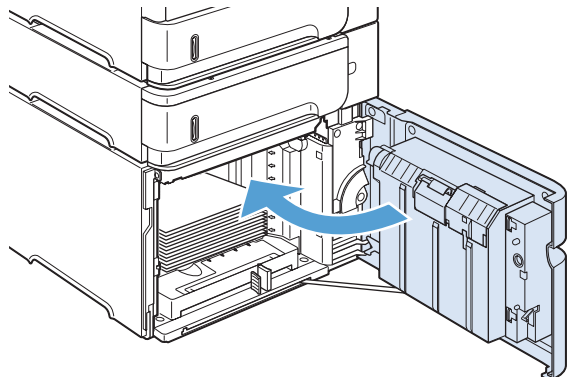
トレイ 1 から紙詰まりを除去する

1. 詰まった用紙を、プリンタからゆっくりと引き出します。

トレイ 2 またはオプションの 500 枚収納用紙トレイから紙詰まりを除去する

1. プリンタからトレイを引き出し、少し持ち上げて、傷んだ用紙があれば取り除きます。

2. 詰まった用紙の端が給紙エリアに見える場合は、ゆっくりと用紙を下向きに引っ張って、プリンタから取り除きます (用紙をまっすぐに引っ張ると破れます)。用紙が見えない場合は、次のトレイまたは上部カバー内を確認してください。

3. トレイの中で、用紙の四隅が平らになっており、用紙が最大許容枚数インジケータより下になっていることを確認します。

4. トレイをプリンタに戻します。

5. OK を押して、紙詰まりメッセージをクリアします。

6. 紙詰まりメッセージが消えない場合は、プリンタ内にまだ用紙が詰まっています。他の場所で紙が詰まっていないか確認してください。

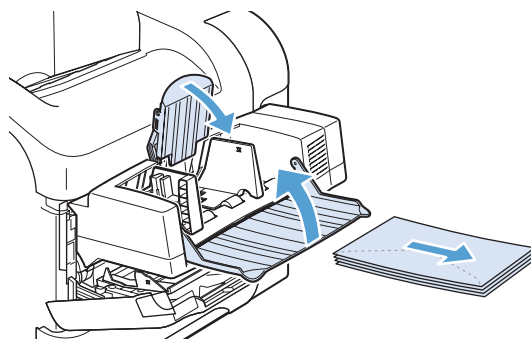
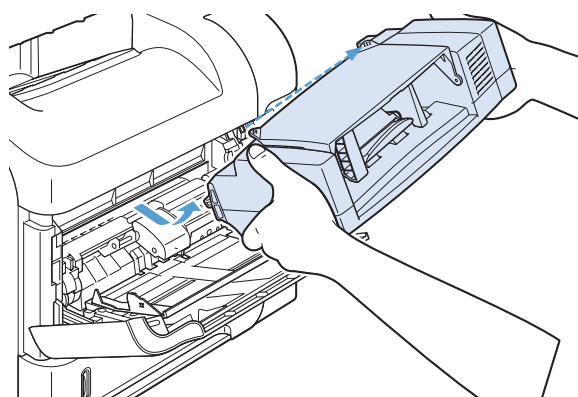
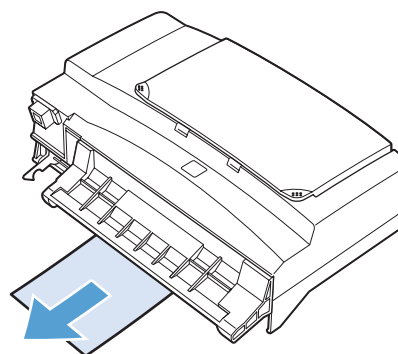
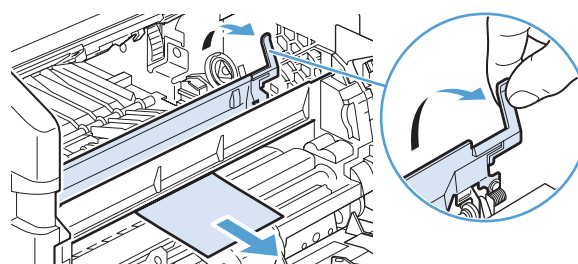
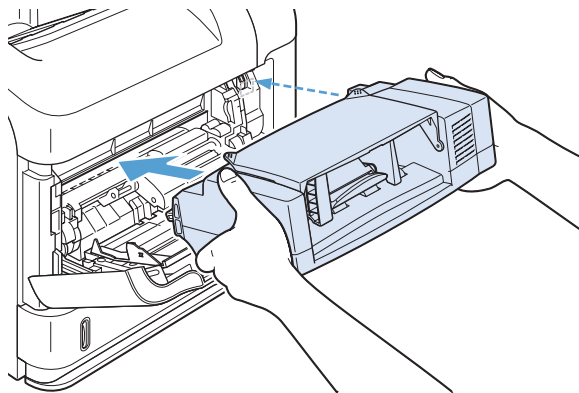
オプションの 1,500 枚収納用紙トレイから紙詰まりを除去する

1. トレイの前面ドアを開きます。

2. 詰まった用紙の端が給紙エリアに見える場合は、ゆっくりと用紙を下向きに引っ張って、プリンタから取り除きます (用紙をまっすぐに引っ張ると破れます)。用紙が見えない場合は、上部カバー内を確認してください。

3. 用紙の量が用紙ガイドの許容枚数の印を超えていないか、また用紙の先端部が矢印に揃っているかを確認します。

4. トレイの前面ドアを閉じます。

5. OK を押して、紙詰まりメッセージをクリアします。

6. 紙詰まりメッセージが消えない場合は、プリンタ内にまだ用紙が詰まっています。他の場所で紙が詰まっていないか確認してください。

オプションの封筒フィーダから紙詰まりを除去する

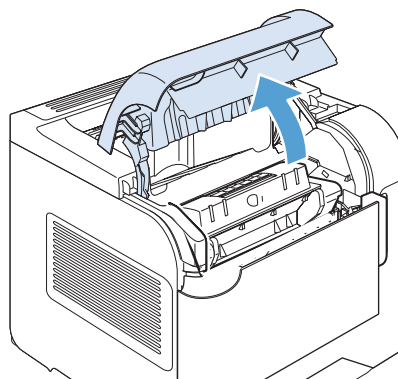
オプションの封筒フィーダを使用しているときに紙詰まりが発生した場合は、次の手順を実行します。

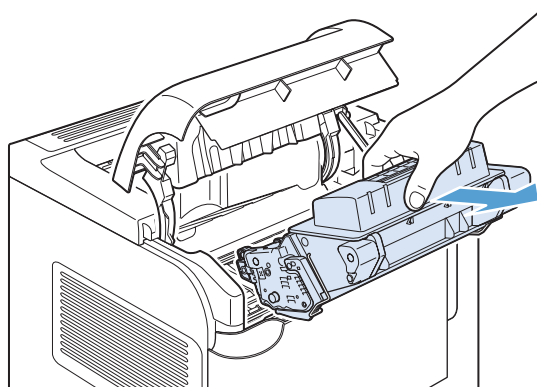
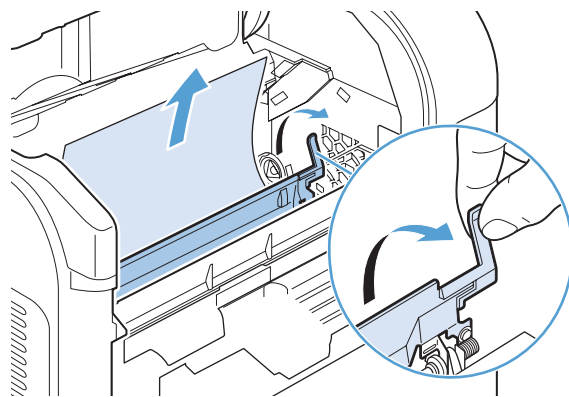
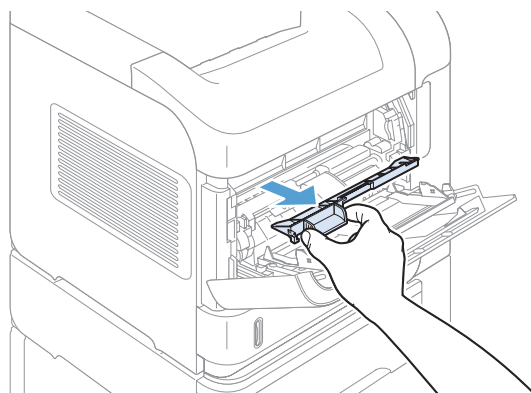
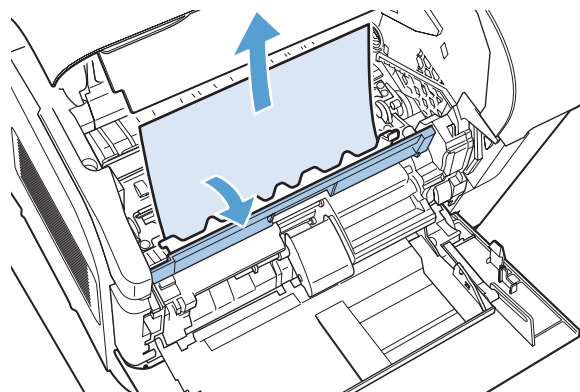
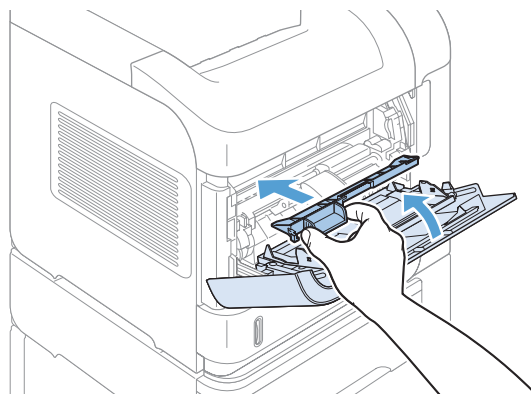
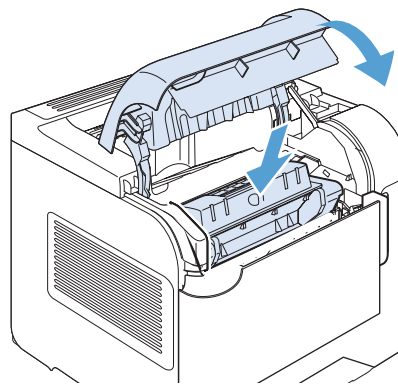
1. オプションの封筒フィーダにセットされている封筒を、すべて取り除きます。封筒押さえレバーを下げ、トレイの延長部分を持ち上げて閉めます。

2. オプションの封筒フィーダの両側をつかみ、フィーダをプリンタから注意深く取り外します。

3. オプションの封筒フィーダから、詰まっている封筒をゆっくりと取り除きます。

4. プリンタから、詰まっている封筒をゆっくりと取り除きます。

5. 封筒フィーダを元のように取り付けます。

6. OK を押して、紙詰まりメッセージをクリアします。

7. 紙詰まりメッセージが消えない場合は、プリンタ内にまだ封筒が詰まっています。他の場所で紙が詰まっていないか確認してください。

8. 別の封筒をセットします。このとき、スタックの下の封筒を上の封筒よりも少し奥に押し込むようにください。

上部カバー内およびプリントカートリッジ エリアから紙詰まりを除去する

1. 上部カバーを開けます。

2. プリント カートリッジを取り外します。

   注意： プリント カートリッジの損傷を防ぐため、数分以上プリント カートリッジに光を当てないでください。プリント カートリッジをプリンタの外に出している間は、カートリッジを紙などで覆ってください。

3. 緑色の取っ手をつかんで、用紙アクセス プレートを持ち上げます。詰まった用紙を、プリンタからゆっくりと引き出します。用紙を破らないようにしてください。ここから用紙を取り除くのが難しい場合は、トレイエリアから取り除いてください。

4. トレイ 1 を開いて､封筒用のアクセサリ カバーを外します。紙があったら、取り除きます。

5. 用紙ガイドを回転させ、下の方に用紙が詰まっていないか確認します。紙が詰まっていたら、取り除きます。

6. 封筒用のアクセサリ カバーを戻し、トレイ 1 を閉じます。

7. プリント カートリッジを元のように取り付け、上部カバーを閉じます。

8. 紙詰まりメッセージが消えない場合は、プリンタ内にまだ用紙が詰まっています。他の場所で紙が詰まっていないか確認してください。

紙詰まり解除の変更

このプリンタには紙詰まり復旧機能が備わっており、詰まったページを再印刷することができます。次のオプションがあります。

- **自動** – 十分なメモリがある場合に、紙詰まりしたページが再印刷されます。これはデフォルト設定です。
- **オフ** – 紙詰まりしたページは再印刷されません。最後の数ページを保存するためにメモリを使用しないので、パフォーマンスは最適化されます。

注記： このオプションを選択した場合、用紙切れの状態で両面印刷を行うと、一部のページが抜けてしまうことがあります。

- **オン** – 紙詰まりしたページが常に再印刷されます。印刷した最後の数ページを保存するために余分なメモリが割り当てられます。このため、パフォーマンスが低下する場合があります。

1. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。
2. 以下のメニューを開きます。
   - **管理**
   - **全般的な設定**
   - **紙詰まり解除**
3. 適切な設定を選択し、OK ボタンを押します。

印刷品質の改善

次のガイドラインに従うことで、印刷品質に関するほとんどの問題を防ぐことができます。

- プリンタ ドライバで正しい用紙タイプ設定を使用します。
- このプリンタの HP 仕様を満たす用紙を使用します。
- プリンタを必要に応じてクリーニングします。
- プリント カートリッジが推定寿命に達し、印刷品質を許容できなくなった場合は、カートリッジを交換します。
- 印刷ニーズに最も合ったプリンタ ドライバを使用します

用紙の種類を選択する

1. プリンタ ドライバを開き、[**プロパティ**] または [**基本設定**] をクリックし、[**Paper/Quality**] (用紙/品質) タブをクリックします。
2. [**Type is**] (用紙タイプ) ドロップダウン リストで用紙タイプを選択します。
3. [**OK**] ボタンをクリックします。

HP の仕様を満たす用紙を使用する

次のいずれかの問題が発生している場合、別の用紙を使用してください。

- プリント結果が薄すぎるか、または部分的に薄いように見える。
- プリントしたページにトナーの粒が付着している。
- プリントしたページがトナーで汚れている。
- プリントした文字がゆがんで見える。
- 印刷したページが丸まっている。

必ず、このプリンタでサポートされているタイプおよび重量の用紙を使用してください。また、用紙選択時に次のガイドラインに従ってください。

- 上質で、切れ目、破れ目、しみ、しわ、穴などがなく、目が粗くなく、ほこりや針が付いておらず、端が曲がっていない用紙を使用します。
- 以前にプリントされたことがない、新品の用紙を使用します。
- レーザー プリンタ用の用紙を使用します。インクジェット プリンタ専用の用紙は使用しないでください。
- ざらざらしすぎていない用紙を使用します。一般に、滑らかな用紙を使用するとプリント品質が向上します。

クリーニング ページの印刷

次のいずれかの問題が発生している場合は、クリーニング ページを印刷し、用紙経路からほこりや過剰なトナーを取り除いてください。

- 印刷されたページにトナーのしみが現れる。
- 印刷されたページがトナーで汚れる。
- 印刷されたページに斑点が繰り返し現れる。

クリーニング ページを印刷するには、次の手順に従います。

1. プリンタのコントロール パネルで ホーム ボタンを押します。
2. 以下のメニューを開きます。
   - **プリンタのメンテナンス**
   - **校正/クリーニング**
3. [**クリーニング ページの印刷**] 項目を選択し、OK ボタンを押してページを印刷します。
4. クリーニング処理には数分かかることがあります。クリーニングが完了したら、印刷されたページは破棄してください。

プリント カートリッジの確認

プリント カートリッジを確認し、次のいずれかの問題が発生している場合は、必要に応じてカートリッジを交換してください。

- 印刷が薄すぎるか、かすれる。
- 印刷されたページに一部印刷されていない領域がある。
- 印刷されたページに筋や帯が生じている。

注記： 下書きまたは EconoMode 印刷設定を使用している場合は、印刷が薄くなることがあります。

プリント カートリッジを交換する必要があると判断した場合は、サプライ品ステータス ページを印刷し、HP 純正プリント カートリッジの製品番号を確認してください。

プリント カートリッジのタイプ	問題を解決する手順
補充または再生プリント カートリッジ	Hewlett-Packard 社は、新品または再生品のどちらについても、HP 製以外のサプライ品の使用は推奨していません。HP 製品ではないため、HP がその設計を変更したり、その品質を管理することはできません。補充または再生プリント カートリッジを使用していて印刷品質に不満を感じている場合は、そのカートリッジを HP 純正カートリッジに交換してください。
HP 純正のプリント カートリッジ	1. カートリッジが指定された寿命に達すると、プリンタのコントロール パネルまたはサプライ品のステータス ページに [**残量ごくわずか**] のステータスが表示されます。適切な印刷品質が得られなくなったら、プリント カートリッジを交換してください。 2. プリント カートリッジに損傷がないか目視で検査します。次の手順を参照してください。必要に応じてプリント カートリッジを交換してください。 3. 印刷されたページに繰り返し同じ間隔で斑点が現れる場合は、クリーニング ページを印刷します。それでも問題が解決されない場合は、本書の「不正な印刷が繰り返される」の情報を活用して問題の原因を特定してください。

印刷ニーズに最も合ったプリンタ ドライバを使用します

印刷されたページで、グラフィックスに予期しない線が現れたり、テキストの欠落、グラフィックスの欠落、書式の誤りがあったり、代替フォントが使用が発生されていたりする場合は、別のプリンタ ドライバを使用してください。

HP PCL 6 ドライバ	• デフォルトのドライバです。他のドライバを選択しない限り、このドライバが自動的にインストールされます。 • すべての Windows 環境用として推奨 • ほとんどのユーザーにとって、最適なスピード、印刷品質、プリント機能を実現 • Windows 環境に最適のスピードを実現する Windows Graphic Device Interface (GDI) 対応設計 • サードパーティのソフトウェア プログラムや、PCL 5 用にカスタマイズされたソフトウェア プログラムと相性が合わない可能性あり
HP UPD PS ドライバ	• Adobe® ソフトウェア プログラムやその他のグラフィック集約型ソフトウェア プログラムでの印刷用として推奨 • Postscript エミュレーションや Postscript Flash フォント サポートの印刷に対応
HP UPD PCL 5	• 一般的なオフィス印刷用 (Windows 環境) として推奨 • これまでの PCL バージョンや HP LaserJet プリンタの旧バージョンに対応 • サードパーティやカスタマイズされたソフトウェア プログラムでの印刷に最適 • PCL 5 を使用している混合環境での使用に最適 (UNIX、Linux、メインフレーム) • 会社での Windows 環境向け使用を目的とした設計となっており、単一のドライバで複数のプリンタ モデルに対応 • Windows 搭載のモバイル コンピュータから複数のプリンタ モデルに印刷する際の使用にお勧め
HP UPD PCL 6	• すべての Windows 環境における推奨ドライバです。 • ほとんどのユーザーにとって、速度、印刷品質、および利用可能なプリンタ機能の面で最高レベルです。 • Windows Graphic Device Interface (GDI) を使用して作成されているので、Windows 環境での動作が高速です。 • サードパーティのソフトウェア プログラムや、PCL 5 用にカスタマイズされたソフトウェア プログラムと相性が合わない可能性あり

次の Web サイトからその他のプリンタ ドライバをダウンロードしてください：www.hp.com/go/lj600Series_software からダウンロードできます。

印刷されない、または印刷速度が遅い

印刷されない

まったく印刷されない場合は、次の解決策を試してください。

1. プリンタの電源が入っているかどうか、および、コントロール パネルの表示が準備完了状態になっているかどうかを確認します。
   - コントロール パネルの表示が準備完了状態になっていない場合、プリンタの電源を入れ直します。
   - コントロール パネルの表示が準備完了状態になっている場合は、ジョブを再実行してみます。
2. コントロール パネルの表示がエラーになっている場合は、そのエラーを解消してからジョブを再実行してみます。
3. ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認します。プリンタをネットワークに接続している場合は、次の項目を確認します。
   - プリンタのネットワーク接続ポートの横にあるランプの状態を確認します。ネットワークが稼動している場合、ランプは緑で点灯します。
   - 電話コードでなくネットワーク ケーブルを使用してネットワークに接続しているかどうかを確認します。
   - ネットワーク ルーター、ハブ、またはスイッチの電源が入っているかどうか、および、それらの装置が正常に動作しているかどうかを確認します。
4. プリンタに付属の CD に収録されている HP 製ソフトウェアをインストールします。汎用プリンタ ドライバを使用すると、プリント キュー内のジョブを消去する処理が遅延する可能性があります。
5. コンピュータに表示されるプリンタのリストで、このプリンタの名前を右クリックして [**プロパティ**] をクリックし、[**ポート**] タブをクリックします。
   - ネットワーク ケーブルを使用してネットワークに接続している場合、[**ポート**] タブに表示されるプリンタ名が、プリンタの設定ページのプリンタ名と一致しているかどうか、を確認します。
   - USB ケーブルを使用して無線ネットワークに接続している場合、[**Virtual printer port for USB**] (USB 用仮想プリンタ ポート) チェックボックスがオンになっているかどうかを確認します。
6. コンピュータ上でパーソナル ファイアウォール システムを使用している場合、プリンタとの通信がブロックされている可能性があります。ファイアウォールを一時的に無効にし、ファイアウォールが問題の原因であるかどうかを確認します。
7. コンピュータまたはプリンタを無線ネットワークに接続している場合、信号品質が低かったり干渉が発生したりすると、印刷ジョブが遅延することがあります。

印刷速度が遅い

印刷はされるが印刷速度が遅いように見える場合は、次の解決策を試してください。

1. コンピュータがこのプリンタの最低要件を満たしているかどうかを確認します。仕様については、www.hp.com/support/lj600Series からダウンロードできます。

2. 一部の用紙タイプ (例: 厚紙) に印刷するようプリンタを設定している場合、印刷速度が遅くなります。これは、トナーを用紙に確実に溶着させるためです。用紙タイプの設定が、実際に使用する用紙のタイプと一致していない場合、設定を正しい用紙タイプに変更します。

スリープ復帰時 USB 印刷の問題の解決

USB アクセサリを挿入したときに [USB から取得] メニューが開かない

1. このプリンタでサポートされていない USB ストレージ アクセサリまたはファイル システムが使用されている可能性があります。ファイル アロケーション テーブル (FAT) ファイル システムを使用する、標準の USB ストレージ アクセサリにファイルを保存してください。プリンタは、FAT12、FAT16、および FAT32 USB ストレージ アクセサリをサポートします。
2. 別のメニューが既に開いている場合は、そのメニューを閉じてから、もう一度 USB ストレージ アクセサリを挿入してください。
3. USB ストレージ アクセサリに複数のパーティションが存在する可能性があります (一部の USB ストレージ アクセサリ メーカーは、アクセサリに、CD に似たパーティションを作成するソフトウェアをインストールしています)。USB ストレージ アクセサリを再フォーマットしてパーティションを削除するか、別の USB ストレージ アクセサリを使用してください。
4. USB ストレージ アクセサリへのプリンタの供給電力が不足している可能性があります。
   a. USB ストレージ アクセサリを取り外します。
   b. プリンタの電源を切って入れ直します。
   c. 電源付きの USB アクセサリ、または消費電力が少ない USB アクセサリを使用します。
5. USB ストレージ アクセサリが正しく機能していない可能性があります。
   a. USB ストレージ アクセサリを取り外します。
   b. プリンタの電源を切って入れ直します。
   c. 別の USB ストレージ アクセサリから印刷を試みます。

USB ストレージ アクセサリのファイルが印刷されない

1. トレイに用紙がセットされているかどうかを確認します。
2. コントロール パネルのメッセージを確認します。紙詰まりが発生している場合は、用紙を取り除いてください。

印刷するファイルが [USB から取得] メニューに一覧表示されない

1. USB 印刷機能でサポートされていないファイル タイプを印刷しようとしている可能性があります。プリンタでサポートされているファイル タイプは、.pdf、.prn、.pcl、.ps、および .cht です。

2. USB ストレージ アクセサリの 1 つのフォルダ内にあるファイルが多すぎる可能性があります。ファイルをサブフォルダに移動して、フォルダ内のファイル数を減らしてください。

3. ファイル名に、プリンタでサポートされていない文字セットが使用されている可能性があります。この場合は、ファイル名に別の文字セットの文字が使用されます。ASCII 文字を使用してファイル名を変更してください。

接続に関する問題の解決

直接接続に関する問題の解決

プリンタとコンピュータを直接接続している場合は、ケーブルを確認します。

- ケーブルがコンピュータとプリンタに接続されていることを確認します。
- ケーブルが 5m 以下であることを確認します。長すぎる場合は、より短いケーブルを使用してみます。
- ケーブルを別のプリンタに接続し、ケーブルが正しく機能していることを確認します。必要に応じて、ケーブルを交換します。

ネットワークに関する問題の解決

以下の項目をチェックし、プリンタがネットワークと通信していることを確認します。ネットワーク接続を確認する前に、プリンタのコントロール パネルを使用して設定ページをプリントし、設定ページにプリントされるこのプリンタの IP アドレスを確認します。

- 物理的な接続の問題
- コンピュータ側で、このプリンタに対して誤った IP アドレスを使用している
- コンピュータがプリンタと通信できない
- ネットワークに対するプリンタのリンク設定と通信方式設定が誤っている
- 新規に導入したソフトウェアにおいて、互換性問題が発生している可能性がある
- コンピュータまたはワークステーションが正しくセットアップされていない可能性がある
- プリンタが無効になっているか、または、その他のネットワーク設定が誤っている

物理的な接続の問題

1. プリンタが、正しい長さのケーブルを使用して、正しいネットワークポートに接続されていることを確認します。
2. ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
3. プリンタ背面のネットワーク ポート接続を見て、黄色の動作ランプおよび緑色のリンク ステータス ランプが点灯していることを確認します。
4. 問題が解消しない場合は、ケーブルを変えるか、ハブの別のポートを試してみます。

コンピュータ側で、このプリンタに対して誤った IP アドレスを使用している

1. プリンタのプロパティ ダイアログ ボックスを開き、[**Ports**] (ポート) タブをクリックします。このプリンタに対して現在の IP アドレスが設定されているかどうかを確認します。プリンタの IP アドレスは、プリンタの設定ページに記載されています。

2. HP 標準の TCP/IP ポートを使用してプリンタを接続した場合、[**Always print to this printer, even if its IP address changes**] (IP アドレスが変更された場合でも常にこのプリンタにプリントする) チェック ボックスをオンにします。

3. Microsoft 標準の TCP/IP ポートを使用してプリンタを接続した場合、IP アドレスではなくホスト名を使用します。

4. IP アドレスが正しい場合は、プリンタを削除して再度追加します。

コンピュータがプリンタと通信できない

1. ping コマンドを実行してネットワーク通信をテストします。

   a. コンピュータでコマンド ライン プロンプトを開きます。Windows の場合は、[**スタート**] メニューの [**ファイル名を指定して実行**] をクリックし、「`cmd`」と入力します。

   b. 「`ping`」と入力し、その後ろにプリンタの IP アドレスを入力し、実行します。

      Mac OS X の場合は、ネットワークユーティリティを開き、[**Ping**] 画面の適切なフィールドに IP アドレスを入力します。

   c. ウィンドウに往復時間が表示される場合、ネットワークは稼動しています。

2. Ping コマンドが失敗した場合は、ネットワーク ハブの電源がオンになっていることを確認した後、ネットワーク設定、プリンタ、およびコンピュータがすべて同じネットワークに構成されていることを確認します。

ネットワークに対するプリンタのリンク設定と通信方式設定が誤っている

この設定を自動モード (デフォルトの設定) のままにしておくことをお勧めします。これらの設定を変更した場合、ネットワーク側でも変更する必要があります。

新規に導入したソフトウェアにおいて、互換性問題が発生している可能性がある

新しいソフトウェア プログラムが正しくインストールされていること、および正しいプリンタ ドライバを使用していることを確認します。

コンピュータまたはワークステーションが正しくセットアップされていない可能性がある

1. ネットワーク ドライバ、プリンタ ドライバ、およびネットワーク リダイレクションを確認します。

2. オペレーティング システムが正しく設定されていることを確認します。

プリンタが無効になっているか、または、その他のネットワーク設定が誤っている

1. 設定ページの内容を確認し、ネットワーク プロトコルのステータスを調べます。必要に応じて、有効にします。

2. 必要に応じて、ネットワークを再設定します。

Windows において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する

製品のプリンタ ドライバが プリンタ フォルダに見当たらない

1. プリンタのソフトウェアを再インストールします。

   注記： 実行中のアプリケーションをすべて終了します。システム トレイにアイコンがあるアプリケーションを終了するには、目的のアイコンを右クリックし、[**閉じる**] または [**無効**] を選択します。

2. USB ケーブルをコンピュータ上の別の USB ポートに接続してみます。

ソフトウェアのインストール中にエラー メッセージが表示された

1. プリンタのソフトウェアを再インストールします。

   注記： 実行中のアプリケーションをすべて終了します。システム トレイにアイコンがあるアプリケーションを終了するには、目的のアイコンを右クリックし、[**閉じる**] または [**無効**] を選択します。

2. プリンタのソフトウェアをインストールするドライブの空き容量を確認します。必要に応じて可能な限り容量を空けて、プリンタのソフトウェアを再インストールします。
3. 必要に応じてデフラグを実行し、プリンタのソフトウェアを再インストールします。

製品は印字可になっているのに、何も印刷されない

1. 設定ページを印刷し、製品の機能を確認します。
2. すべてのケーブルが正しく接続されていて、仕様に合っていることを確認します。USB ケーブルや電源ケーブルなどが対象です。新しいケーブルを使用してみます。
3. 設定ページの IP アドレスがソフトウェア ポートの IP アドレスと一致していることを確認します。次のどちらかの手順に従います。

Windows XP、Windows Server 2003、Windows Server 2008、および Windows Vista

a. [**スタート**] をクリックします。

b. [**設定**] をクリックします。

c. [**プリンタとファックス**] (デフォルトの [スタート] メニュー表示を使用) をクリックするか、[**プリンタ**] (クラシック [スタート] メニューを使用) をクリックします。

d. プリンタ ドライバのアイコンを右クリックし、[**プロパティ**]を選択します。

e. [**ポート**] タブをクリックしてから、[**ポートの設定**] をクリックします。

f. IP アドレスを確認して、[**OK**] または [**キャンセル**] をクリックします。

g. IP アドレスが異なっている場合は、そのドライバを削除し、適切な IP アドレスを使用してドライバを再インストールします。

Windows 7

a. [**スタート**] をクリックします。

b. [**デバイスとプリンター**] をクリックします。

c. プリンタ ドライバのアイコンを右クリックし、[**プリンタのプロパティ**]を選択します。

d. [**ポート**] タブをクリックしてから、[**ポートの設定**] をクリックします。

e. IP アドレスを確認して、[**OK**] または [**キャンセル**] をクリックします。

f. IP アドレスが異なっている場合は、そのドライバを削除し、適切な IP アドレスを使用してドライバを再インストールします。

Mac において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する

- [プリントとファクス] リストにプリンタ ドライバが表示されない
- [プリントとファクス] リストにこのプリンタの名前が表示されない
- [プリントとファクス] リストで選択したプリンタが自動セットアップされない
- 印刷ジョブが、目的のプリンタに送信されない
- USB ケーブルを使用して接続している場合、プリンタ ドライバ選択後に [プリントとファクス] リストにプリンタが表示されない
- プリンタを USB 接続しているときに汎用プリンタ ドライバを使用している

[プリントとファクス] リストにプリンタ ドライバが表示されない

1. プリンタの .gz ファイルがハード ディスク上の `Library/Printers/PPDs/Contents/Resources` フォルダにあるかどうかを確認します。ない場合はソフトウェアを再インストールします。
2. .gz ファイルがこのフォルダにある場合、.ppd ファイルが破損している可能性があります。このファイルを削除し、ソフトウェアを再インストールします。

[プリントとファクス] リストにこのプリンタの名前が表示されない

1. ケーブルが正しく接続されているかどうか、および、プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。
2. 設定ページを印刷し、製品名を確認します。設定ページのプリンタ名が [プリントとファクス] リストのプリンタ名と一致しているかどうかを確認します。
3. USB ケーブルまたはネットワーク ケーブルを高品質ケーブルに交換します。

[プリントとファクス] リストで選択したプリンタが自動セットアップされない

1. ケーブルが正しく接続されているかどうか、および、プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。
2. プリンタの .gz ファイルがハード ディスク上の `Library/Printers/PPDs/Contents/Resources` フォルダにあるかどうかを確認します。ない場合はソフトウェアを再インストールします。
3. .gz ファイルがこのフォルダにある場合、.ppd ファイルが破損している可能性があります。このファイルを削除し、ソフトウェアを再インストールします。
4. USB ケーブルまたはネットワーク ケーブルを高品質ケーブルに交換します。

印刷ジョブが、目的のプリンタに送信されない

1. プリント キューを開き、印刷ジョブを再開します。
2. 同名または類似名の別のプリンタによって印刷ジョブが受信された可能性があります。設定ページを印刷し、製品名を確認します。設定ページのプリンタ名が [プリントとファクス] リストのプリンタ名と一致しているかどうかを確認します。

USB ケーブルを使用して接続している場合、プリンタ ドライバ選択後に [プリントとファクス] リストにプリンタが表示されない

ソフトウェアのトラブルシューティング

▲ Mac OS のバージョンが Mac OS X 10.5 以降であるかどうかを確認します。

ハードウェアのトラブルシューティング

1. プリンタの電源がオンになっているかどうかを確認します。
2. USB ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認します。
3. 適切な高速 USB ケーブルを使用しているかどうかを確認します。
4. USB チェーン上で電力を供給されている USB デバイスの台数が多すぎないかどうかを確認します。USB チェーンからすべてのデバイスを取り外し、USB ケーブルをコンピュータの USB ポートに直接接続します。
5. 独自電源を持たない USB ハブが USB チェーンに 3 台以上接続されていないかどうかを確認します。USB チェーンからすべてのデバイスを取り外し、USB ケーブルをコンピュータの USB ポートに直接接続します。

注記： iMac キーボードは、独自電源を持たない USB ハブです。

プリンタを USB 接続しているときに汎用プリンタ ドライバを使用している

ソフトウェアをインストールする前に USB ケーブルを接続した場合、このプリンタ用のプリンタ ドライバではなく汎用プリンタ ドライバが使用されている可能性があります。

1. 汎用プリンタ ドライバを削除します。
2. プリンタに付属の CD からソフトウェアを再インストールします。ソフトウェアのインストール プログラムから要求されるまで、USB ケーブルを接続しないでください。
3. プリンタを複数台導入している場合、[**Print**] (印刷) ダイアログ ボックスの [**Format For**] (書式設定対象) リストで正しいプリンタを選択しているかどうかを確認します。

A　プリンタのサプライ品とアクセサリ

部品、アクセサリ、およびサプライ品の注文

サプライ品や用紙の注文	www.hp.com/go/suresupply
HP 純正の部品やアクセサリの注文	www.hp.com/buy/parts
サービス代理店経由の注文	HP の正規サービス代理店問い合わせてください。
HP ソフトウェアを使用した注文	151 ページの「HP 内蔵 Web サーバの使用」

製品番号

以下のアクセサリ リストは、このガイドの印刷時点で最新だったものです。アクセサリの注文に関する情報と入手の可能性は、プリンタの製品寿命期間に変更される可能性があります。

給紙アクセサリ

項目	説明	製品番号
オプションの 500 枚収納用紙トレイおよびフィーダ ユニット	用紙の収納枚数を増やすオプションのトレイです。レター、A4、リーガル、A5、B5 (JIS)、エグゼクティブ、および 8.5 x 13 インチの用紙サイズをセットできます。 プリンタにはオプションの 500 枚収納用紙フィーダを最大で 4 つ収容できます。	CE998A
オプションの 1,500 枚収納用紙トレイおよびフィーダ ユニット	用紙の収納枚数を増やすオプションのトレイです。レター、リーガル、A4 の用紙サイズをセットできます。	CE398A
カスタム メディア カセット	トレイ 2 から A6 サイズの用紙を印刷可能にします。	CB527A
封筒フィーダ	最高 75 枚までの封筒をセットできます。	CE399A
両面印刷ユニット	自動両面印刷用です。	CF062A
500 枚用スタッカ	500 枚収納の排紙ビンを追加できます。	CE404A
500 枚用ステイプラ/スタッカ	自動的にジョブを完了することで、出力量の多いジョブにも対応できます。最高 15 枚までの用紙をステイプルで綴じられます。	CE405A
HP 5 トレイ メールボックス	ジョブの分類に使用できる 5 つの排紙ビンを提供します。	CE997A
プリンタ スタンド	複数のオプション トレイを取り付けた状態でプリンタを安定して設置できます。スタンドにはキャスターが付いているため、プリンタを容易に移動できます。	CB525A

カスタマ セルフリペア部品

ご使用のプリンタには、以下のカスタマ セルフリペア部品を利用できます。

- セルフ交換が**必須**と表示されている部品は、お客様が取り付けることになっています。ただし、HP のサービス担当者に有償で修理を依頼する場合は除きます。こうした部品の場合、現在の HP プリンタの保証ではオンサイト サポートおよび引き取りサポートは提供されません。
- セルフ交換が **オプション** と表示されている部品は、お客様の要求時に HP のサービス担当者によって取り付けられます。プリンタの保証期間内であれば、追加費用は発生しません。

項目	説明 [1]	セルフ交換オプション	製品番号
HP LaserJet プリント カートリッジ (黒)	標準黒カートリッジ	必須	CE390A
HP LaserJet プリント カートリッジ (黒)	大容量黒カートリッジ 注記： M602 モデルおよび M603 モデルのみ	必須	CE390X
1,000 本ステイプル カートリッジ	3 つのステイプル カートリッジを提供します。	必須	Q3216A
予防保守キット	交換用フューザ、トランスファー ローラー、トランスファー ローラー ツール、トレイ 1 ローラー、フィード ローラー 8 つ、使い捨て手袋 1 組がセットになっています。各コンポーネントの取り付け方の説明書も同梱されています。	必須	110V プリンタ メンテナンス キット CF064A 220V プリンタ メンテナンス キット CF065A
44x32 ピン DDR2 メモリ DIMM (512MB)	大きなジョブや複雑なジョブの処理能力を上げます。	必須	CE483A

[1] 詳細については、www.hp.com/go/learnaboutsupplies を参照してください。

ケーブルおよびインタフェース

項目	説明	製品番号
HP Jetdirect プリント サーバー デバイス	HP Jetdirect 2700w USB Wireless デバイス	J8026A
USB ケーブル	A to B タイプのケーブル (2m)	C6518A

B サービスおよびサポート

Hewlett-Packard 社製品限定保証

HP 製品	限定保障期間
HP LaserJet 600 M601n, M601dn, M602n, M602dn, M602x, M603n, M603dn, M603xh	1 年間持ち込み修理保証

HP は、エンドユーザーに対して、購入日から上記の期間中、HP ハードウェアとアクセサリに材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、自らの判断に基づき不具合があると証明された製品の修理または交換を行います。交換製品は新品か、または新品と同様の機能を有する製品のいずれかになります。

HP は、HP ソフトウェアを正しくインストールして使用した場合に、購入日から上記の期間中、材料および製造上の瑕疵が原因でプログラミング命令の実行が妨げられないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、当該不具合によりプログラミング インストラクションが実行できないソフトウェアメディアの交換を行います。

HP は、HP の製品の動作が中断されないものであったり、エラーが皆無であることは保証しません。なお、HP が HP の製品を相当期間内に修理または交換できなかった場合、お客様は、当該製品を返却することで、当該製品の購入金額を HP に請求できます。

HP 製品には、新品と同等の性能を発揮する再生部品が無作為に使用されることがあります。

本保証は、以下に起因する不具合に対しては適用されません。(a)不適当または不完全な保守、校正に因るとき。(b) HP が供給しないソフトウェア、インタフェース、または消耗品に因るとき。(c) HP が認めない改造または誤用に因るとき。(d) 表示した環境仕様の範囲外での動作に因るとき。(e) 据付場所の不備または保全の不適合に因るとき。

特定目的のための適合性や市場商品力についての暗黙の保証は、上記で明記された保証の保証期間に限定されます。一部の国/地域では、暗黙の保証の保証期間を制限できない場合があるため、上記の制限や責任の排除はお客様に適用されない場合があります。本保証は特定の法律上の権利をお客様に認めるものです。また、お客様は、その国/地域の法律によっては、他の権利も認められる場合があります。

HP の限定保証は、HP が製品のサポートを提供し、かつ製品を販売している国/地域で有効です。お客様の受け取る保証サービスは、国/地域の標準規定によって異なる場合があります。HP は、法律または規制上の理由で製品を機能させる意図のなかった国/地域で動作するように製品の形態、整合性、または機能を変更しません。

現地の法律で許容されている範囲内において、本保証書の責任が、HP の唯一で排他的な責任です。現地の法律で許容されている範囲内において、契約あるいは法律に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、偶発的損害、結果的損害 (利益の逸失やデータの消失を含む) その他の損害に対して、HP およびそのサプライヤは一切責任を負いません。一部の国/地域では、付帯的または結果的な損害の排除や制限を認めない場合があり、上記の制限や排除はお客様に適用されない場合があります。

ここに含まれている保証条項は、法律により許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

HP の Premium Protection Warranty: LaserJet プリント カートリッジ限定保証

この HP 製品は、材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

この限定保証は、(a) 補充、改変、再製または改ざんを施された製品、(b) 誤用、不適切な保管、またはプリンタ製品の公開されている環境仕様以外で操作した製品、(c) 通常の使用による疲弊した製品には適用されません。

限定保証サービスを受けるには、製品を購入店 (問題を記述した書面および印刷サンプルを添付) に返品するか HP カスタマ サポートにお問い合わせください。HP の裁量で、HP は、瑕疵があることが判明した製品を交換するか、またはお客様に購入代金を返金します。

現地の法律で許容されている範囲内において、上記の保証は排他的であり、その他の保証や条件は、書面または口頭を問わず、明示または黙示されることはありません。HP 社は、商品性、品質に対するお客様の満足、または特定目的に対する整合性を含むいかなる黙示的な保証または条件に対する責任も負いません。

現地の法律で許容されている範囲内において、契約あるいは法律に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、偶発的損害、結果的損害 (利益の逸失やデータの消失を含む) その他の損害に対して、HP およびその代理店は一切責任を負いません。

ここに含まれている保証条項は、法律により許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

プリント カートリッジに格納されるデータ

このプリンタで使用される HP プリント カートリッジには、プリンタの操作に役立つメモリ チップが搭載されています。

さらに、このメモリ チップには、プリンタの使用に関する一部の情報を収集する機能があります。収集される情報には、プリント カートリッジが最後に使用された日付、プリント カートリッジが最初に取り付けられた日付、プリント カートリッジを使用して印刷されたページ数、印刷履歴、使用された印刷モード、発生した可能性がある印刷エラー、およびプリンタのモデル名があります。この情報は、お客様の印刷ニーズに合わせた将来のプリンタの設計に役立てられます。

プリント カートリッジのメモリ チップから収集されたデータには、プリント カートリッジやプリンタのお客様またはユーザーを識別できるような情報は含まれません。

HP では、HP が無料で行っている製品回収およびリサイクル プログラム (HP Planet Partners : www.hp.com/recycle) に返却されたプリント カートリッジからメモリ チップのサンプル内容を収集します。今後の HP 製品を改善するために、このサンプルから収集されたメモリ チップを読み取り、調査します。このプリント カートリッジのリサイクルに協力した HP パートナーもまたこのデータにアクセスすることができます。

プリント カートリッジを所有しているサードパーティ企業は、メモリ チップ上の匿名情報にアクセスできます。この情報へのアクセスを希望しない場合は、チップを操作不能に変更することができます。ただし、メモリ チップを操作不能に設定すると、そのメモリ チップは HP プリンタで使用できなくなります。

ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェア製品をご利用の前に、以下の条項を良くお読みください。本ソフトウェア使用許諾契約書 (以下「EULA」という) は、本ソフトウェア製品の使用に関してお客様 (個人または法人を問わない) と Hewlett-Packard Company (以下「HP」という) との間で締結される契約書です。オンライン文書内の使用許諾契約などで、別の使用許諾契約がお客様と HP または本ソフトウェアのサプライヤとの間に締結されている場合、本 EULA は適用されません。「ソフトウェア」には関連メディア、ユーザーガイドとその他の印刷物、および「オンライン」または電子文書 (まとめて「ユーザー文書」という) が含まれる場合があります。

本ソフトウェアに関する権利は、お客様が本 EULA の全ての条件に同意する場合にのみ提供されます。本ソフトウェアをインストール、複製、ダウンロード、または使用することによって、お客様は本 EULA の条項に拘束されることに同意されたものとみなされます。本 EULA に同意されない場合、本ソフトウェアをインストール、ダウンロード、または使用することはできません。本ソフトウェアを購入されても、本 EULA に同意されない場合は、本ソフトウェアを 14 日以内に購入店まで返却いただければ、代金を全額返金いたします。本ソフトウェアが別の HP 製品上にインストールされている場合または別の HP 製品と共に使用可能な状態になっている場合は、未使用のそれら全ての製品を全部返却していただくものとします。

1. 第三者のソフトウェア。本ソフトウェアには、HP 所有のソフトウェア (以下「HP ソフトウェア」) の他に 、第三者の使用許諾を受けたソフトウェア (以下「第三者のソフトウェア」) が含まれる場合があります。第三者のソフトウェアは、その第三者により規定された使用条件に従って使用が許諾されます。一般に、第三者のライセンスは "license.txt"、"readme" などのファイルに記載されていますが、それらのライセンスが見つからない場合は、HP サポートまでご連絡ください。第三者のライセンスにソース コードの利用を認めるライセンス (GNU 一般公開ライセンスなど) が含まれており、該当するソース コードが本ソフトウェアに含まれない場合は、HP の Web サイト (hp.com) の製品サポート ページでソース コードの取得方法についてご確認ください。

2. 許諾権利。本契約書のすべての使用条件に準拠することを条件に、お客様は以下の権利を付与されます。

   a. 使用。お客様には、本 HP ソフトウェアのコピー 1 部を使用する権利が許諾されます。「使用」とは、本 HP ソフトウェアをインストール、複製、格納、ロード、実行、表示、または使用することをいいます。お客様は、本 HP ソフトウェアを改変したり、本 HP ソフトウェアのいかなる使用許諾または制御に関する機能も無効にすることはできません。本ソフトウェアが HP によりイメージ処理用製品または印刷処理用製品とともに提供された場合 (本ソフトウェアがプリンタのドライバ、ファームウェア、またはアドオンの場合など)、本 HP ソフトウェアはそれらの製品 (「HP 製品」) での使用に限定されます。使用に関する追加制限が、ユーザー マニュアルに記載されている場合があります。本 HP ソフトウェアの構成部分を分割して使用することはできません。お客様に本 HP ソフトウェアを配布する権利はありません。

   b. 複製。複製の権利とは、それぞれの複製に元の HP ソフトウェアに含まれる所有権に関する通知をすべて転載し、バックアップ目的のみの使用に限り、本 HP ソフトウェアのアーカイブ コピーまたはバックアップ用コピーを作成できることを意味します。

3. アップグレード。HP がアップグレード、更新、補足 (まとめて「アップグレード」という) として提供する HP ソフトウェアを使用するには、まず元の HP ソフトウェアがアップグレードの

権利対象として HP により許可されている必要があります。アップグレードが元の HP ソフトウェアに取って替わる場合、お客様はかかる HP ソフトウェアを今後使用することはできなくなります。本契約書は、HP がアップグレードに関する使用条項を他に提示していない限り、各アップグレードに適用されます。本契約書と他の条項とが異なる場合は、他の条項が優先されます。

4. 譲渡。

   a. 第三者への譲渡。本 HP ソフトウェアの最初のエンド ユーザーは、本 HP ソフトウェアを別のエンド ユーザーに 1 回に限り譲渡することができます。譲渡には、全構成部品、メディア、ユーザー マニュアル、本契約書、純正製品証明書 (それが存在する場合) をすべて含めます。譲渡は、委託販売などの間接的譲渡であってはなりません。譲渡に先立ち、譲渡されるソフトウェアを受け取るエンド ユーザーは本契約書に同意するものとします。本 HP ソフトウェアを譲渡した時点で、お客様のライセンスは自動的に終了します。

   b. 制限。お客様は本 HP ソフトウェアを賃貸、リース、貸与したり、商用タイムシェアリングまたはサービス機関向けに使用することはできません。本契約書で明示的に許可されている場合を除き、お客様は、本 HP ソフトウェアを再使用許諾、譲渡、移転することはできません。

5. 所有権。本ソフトウェアおよびユーザー マニュアルに含まれる知的財産権はすべて HP およびその供給業者により所有され、該当する著作権、業務上の秘密、特許、商標に関する法律で保護されています。お客様は、製品の識別番号、著作権表示、所有者による制限を本ソフトウェアから除去してはならないものとします。

6. リバース エンジニアリングの制限。お客様は、該当の法律で許可されている場合を除き、本 HP ソフトウェアをリバース エンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。

7. データの使用に関する承諾。HP およびその関連会社は、(i) 本ソフトウェアまたは HP 製品の使用、または (ii) 本ソフトウェアまたは HP 製品に関するサポート サービス、に関連してお客様から提供される技術情報を収集および使用することがあります。かかる情報にはすべて HP のプライバシー ポリシーが適用されます。HP はかかる情報を、お客様個人が特定されるような方法で利用しないものとしますが、お客様の使用を改善したりまたはサポート サービスを提供したりするために必要な場合はこの限りではありません。

8. 責任の制限。万一お客様に損害が生じた場合の本契約書に基づく HP およびその供給業者の責任、および本契約書に基づくお客様に対する唯一の救済手段は、本製品の購入についてお客様が実際に支払った金額または 5.00 米ドルのいずれか高い額を上限とします。HP またはその供給業者は、法律上許容される最大限において、本ソフトウェアの使用または使用不能によって生じうる特別、付随的、間接的または派生的損害 (逸失利益、データ喪失、事業の中断、人身傷害、プライバシーの喪失を含む) について、HP またはその供給業者が当該損害の可能性を通知されていたとしても、上記の救済手段が主たる目的を達することができるかどうかにかかわらず、一切の責任を負いません。一部の地域または管轄地域では、付帯的または結果的な損害の排除や制限を認めない場合があり、上記の制限や排除はお客様に適用されない場合があります。

9. お客様がアメリカ合衆国政府の場合。本ソフトウェアは、すべて私費で開発されています。すべてのソフトウェアは、該当する取得規制が適用されたうえで提供される商用コンピュータ ソフトウェアです。したがって、US FAR 48 CFR 12.212 および DFAR 48 CRF 227.7202 に基づき、米国政府またはその下請業者による使用、複製、開示は、強制適用のある連邦法に反しない範囲で、本契約書に規定されている使用条件のみを適用するものとします。

10. 輸出法の遵守。お客様は、(i) 本ソフトウェアの輸出または輸入に適用される、または (ii) 核兵器、化学兵器、生化学兵器の拡散など、本ソフトウェアの使用を制限する、すべての法律、規則、規制を遵守するものとします。

11. 権利の保有。HP およびその供給業者は、本契約書でお客様に明示的に付与されていない権利を含む、すべての権利を有します。

改訂 04/09

カスタマ セルフ リペア保証サービス

HP 製品は、修理にかかる時間を短縮し、故障部品の交換をスムーズに行えるように、カスタマ セルフ リペア (CSR) 部品を多数使用して設計されています。診断段階で、CSR 部品を使用することによりお客様自身で修理が可能であると HP が判断した場合、部品を直接お客様にお送りします。CSR 部品には、次の 2 種類があります。1) お客様による交換修理が必須の部品。これらの部品の交換を HP に依頼した場合は、そのサービスにかかった交通費および人件費はお客様負担となります。2) お客様による交換修理が任意の部品。これらの部品もお客様自身で交換修理できるように設計されています。ただし、これらの部品の交換を HP に依頼した場合は、ご使用の製品に指定されている保証サービスの種類に基づいて、サービスは無償で提供されます。

部品の在庫があり、地理的に可能であれば、CSR 部品は翌営業日に配達されるように出荷されます。また、地理的に可能であれば、追加の費用はかかりますが、同日中または 4 時間以内に配達されるように出荷できる場合もあります。サポートが必要な場合は、HP テクニカル サポート センターまでご連絡ください。専門の技術者が電話にてサポートいたします。故障部品を HP に返却する必要があるかどうかは、CSR 部品に同梱されている資料に記載されています。故障部品を HP に返却する必要がある場合、所定の期間内 (通常は 5 営業日以内) に HP に返送してください。故障部品は、付属のドキュメントとともに、用意されている梱包材に入れてお送りください。故障部品を返送していただかない場合には、交換部品代をお支払いいただく場合があります。お客様自身で部品を交換される場合、HP は、交換部品の送料および故障部品の返却にかかる送料を全額負担いたします。また、その際の輸送手段は HP が決定させていただきます。

カスタマ サポート

国/地域の電話サポートを受ける プリンタ名、シリアル番号、購入日、および問題の説明をご用意ください。	国/地域の電話番号については、プリンタに同梱のお知らせまたは www.hp.com/support/ をご覧ください。
24 時間のインターネット サポートを受ける	www.hp.com/support/lj600Series
Macintosh コンピュータで使用するプリンタのサポートを受ける	www.hp.com/go/macosx
ソフトウェア ユーティリティ、ドライバ、および電子情報をダウンロードする	www.hp.com/go/lj600Series_software
追加の HP サービス契約または保守契約を注文する	www.hp.com/go/carepack
製品の登録	www.register.hp.com

製品の再梱包

HP カスタマ ケアが、修理のために製品を HP に返却する必要があると判断した場合、搬送する前に以下の手順に従って製品を再梱包してください。

⚠ 注意： 梱包が不適切だったために搬送中に破損した場合は、お客様の責任になります。

1. 購入して製品に取り付けた DIMM カードがあれば、取り外して保管します。

   ⚠ 注意： 静電気は電子部品に損傷を与えます。DIMM の取り扱い時には、静電気防止用リストストラップを着用するか、頻繁に DIMM の静電気防止パッケージに触れてから、プリンタの露出した金属部に触れるようにしてください。

2. プリント カートリッジを取り外して保管します。

   ⚠ 注意： *プリントカートリッジを必ず取り外してから*、プリンタを搬送してください。プリントカートリッジを取り付けたままプリンタを搬送すると、漏れてエンジンやその他の部品に付着する可能性があります。

   プリント カートリッジの破損を防ぐため、プリント カートリッジのローラーには触れないようにして、製品の受け取り時に使われていた梱包材に包むか、それがなければ光に当たらないように梱包します。

3. 電源コード、インタフェース ケーブル、オプションのアクセサリを取り外して保管します。

4. 可能であれば、印刷サンプルと正しく印刷されなかった用紙またはその他の印刷メディア 50 ～ 100 枚を同梱してください。

5. 米国では、HP カスタマ ケアに新しい梱包材をご依頼ください。その他の地域では、できるだけ出荷時の梱包材を使用するようにしてください。搬送する機器には保険をかけることをお勧めします。

C　製品の仕様

物理的な仕様

表 C-1　製品の寸法と重量

製品モデル	高さ	奥行き	幅	重量
n モデルおよび dn モデル	394 mm (15.5 インチ)	4515 mm (17.8 インチ)	425 mm (16.75 インチ)	23.6 kg (51.9 ポンド)
x モデルおよび xh モデル	514 mm (20.25 インチ)	451 mm (17.8 インチ)	425 mm (16.75 インチ)	30.4 kg (66.8 ポンド)
オプションの 500 枚収納用紙フィーダ	121 mm (4.8 インチ)	448.4 mm (17.7 インチ)	415 mm (16.3 インチ)	6.7 kg (14.7 ポンド)
オプションの 1500 枚収納トレイ	263.5 mm (10.4 インチ)	511.5 mm (20.1 インチ)	421 mm (16.6 インチ)	13 kg (28.7 ポンド)
オプションの両面印刷ユニット	154 mm (6.1 インチ)	348 mm (13.7 インチ)	332 mm (13.1 インチ)	2.5 kg (5.5 ポンド)
オプションの封筒フィーダ	113 mm (4.4 インチ)	354 mm (13.9 インチ)	328 mm (12.9 インチ)	2.5 kg (5.5 ポンド)
オプションのステイプラ/スタッカ	371 mm (14.6 インチ)	430 mm (16.9 インチ)	387 mm (15.2 インチ)	4.2 kg (9.3 ポンド)
オプションのスタッカ	304 mm (12 インチ)	430 mm (16.9 インチ)	378 mm (14.9 インチ)	3.2 kg (7.1 ポンド)
オプションのマルチビン メールボックス	522 mm (20.6 インチ)	306 mm (12 インチ)	353 mm (13.9 インチ)	7.0 kg (15.4 ポンド)
オプションのプリンタ スタンド	114 mm (4.5 インチ)	653 mm (25.7 インチ)	663 mm (26.1 インチ)	13.6 kg (30 ポンド)

表 C-2　ドアとトレイが完全に開いた状態での製品寸法

製品モデル	高さ	奥行き	幅
n モデルおよび dn モデル	394 mm (15.5 インチ)	864 mm (34.0 インチ)	425 mm (16.75 インチ)
x モデルおよび xh モデル	514 mm (20.25 インチ)	864 mm (34.0 インチ)	425 mm (16.75 インチ)

電力消費、電気仕様、および稼動音

最新情報については、「www.hp.com/go/lj600Series_regulatory」を参照してください。

⚠ 注意：　電源要件は、販売された国/地域によって異なります。動作電圧は変更しないでください。変更すると、プリンタが損傷しても保証の対象にならなくなります。

動作環境

表 C-3　必要な条件

環境条件	印刷時	保管時/スタンバイ時
温度 (本体およびプリント カートリッジ)	7.5° ～ 32.5°C (45.5° ～ 90.5°F)	0° ～ 35°C (32° ～ 95°F)
相対湿度	5% ～ 90%	35% ～ 85%

D 規制に関する情報

FCC 規格

本装置は、テストの結果、Class A デジタル装置の限界値に適合しており、FCC 規則 Part 15 に適合していることが確認されています。これらの基準は、本番環境に装置を設置した場合の電波障害に対するしかるべき防止策を提供することを目的としています。この装置は、無線高周波エネルギーを生成、使用、および放射するため、取扱説明書に従って正しく設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。住宅地域で本装置を使用すると、有害な干渉を引き起こす可能性があります。その場合、ユーザー側の費用負担で干渉を防止する必要があります。

注記： HP が明示的に認めていないプリンタへの変更や改造を行うと、本装置を操作するユーザーの権利が無効になる場合があります。

FCC 規則の Part 15 の Class A 基準に準拠するには、シールド付きインターフェース ケーブルを使用してください。

製品の環境適合化プログラム

環境の保護

Hewlett-Packard 社は環境保全を考慮した上で、高品質の製品をお届けしています。この製品は、いくつかの点で環境への影響を最小限に抑えるように設計されています。

オゾン放出

この製品はオゾン ガス (O_3) をほとんど発生しません。

消費電力

スリープ モードでは電力消費量がかなり低下します。このモードでは天然資源を節約し、コストを削減しますが、この製品の高いパフォーマンスには影響を与えません。ENERGY STAR® ロゴの付いた Hewlett-Packard の印刷/イメージング機器は、米国環境保護局が定めるイメージング機器向けの ENERGY STAR 仕様に適合しています。ENERGY STAR に適合したイメージング製品には、次のマークが付けられています。

その他の ENERGY STAR 適合イメージング製品のモデル情報は、次の Web サイトでご覧いただけます。

www.hp.com/go/energystar

トナーの消費

エコノモードでのトナー使用量は通常より少なく、プリント カートリッジの寿命が長くなります。エコノモードを常に使用することはお勧めしません。エコノモードを常に使用すると、プリンタ カートリッジ内の機械部品の寿命よりもトナーの寿命の方が長くなる可能性があります。印刷品質が低下し始めたり、十分な品質が保てなくなった場合は、プリント カートリッジの交換を検討してください。

用紙の使用

本製品のオプション機能である自動両面印刷機能 (用紙の両面に印刷する機能)、および N-up 印刷機能 (1 枚の用紙に複数のページを印刷する機能) を使用して用紙の使用量を減らすことで、天然資源の消費量も減らすことができます。

プラスチック

25g を超えるプラスチック部品には、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

HP LaserJet 用サプライ品

HP Planet Partners を利用すると、使用済みの HP LaserJet プリント カートリッジを簡単に返却およびリサイクルすることができます (無料)。多言語のプログラム情報および指示書は、すべての新しい HP LaserJet プリント カートリッジおよびサプライ品のパッケージに同梱されています。カートリッジは個々に返却するよりまとめて返却した方が環境に対する負荷を減らす助けになります。

HP では、製品設計および製造から販売、お客様によるご使用、そしてリサイクルに至るまで、環境に優しく、先進的で高品質の製品およびサービスを提供するよう努力しています。HP Planet Partners プログラムにご参加いただくことで、ご使用いただいた HP LaserJet プリント カートリッジは、適切にリサイクルされ、プラスチック部と金属部は新たな製品に使用するために生まれ変わり、埋立地から何百万トンもの廃棄物が削減されます。このカートリッジはリサイクルされ、新しい材料に使用されるため、お客様の元には戻りません。環境への私たちの取り組みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

注記： オリジナルの HP LaserJet プリント カートリッジを返却する場合にのみ、回収ラベルをご使用ください。このラベルは、HP インクジェット カートリッジ、HP カートリッジ以外のカートリッジ、再充填または改ざんしたカートリッジ、または保証による返却には使用しないでください。HP インクジェット カートリッジのリサイクルの詳細については、http://www.hp.com/recycle をご覧ください。

回収およびリサイクル手順

米国およびプエルトリコ

HP LaserJet トナー カートリッジ ボックスの同梱されているラベルは、使用後の 1 つまたは複数の HP LaserJet プリント カートリッジの回収およびリサイクル用ラベルです。以下の該当する手順を実行してください。

カートリッジが複数 (2 個以上) の場合

1. HP LaserJet プリント カートリッジをそれぞれオリジナルのボックスおよびバッグに入れます。
2. 紐または梱包用テープを使用して、複数の箱をひとまとめにします。発送重量は、最大 31kg (70 ポンド) です。
3. 前払いの発送ラベルを 1 枚使用します。

または

1. 適切な箱を用意するか、www.hp.com/recycle から、または 1-800-340-2445 に連絡して、無料の回収専用箱を入手します (HP LaserJet プリント カートリッジを最大 31kg (70 ポンド) まで梱包可)。
2. 前払いの発送ラベルを 1 枚使用します。

1 個のカートリッジの回収

1. HP LaserJet プリント カートリッジをオリジナルのボックスおよびバッグに入れます。
2. 発送ラベルをボックスの前面に貼付します。

発送

米国およびプエルトリコの HP LaserJet プリント カートリッジのリサイクル回収については、ボックスに同梱の料金前納の住所事前設定出荷ラベルをご使用ください。UPS ラベルをご使用の場合は、次回の配達または集荷時に UPS のドライバーにパッケージを渡していただくか、または認可されている UPS 持ち込みセンターまでお持ちください (UPS Ground の集荷料金には通常のレートが適用されます)。お近くの UPS 持ち込みセンターについては、1-800-PICKUPS までご連絡いただくか、www.ups.com をご覧ください。

FedEx ラベルを貼付したパッケージを返却する場合は、次回の配達または集荷時に、米国郵便配達員または FedEx のドライバーにパッケージをお渡しください (FedEx Ground の集荷料金には通常のレートが適用されます)。または、梱包済みのプリント カートリッジをお近くの米国郵便局または FedEx 集配センター/集配店にお持ちください。お近くの米国郵便局については、1-800-ASK-USPS までご連絡いただくか、www.usps.com をご覧ください。お近くの FedEx 集配センター/集配店については、1-800-GOFEDEX までご連絡いただくか、www.fedex.com をご覧ください。

詳細情報について、または追加ラベルや一括回収用の箱の注文については、www.hp.com/recycle を参照するか、または 1-800-340-2445 までお問い合わせください。この情報は、予告なしに変更される場合があります。

アラスカおよびハワイにお住まいの方へ

UPS ラベルを使用しないでください。詳細については、1-800-340-2445 までお問い合わせください。USPS と HP 間での取り決めにより、アラスカおよびハワイについては無料のカートリッジ返却輸送サービスを提供していません。

米国以外でのリサイクル品の回収

HP Planet Partners 返却およびリサイクル プログラムへのお申し込みについては、リサイクル ガイド (新しくご購入いただいたサプライ品に同梱されています)、または www.hp.com/recycle をご覧ください。お住まいの国/地域を選択すると、お使いの HP LaserJet 用サプライ品の返却方法が表示されます。

用紙

この製品では、用紙が『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide (HP LaserJet プリンタ ファミリー印刷メディアガイド)*』に記載されている基準に適合している場合に限り、再生紙を使用することができます。この製品には、EN12281:2002 に準拠する再生紙を使用することができます。

材料の制限

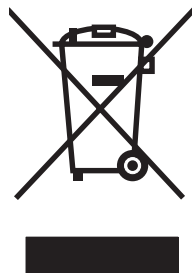
この HP 製品では水銀は使用されていません。

この HP 製品には電池が使用されているため、回収時に特別な取扱いが必要になる場合があります。この製品に Hewlett-Packard が使用している電池を以下に示します。

HP LaserJet Enterprise 600 M601/M602/M603 シリーズ プリンタ	
タイプ	単フッ化炭素リチウム バッテリ
重量	1.5g
実装位置	フォーマッタ ボード
ユーザーによる取り外し	不可

廢電池請回收

リサイクル情報については、www.hp.com/recycle にアクセスするか、最寄りの代理店または米国電子工業会 (www.eiae.org) にお問い合わせください。

EU (欧州連合) が定める一般家庭の使用済み機器の廃棄

製品または製品のパッケージにこのマークが付いている場合、この製品を家庭廃棄物と一緒に捨てることは禁止されています。使用済み機器の廃棄は消費者が責任を負うものとし、電気・電子機器廃棄物のリサイクルを行うための指定された回収拠点に持って行く必要があります。使用済み機器の廃棄に分別収集およびリサイクルを実行することより、天然資源を保護し、人間の健康と環境を守るリサイクルを実現します。使用済み機器のリサイクルを行う回収拠点については、居住地区の市役所、家庭廃棄物の収集業者、または製品を購入した販売店にお問い合わせください。

化学物質

HP は、REACH (欧州議会および理事会の規則 (EC) No 1907/2006) などの法的要件に準拠するための必要に応じて、HP 製品で使用されている化学物質に関する情報をお客様に提供するように努めています。このプリンタの化学情報レポートについては、www.hp.com/go/reach を参照してください。

化学物質安全性データシート (MSDS)

化学物質が使われているサプライ品 (トナーなど) の Material Safety Data Sheet (化学物質等安全データシート : MSDS) は HP の Web サイト www.hp.com/go/msds または www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/safety から入手可能です。

詳細について

これらの環境に関するトピック

- この製品やこの製品に関連する多くの HP 製品についての製品環境プロファイル
- HP 社の環境への貢献
- HP 社の環境管理システム
- HP 社の製品回収およびリサイクル プログラム
- 化学物質安全データシート (MSDS)

www.hp.com/go/environment または www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment にアクセスしてください。

適合宣言

適合宣言

適合規格：ISO/IEC 17050-1 および EN 17050-1

製造元：	Hewlett-Packard Company	DoC#：BOISB-1101-00-rel.1.0
製造元住所：	11311 Chinden Boulevard	
	Boise, Idaho 83714-1021, USA	

適合宣言の対象製品

製品名：	HP LaserJet Enterprise 600 M601/M602/M603
	付属：
	CE998A - 500 枚給紙トレイ
	CF062A - 両面印刷ユニット
規制モデル番号 [2]	BOISB-1101-00
製品オプション：	すべて
プリント カートリッジ：	CE390A、CE390X

準拠している製品仕様：

安全性：	IEC 60950-1:2005 / EN60950-1: 2006 +A11
	IEC 60825-1:2007 / EN 60825-1:2007 (クラス 1 レーザー/LED 製品)
	IEC 62311:2007 / EN62311:2008
	GB4943-2001
電磁環境適合性：	CISPR22:2005 +A1/ EN55022:2006 +A1 - クラス A[1)、3)]
	EN 61000-3-2:2006
	EN 61000-3-3:2008
	EN 55024:1998 +A1 +A2
	FCC タイトル 47 CFR、パート 15 クラス A[1)] / ICES-003、第 4 版
	GB9254-2008、GB17625.1-2003

補足情報：

本製品は EMC Directive 2004/108/EC および Low Voltage Directive 2006/95/EC の要件に準拠し、それに基づいて CE マーク CE を貼付しています。

本デバイスは FCC 規定 Part 15 に準拠しています。動作は、次の 2 つの条件を前提とします。(1) 本デバイスによって有害な干渉が発生することはありません。(2) 本デバイスは予期しない動作の原因となる干渉も含め、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

1. 本製品は、Hewlett-Packard のパーソナル コンピュータ システムの標準的な構成でテスト済みです。
2. 規制上の理由により、本製品には規制のモデル番号が割り当てられています。この番号を、製品名や製品番号と混同しないでください。
3. 本製品は、次に該当する場合に EN55022 & CNS13438 Class A の要件を満たします。「警告 - これはクラス A の製品です。屋内の環境下で、本製品が電波障害の原因になる場合もあります。このような問題が発生するときは、ユーザーが適切な処置を講じることが必要になる場合があります。

Boise, Idaho USA

2011 年 9 月

規制に関する問い合わせ先：

ヨーロッパ：	お近くの Hewlett-Packard セールス/サービス オフィスまたは Hewlett-Packard GmbH, Department HQ-TRE / Standards Europe, Herrenberger Straße 140, D-71034, Böblingen (FAX：+49-7031-14-3143) www.hp.eu/certificates
米国：	Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, PO Box 15, Mail Stop 160, Boise, Idaho 83707-0015 (電話番号：208-396-6000)

安全規定

レーザー製品の安全性

米国食品医薬品局の医療機器・放射線製品センタ (CDRH) では、1976 年 8 月 1 日以降に生産されたレーザ製品の規定を定めています。米国で販売される製品では規定への準拠が必須です。このデバイスは、1968 年の放射線規制法に基づく米国保健社会福祉省 (DHHS) の放射線性能基準のもと、「クラス 1」のレーザ製品に認定されています。このデバイス内で放射される放射線は保護用の筐体および外部カバー内に密封されているので、ユーザーの通常の使用状況ではレーザ ビームが漏れることはありません。

⚠ **警告！** このユーザーズ ガイドに指定されていない制御を使用したり、調整を行ったり、手順を実行したりすると、危険な放射線が漏れる場合があります。

Canadian DOC regulations (カナダ DOC 規格)

Complies with Canadian EMC Class A requirements.

« Conforme à la classe A des normes canadiennes de compatibilité électromagnétiques. « CEM ». »

VCCI 規格（日本）

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

電源コードの使用手順

電源がプリンタの定格電圧に適合していることを確認します。定格電圧は、プリンタのラベルに記載されています。プリンタは 100-127Vac または 220-240Vac と 50/60Hz を使用します。

プリンタと接地した AC コンセントを電源コードで接続します。

⚠ **注意：** プリンタの損傷を防ぐため、プリンタに付属の電源コードのみを使用してください。

電源コード規格 (日本)

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

EMC ステートメント (中国)

此为A级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

EMC ステートメント (韓国)

A급 기기 (업무용 방송통신기기)	이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이점을 주의하시기 바라며, 가정 외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

EMI 規格 (台湾)

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

製品の安定性

一度に複数の用紙トレイを引き出さないでください。

レーザー製品に関する安全規定 (フィンランド)

Luokan 1 laserlaite

Klass 1 Laser Apparat

HP LaserJet 600 M601n, M601dn, M602n, M602dn, M602x, M603n, M603dn, M603xh, laserkirjoitin on käyttäjän kannalta turvallinen luokan 1 laserlaite. Normaalissa käytössä kirjoittimen suojakotelointi estää lasersäteen pääsyn laitteen ulkopuolelle. Laitteen turvallisuusluokka on määritetty standardin EN 60825-1 (2007) mukaisesti.

VAROITUS !

Laitteen käyttäminen muulla kuin käyttöohjeessa mainitulla tavalla saattaa altistaa käyttäjän turvallisuusluokan 1 ylittävälle näkymättömälle lasersäteilylle.

VARNING !

Om apparaten används på annat sätt än i bruksanvisning specificerats, kan användaren utsättas för osynlig laserstrålning, som överskrider gränsen för laserklass 1.

HUOLTO

HP LaserJet 600 M601n, M601dn, M602n, M602dn, M602x, M603n, M603dn, M603xh -kirjoittimen sisällä ei ole käyttäjän huollettavissa olevia kohteita. Laitteen saa avata ja huoltaa ainoastaan sen huoltamiseen koulutettu henkilö. Tällaiseksi huoltotoimenpiteeksi ei katsota väriainekasetin vaihtamista, paperiradan puhdistusta tai muita käyttäjän käsikirjassa lueteltuja, käyttäjän tehtäväksi tarkoitettuja ylläpitotoimia, jotka voidaan suorittaa ilman erikoistyökaluja.

VARO !

Mikäli kirjoittimen suojakotelo avataan, olet alttiina näkymättömällelasersäteilylle laitteen ollessa toiminnassa. Älä katso säteeseen.

VARNING !

Om laserprinterns skyddshölje öppnas då apparaten är i funktion, utsättas användaren för osynlig laserstrålning. Betrakta ej strålen.

Tiedot laitteessa käytettävän laserdiodin säteilyominaisuuksista: Aallonpituus 775-795 nm Teho 5 m W Luokan 3B laser.

GS 規格 (ドイツ)

Das Gerät ist nicht für die Benutzung im unmittelbaren Gesichtsfeld am Bildschirmarbeitsplatz vorgesehen. Um störende Reflexionen am Bildschirmarbeitsplatz zu vermeiden, darf dieses Produkt nicht im unmittelbaren Gesichtsfeld platziert warden.

成分表 (中国)

有毒有害物质表

根据中国电子信息产品污染控制管理办法的要求而出台

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
打印引擎	X	0	0	0	0	0
控制面板	0	0	0	0	0	0
塑料外壳	0	0	0	0	0	0
格式化板组件	X	0	0	0	0	0
碳粉盒	X	0	0	0	0	0

0609

0：表示在此部件所用的所有同类材料中，所含的此有毒或有害物质均低于 SJ/T11363-2006 的限制要求。
X：表示在此部件所用的所有同类材料中，至少一种所含的此有毒或有害物质高于 SJ/T11363-2006 的限制要求。

注：引用的"环保使用期限"是根据在正常温度和湿度条件下操作使用产品而确定的。

有害物質に関する制限の規格 (トルコ)

Türkiye Cumhuriyeti: EEE Yönetmeliğine Uygundur

索引

さ

し

す